

CN-RE05D

Panasonic

Strada

取扱説明書

SDカーナビステーション

品番 CN-RE05D
CN-RE05WD

ご使用前に、「安全上のご注意」(P.4～7)を必ずお読みください。

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、説明書とともに大切に保管してください。

下記サイトで「ユーザー登録」をお願いします

PC https://panasonic.jp/navi/

- ユーザー登録と同時に、自動的に「ナビcafe」の会員登録が行われ、インターネットでの各種サービスをご利用いただけます。

保証書別添付

もくじ

安全上のご注意.....4

はじめに P.8

使用上のお願い.....8
各部のなまえとはたらき.....10
基本操作・準備（確認・調整）.....12
初期設定をする.....15
メニュー画面の操作.....16
オプションボタンを設定する.....20
セキュリティの設定をする.....21

ナビゲーション P.23

地図の見かた.....24
ランチャーメニューで操作する.....30
ルート・案内・地図・VICSをアレンジする（ストラーダチューン）.....31
地図の操作.....34
行き先までのルートを作るには.....41
行き先を探す.....43
ルートを探索する.....44
ルートを編集する.....45
地点を登録する（登録地）.....47

オーディオ P.49

オーディオの基本操作.....50
テレビを見る.....52
ラジオを聞く.....54
交通情報を聞く.....55
ディスクを再生する.....56
BLUETOOTH Audioを再生する.....61
SDメモリーカードに音楽CDを録音する.....63
本機で録音した音楽データを再生する.....65
本機で録音した音楽データを編集する.....66
SDメモリーカード・USBメモリーを再生する.....68
iPodを再生する.....73

BLUETOOTH® P.75

■ 登録・接続
BLUETOOTH®対応機器を利用する前に.....76
BLUETOOTH対応機器を本機に登録する.....77
BLUETOOTH対応機器を手動で本機と接続する.....79
■ ハンズフリー
ハンズフリーで通話する.....81
■ スマートフォン
スマートフォン連携.....83

その他　P.85

■ その他の機能
ecoドライブ機能を使う 86
地図更新について 87
■ 別売品
後席用モニターと組み合わせる 89
ETC2.0車載器と接続して使う 90
リアビューカメラと組み合わせる 91
その他の外部機器と接続して使う 92
■ 設定
利用に応じた設定に変える 93
■ 困ったとき
よくあるお問い合わせ 101
故障かな!? 102

■ 必要なとき
ディスクについて 117
SDメモリーカード・USBメモリーについて 120
データ作成時の留意点 121
BLUETOOTHについて 125
ナビゲーションシステムとは 126
VICSについて 130
地図ソフトについて 132
さくいん 136
商標などについて 140
ソフトウェア、およびオープンソースソフトウェアについて 142
仕様 144
保証とアフターサービス 146

スマートフォンアプリのご案内

お客様に、本機をより使いこなしていただくための使い方ガイドを、当社のWebサイトおよびスマートフォンアプリで案内しています。

詳しくは、下記サイトをご覧ください。

https://panasonic.jp/navi/

本書の読みかた

- 本書では、CN-RE05Dを例に説明しています。
- タッチキーとナビゲーションユニットのボタンを、下記のように描き分けています。

例）案内スタート　決定 ：タッチキー

AUDIO　MENU　MAP ：ナビゲーションユニットのボタン

安全上のご注意 必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠ 警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠ 注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。(次は図記号の例です)

	してはいけない内容です。
	実行しなければならない内容です。

取り付けや配線をするとき

⚠ 警告



本機はDC12 V⊖アース車専用です
DC24 V車には使用できません。火災や故障の原因となります。

取付説明書に従って、取り付けや配線をする
作業は手順どおりに正しく行ってください。火災や故障の原因となります。

作業前に、車体のパイプ類・タンク・電気配線などの位置を確認する
車体に穴を開けて取り付ける場合は、パイプ類・タンク・電気配線などに干渉・接触しないようにし、加工部にサビ止め・浸水防止処置をしてください。火災や感電の原因となります。

作業前に、必ずバッテリーの⊖端子を外す
外さずに作業をすると、ショートによる感電やけがの原因となります。

使用しないコードの先端などは、テープなどで絶縁する
被覆がない部分が金属部に接触すると、ショートによる火災や感電、故障の原因となります。

アースコードを車両側のアース部分に確実にねじ止めする
アースコードが確実にねじ止めされていないと、火災や感電、故障の原因となります。

サイドブレーキコードを正しく配線する
安全機能が働かず、交通事故の原因となります。

コード類は、運転を妨げないように引き回す
ステアリング・シフトレバー・ブレーキペダルなどに巻きつくと、交通事故の原因となります。

作業後は、車の電装品*の動作確認をする
正常に動作しないと、火災や感電、交通事故の原因となります。
* ブレーキ、ライト、ホーン、ハザード、ウィンカーなど

取り付けや配線をするとき

⚠ 警告

フィルムアンテナは、保安基準の取付許容範囲に貼り付ける
視界不良による事故の原因となります。

取り付け（取り外し）や配線は、専門技術者に依頼する
誤った取り付けや配線をした場合、車に支障をきたすことがありますので、お買い上げの販売店にご依頼ください。

視界や運転を妨げる場所*、同乗者に危険をおよぼす場所には、取り付けない
交通事故やけがの原因となります。
＊ステアリング・シフトレバー・ブレーキペダル付近など

車両メーカーが指定する禁止エリアに、取り付けや配線をしない
カメラ装置などの動作を妨げるおそれがあり、交通事故の原因となります。車両メーカー・カーディーラーに注意事項を確認してから作業を行ってください。

エアバッグの動作を妨げる場所には、取り付けや配線をしない
エアバッグが動作しなかったり、動作したエアバッグでナビゲーションや部品が飛ばされ、死亡事故の原因となります。車両メーカー・カーディーラーに注意事項を確認してから作業を行ってください。

取り付けやアース配線に、車の保安部品*を使わない
制御不能や発火、交通事故の原因となります。
＊ステアリング、ブレーキ系統、タンクなどのボルトやナット

ねじなどの小物部品は、乳幼児の手の届くところに置かない
誤って、飲み込むおそれがあります。万一飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

コードを破損しない
断線やショートによる火災や感電、故障の原因となります。
- 傷つける、無理に引っ張る、折り曲げる、ねじる、加工する、重いものを載せる、熱器具へ近づける、車の金属部や高温部に接触させるなどしないでください。
- 車体やねじ、可動部（シートレールなど）へ挟み込まないように配線してください。
- ドライバーなどの先で押し込まないでください。

分解禁止

分解や改造をしない
交通事故や火災、感電、故障の原因となります。
- コードの被覆を切って他の機器の電源をとるのは、絶対におやめください。
- アースコードの改造や、他の機器とのアース接続は絶対におやめください。

取り付けや配線をするとき

⚠ 注意

必ず、付属品や指定の部品を使用する
機器の損傷や確実に固定できず、事故や故障、火災の原因となります。

しっかり確実に取り付ける
走行中の脱落や破損などで、交通事故やけがの原因となります。
取り付ける場所の水気や汚れ（ほこりや油など）は、取り除いてください。
取り付けの状態（接着やねじのゆるみなど）を、ときどき点検してください。

板金やエッジ、樹脂バリおよび可動部に干渉しないように配線する
断線やショートによる火災や感電、故障の原因となります。

本機の通風孔をふさがない
内部に熱がこもり、火災や故障の原因となります。

ご使用になるとき

⚠ 警告

ルート案内中でも、常に、実際の交通規制に従う
交通事故の原因となります。

ヒューズは、必ず規定容量品を使用し、交換は専門技術者に依頼する
規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災や故障の原因となります。
ヒューズ交換や修理は、お買い上げの販売店、またはお近くの「サービスご相談窓口」に依頼してください。

スピーカーは、本機の仕様に適合したもの*を使用する
火災や発煙、発火、故障の原因となります。
＊最大入力が50 W以上のハイパワー用で、インピーダンスが4 Ω～8 Ω

医療用電気機器などへの影響を確認する
本機は、無線機能を搭載しています。心臓ペースメーカー、その他医療用電気機器をご使用になる場合は、当該の各医療用電気機器メーカーもしくは販売業者に電波による影響について必ずご確認ください。

運転者は走行中に操作したり、画像や表示を注視しない
必ず安全な場所に停車し、パーキングブレーキをかけた状態でご使用ください。交通事故の原因となります。

大きな音量で使用しない
車外の音が聞こえないことによる交通事故の原因となります。

ご使用になるとき

⚠ 警告

故障や異常な状態のまま使用しない
画像が映らない、音が出ない、異常（異物が入った、水がかかった、煙が出る、異音・異臭がするなど）が起きた場合は、ただちに使用を中止し、お買い上げの販売店、またはお近くの「サービスご相談窓口」にご相談ください。事故や火災、感電の原因となります。お客様による修理は、絶対におやめください。

SDメモリーカードは、乳幼児の手の届くところに置かない
誤って、飲み込むおそれがあります。万一飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

機器内部に、水や異物を入れない
特に、傘による雨水や、飲み物などがかからないようご注意ください。水や、湿気・ほこり・油煙、金属物や燃えやすいものなどが機器内部に入ると、動作不良やショートによる火災や発煙、発火、感電、故障の原因となります。


接触禁止

雷が鳴りだしたら、アンテナコードや本機に触らない
落雷による感電のおそれがあります。

⚠ 注意

本機を車載用以外には、使用しない
発煙や発火、感電、けがの原因となります。

可動部やディスク挿入口に手や指を入れない
特に、ディスプレイの起倒や角度調整の際にご注意ください。
けがの原因となります。

落下させる、たたくなど、強い衝撃を与えない
故障や火災の原因となります。

開いたディスプレイの上に物を置かない
液晶ディスプレイ部の破損や飲み物がこぼれることにより、発煙や発火、感電、故障の原因となります。

使用上のお願い

エンジンをかけてご使用ください

- エンジンを止めて長時間使用すると、バッテリーが消耗します。なお、アイドリングが禁止の地域もありますので、地域の条例等に従ってください。

他の機器と接続する場合は

- 接続する機器の説明書もよくお読みになり、正しく配線してください。

携帯電話を使用する場合は

- 電話の位置や向きにより、映像や音声などに不具合が生じることがあります。その場合は、本機からの距離などを変えてご使用ください。

液晶ディスプレイについて

- 先端が硬いもの(ボールペン、ピン、爪の先など)は使わず、必ず指で触れて操作してください。また指でたたいたり、強く押さないでください。キズ、破損、誤動作の原因となります。
- 表面の汚れなどは、市販のクリーニングクロスを使い、指の腹で軽く拭いてください。
- 車から離れるとき(本機を使用しないとき)は、本機に直射日光が当たらないように、車のサンシェードなどをお使いください。
- 低温になると、映像が出ない、映像が出るのが遅い、動きに違和感がある、画質が劣化したりすることがあります。
- 冷暖房を入れた直後など、水蒸気で画面がくもったり、露(水滴)で、正しく動作しないことがあります。約1時間放置してからご使用ください。
- 高温になると、画面の明るさを自動調整したり、本機の起動を停止する場合があります。
- 液晶ディスプレイの画素は、99.99 %の精度で管理されていますが、0.01 %以下で画素欠けするものがあります。
  そのため、黒い点が現れたり、赤・緑・青の点が常時点灯する場合がありますが、故障ではありません。
- 液晶保護シートを使用しないでください。
  感圧式タッチパネルのため、フィルムを貼る際に生じるひずみやたわみがタッチ操作検出誤作動の原因となります。

免責事項について

- 火災や地震、第三者による行為、その他の事故、取り付けの不備、お客様の故意または過失、誤使用、異常な条件下での使用により故障および損害が生じた場合、補償はできません。
- 本機の使用や使用不能から生じる付随的な損害(事業利益の損失、記憶内容の変化・消失など)に関して、当社は一切の責任を負いかねます。
- 本機を業務用のバスやトラック、タクシー、商用車などに使用した場合の保証はできません。
- プライバシー保護のため、本機に登録した個人情報(登録地の位置や電話番号など)は、お客様の責任において取り扱いや管理を行ってください。
  当社は一切の責任を負いかねます。
- 番組表などの地上デジタル放送に関する情報は、本機が記憶します。万一、本機の不具合により、これらの情報が消失した場合、復元できません。また、その内容の補償はできません。
- **次の場合、補償はできません。**
  - **誤使用や、静電気などの電気的なノイズを受けたことにより本機が正常に動作しなくなった場合**
  - **誤使用や、静電気などの電気的なノイズを受けたとき、または故障・修理のときなどに本機に登録されていた情報が変化・消失した場合**

大切な情報(登録地など)は、万一に備えてメモなどをとっておくことをおすすめします。

著作権などについて

- 著作物を無断で複製、放送、公開演奏、レンタルすることは法律により禁じられています。
- 本製品はコピー防止技術を採用しており、ロヴィ社が保有する米国特許およびその他の知的財産権によって保護されております。分解したり、改造することも禁じられております。
- **本機は許諾契約に基づき当社が使用許諾を受けた第三者のソフトウェアを含んでおり、本機からのソフトウェアの取り出し、複製、リバースエンジニアリング、その他の許諾されていない当該ソフトウェアの使用は固く禁じられています。また、当該ソフトウェアを更新する目的で配布されるプログラム、データについても同様の扱いとなります。**

地上デジタル放送の受信について

- 受信状態が悪くなると、映像のブロックノイズや音声の途切れ、静止画面や黒画面となり音声が出なくなることがあります。
- 家庭用に比べて受信エリアは狭くなり、また、車の場所や方向、速度などにより受信状態も変化します。
- 著作権保護された番組をビデオデッキなどで録画する際、著作権保護のための機能が働き、正しく録画できません。また、この機能により、再生目的でもビデオデッキを介してモニターへ出力した場合には画質劣化する場合がありますが、機器の問題ではありません。著作権保護された番組を視聴する場合は本製品とモニターを直接接続してお楽しみください。
- 本機の仕様は、ARIB(電波産業会)規格に基づいています。将来規格変更があった場合は、商品仕様を変更する場合があります。
- 本製品は、B-CASカードを使用せずに地上デジタル放送を視聴できる新RMP方式*1を採用しているため、B-CASカードは付属しておりません。

＊1 新RMP方式とは、地上デジタル放送のコンテンツ権利保護専用方式です。
詳しくは、下記サイトをご覧ください。
一般社団法人地上放送RMP管理センター
http://www.trmp.or.jp/

本体・液晶画面のお手入れ

- 必ず車のエンジンを切った状態(ACC OFF)にしてください。
- 本体の電源を切り、乾いた柔らかい布で拭いてください。
- 液晶画面は、市販のクリーニングクロスで拭いてください。
- 損傷の原因となるため、下記を使用しないでください。
  - 洗剤(ガラス用クリーナー含む)
  - シンナー、ベンジン、アルコール、ガソリンなどの有機溶剤、酸性やアルカリ性の溶剤
  - 硬い布やティッシュペーパー、ウェットシートなど
- 化学ぞうきんは、注意書きに従って、お使いください。

ピックアップレンズについて

長期間使用すると、空気中やディスクに積もった細かいほこり、またはゴミが付着し、汚れてしまいます。

- ディスクの読み込みがよくない場合には、まず、ディスクの汚れを確認してください。
- それでもよくならない場合は、レンズの交換修理が必要です。お買い上げの販売店、またはお近くの「サービスご相談窓口」にご相談ください。保証期間後の修理は、有償です。

汚れを防ぐために

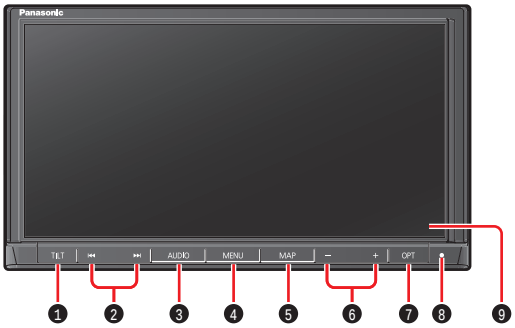
- ディスクを使用する前など、ときどきディスクの表面のほこりやゴミ、指紋などを取り除いてください。
- ディスクを使用しないときは、必ずケースに入れて保管してください。

お願い

- **市販のレンズクリーナーディスクは、レンズに損傷を与え、故障の原因となりますので、使用しないでください。**

各部のなまえとはたらき

CN-RE05D



CN-RE05WD



❶ TILT（チルト）
- ●OPEN/EJECT画面の表示/消去
- ●ディスプレイを閉じる

❷ |◀◀ ▶▶|

DVD CD MEMORY MUSIC USB SD BLUETOOTH Audio iPod
- ●頭出し
- ●早送り・早戻し（押し続ける）

FM/AM
- ●選局
- ●シーク選局（1秒以上押す）

TV
- ●選局
- ●連続選局（押し続ける）

❸ AUDIO（オーディオ）
- ●オーディオ画面に切り換え
- ●オーディオメニューを表示
- ●オーディオOFF/ON(2秒以上押す)

❹ MENU（メニュー）
- ●ツートップメニューを表示

DVD
- ●タッチキーを表示（タッチキーを表示していないときに押す）
- ●ツートップメニューを表示（タッチキー表示中に押す）

❺ MAP（マップ）
- ●自車位置（現在地）を表示
- ●画質調整画面を表示（2秒以上押す）

❻ **音量ボタン(+ −)**

●音量を調整

❼ **OPT(オプション)**

オプションボタンの設定(P.20)

「消音」に設定されている場合

●オーディオの音声を一時的に消音する

「画面OFF」に設定されている場合

●一時的に画面を消す

「自宅」に設定されている場合

●現在地から自宅までのルートが探索され、全ルート図を表示する
自宅を登録していない場合は、自宅を登録する画面を表示する

「SOURCE」に設定されている場合

●オーディオの種類を切り換える

「リダイヤル」に設定されている場合

●前回発信した相手に電話する

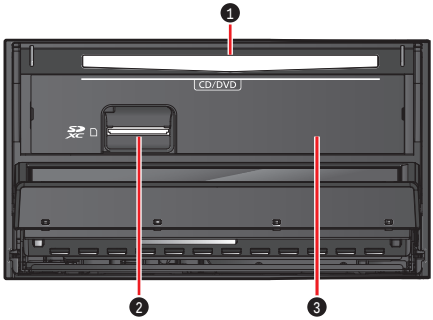
❽ **マイク**

●ハンズフリー通話時に使用

❾ **タッチパネル**

●タッチ操作時に使用

<ディスプレイ開>



例:CN-RE05D

❶ **ディスク挿入口**

❷ **SDメモリーカード挿入口**

市販のSDメモリーカード(P.120)を挿入します。

❸ **地図SDHCメモリーカード挿入口**

パネルを取り外すと、地図SDHCメモリーカード挿入口(P.88)があります。

電源を入れる

1 車のエンジンをかける（ACCをONにする）

- 本機の電源が入ります。
- セキュリティコード入力画面が表示されたら（P.21）

2 警告画面の注意事項を確認して、確認を選ぶ

- 現在地画面（自車位置）が表示されます。
- オーディオ画面が表示されたときは、MAPを押すとナビゲーション画面（現在地）に切り換わります。
- 約10秒間何も操作しないと、警告画面は消去されます。
- 別売のETC2.0車載器を接続すると、ETCカードの状態などをお知らせします。
- BLUETOOTH対応機器を本機に接続しているときは、本機の電源を入れるとBLUETOOTH対応機器との接続確認のメッセージが表示される場合があります。
- メンテナンス情報の設定をすると、本機の電源を入れたときに、メンテナンス情報の案内画面が設定された条件で表示されます。（P.99）

電源を切る

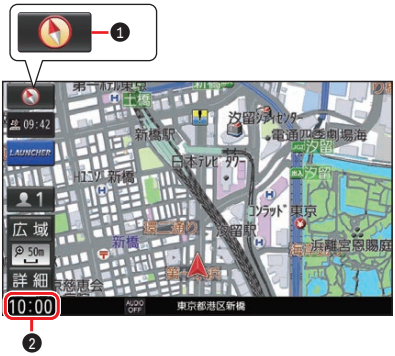
車のエンジンを止める（ACCをOFFにする）

- 本機の電源が切れます。
- ETC2.0車載器を接続している場合は、カード抜き忘れ案内をお知らせします。（P.98）
- iPodを接続している場合は、iPod抜き忘れ案内をお知らせします。（P.99）
- 盗難多発地点でエンジンを止めた場合は、盗難多発地点音声案内をお知らせします。（P.99）

自車位置を確認する

初めて本機を起動したときは、自車位置と異なる地図が表示されますが、GPS衛星からの信号を受信し、しばらくすると自車位置付近の地図（現在地画面）が表示されます。

1 GPSを受信していることを確認する



❶ GPSを受信すると方位マークの灰色の部分が黄色に変わります。

❷ GPSを受信すると、現在時刻が表示されます。

- 未受信の場合は、－－：－－と表示されます。

2 見晴らしの良い道路を、そのまましばらく走行する（60分以上）

- 地図画面上の自車マークの位置と実際の自車位置との誤差が補正されます。

お知らせ

- **しばらくたっても自車位置が表示されないときは、GPS情報（P.18）から受信状態を確認してください。**

ナビゲーションの音量を調整する

1 MENUを押し、情報・設定を選ぶ

2 情報・設定メニューからナビ設定を選ぶ

3 ナビ設定画面からナビ案内音量を選ぶ

4 ナビ案内音量画面からナビゲーションの音量を調整する



- ー/＋: 音量を調整する(15段階)[お買い上げ時の設定:5]
- 消音: 音声案内なし

本体の音量ボタンでナビゲーションの音量を調整する／しないを設定する

ナビ案内音量画面から案内出力中の本体音量ボタンでの音量調整する/しないを選ぶ
[お買い上げ時の設定:しない]

お知らせ

- 音声案内の詳細な項目(出力するスピーカー、案内音量の車速連動など)を設定するには(P.96)をご覧ください。
- 音声案内および操作音は、リアスピーカーからは出力されません。

オーディオの音量を調整する

ー ＋を押す

お知らせ

- 音量は、オーディオごとに記憶されます。

オーディオの音量を一時的に消音する(ミュート)

ランチャーメニューから消音する

準 備

- ランチャーメニューに「消音」が表示されるように設定してください。(P.30)

1 現在地画面でLAUNCHERを選ぶ



2 ランチャーメニューから消音を選ぶ

オプションボタンで消音する

準 備

- オプションボタンに「消音」を割り当ててください。(P.20)

OPTを押す
- 再度押すと解除されます。

お知らせ

- 消音時は、「消音」と表示されます。
- ナビゲーションの音声案内、ハンズフリーの音声(通話音・発着信音)は消音されません。
- オーディオをOFFにするには(P.51)をご覧ください。

ディスプレイの角度を調整する（TILT）

1 TILT を押す

2 角度を調整する（5段階）



- ▲: 傾きが大きくなる
- ▼: 傾きが小さくなる

3 TILT を押す

お願い

- 周辺に物を置くなど、動きを妨げないでください。
- 手で動かすなど、無理な力を加えないでください。
- 可動部周辺に異物が挟まらないようにしてください。

お知らせ

- エンジンを切ると、全閉状態になります。
- 次回エンジンをかけたとき、今回調整した角度まで開きます。
- より見やすくするには、画面の明るさを調整してください。

初期設定をする

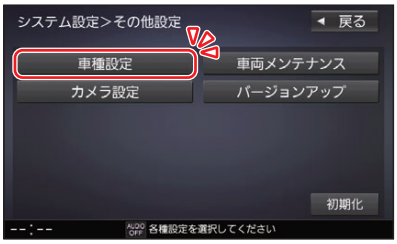
車種を設定する

車種を設定すると、有料道路の料金計算に利用されます。

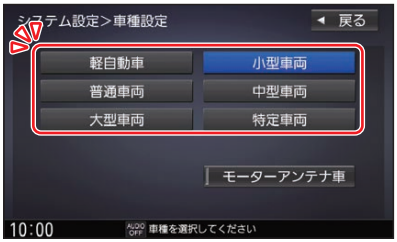
1 MENUを押し、情報・設定 ▶ システム設定を選ぶ

2 システム設定画面から その他設定 を選ぶ

3 その他設定画面から 車種設定 を選ぶ



4 車種を選ぶ



- モーターアンテナ車 を選ぶごとに、ON/OFFが切り換わります。[お買い上げ時の設定：OFF]

■ モーターアンテナ車の場合

ONに設定する。(インジケーター**点灯**)

- オーディオのON/OFFに連動して、アンテナが伸縮します。
- オーディオをOFFにするとアンテナが収納されるため、FM-VICS情報が受信できなくなります。
- モーターアンテナ車の設定をOFFにすると、アンテナが伸びたままになりますので、立体駐車場など天井の低い場所に入るときはご注意ください。

■ モーターアンテナ車以外の場合

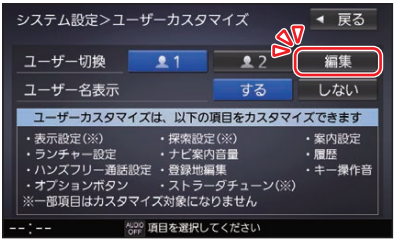
OFFに設定する。(インジケーター**消灯**)

ユーザー名を設定する

1 MENUを押し、情報・設定 ▶ システム設定 ▶ ユーザーカスタマイズを選ぶ

- 地図画面でユーザーカスタマイズタッチキー(P.24)を選んでも、ユーザーカスタマイズ画面を表示します。

2 ユーザーカスタマイズ画面から 編集 を選ぶ



- ユーザー切換
  [お買い上げ時の設定：ユーザー1]
- ユーザー名表示
  [お買い上げ時の設定：する]

3 ユーザー名を入力し、決定 を選ぶ

- 全角4文字(半角8文字)まで

ユーザーを切り換える

1 MENUを押し、情報・設定 ▶ システム設定 ▶ ユーザーカスタマイズを選ぶ

2 ユーザーカスタマイズ画面から 1 / 2 を選び、はい を選ぶ

- 選んだユーザーに切り換わります。

自宅を登録する

目的地メニューから登録する

1 目的地メニュー(P.17)から 自宅 を選ぶ

2 はい を選ぶ

3 自宅の場所を検索する

- 検索のしかたは、「行き先を探す」と同じです。(P.43)

4 自宅登録 を選ぶ

- カーソルの地点が、自宅として登録されます。
- 自宅に出入口の情報がある場合は、メッセージが表示されます。はい を選ぶと、出入口の位置が自宅として登録されます。
- 引き続き、自宅へのルートを探索できます。

メニュー画面の操作

メニューを表示する

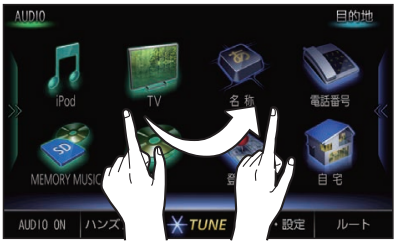
MENUを押す

- ツートップメニューが表示されます。
- DVD画面では、タッチキーが表示されていない状態でMENUを押すとタッチキーが表示されます。タッチキーが表示された状態で再度MENUを押すと、ツートップメニューが表示されます。

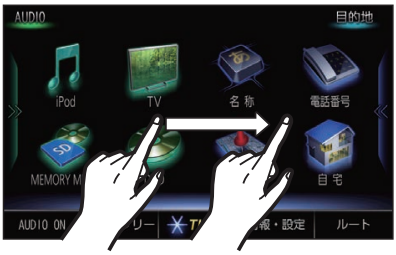
フリック/ドラッグ操作での切り換えかた

ツートップメニュー/目的地メニュー/オーディオメニューは、左右にフリック/ドラッグして切り換えることもできます。

フリック



ドラッグ



ツートップメニュー



❶ オーディオショートカット

❷ 目的地ショートカット

❸ オーディオメニューを表示

❹ その他のメニュー

- **AUDIO ON(OFF)** (P.51)
- **ハンズフリー** (P.82)
- **TUNE** (P.31)
- **情報・設定**
  情報・設定メニューを表示
- **ルート**
  ルートメニューを表示

❺ 目的地メニューを表示

お知らせ

- 目的地ショートカットおよびオーディオショートカットの項目を変更できます。(P.18)

オーディオメニュー



❶ カスタマイズ（P.18）

❷ メニュー項目

- **FM/AM**（P.54）
- **SD**＊1（P.69）
- **iPod**（P.73）
- **TV**（P.52）
- **USB**＊1（P.69）
- **BLUETOOTH Audio**（P.61）
- **MEMORY MUSIC**＊2（P.65）
- **DISC(DVD/CD)**（P.56、P.59）
- **VTR**＊3（P.92）
- **交通情報**＊3（P.55）
- **AUDIO ON(OFF)**＊3（P.51）

❸ ツートップメニューを表示

＊1 パソコンなどで保存したデータ（音楽/静止画/動画）の再生

＊2 本機でSDメモリーカードに録音した音楽データの再生

＊3 カスタマイズはできません。

目的地メニュー



❶ カスタマイズ（P.19）

❷ ツートップメニューを表示

❸ メニュー項目

- **名称**（P.43）
- **電話番号**
  電話番号検索画面を表示
- **周辺施設**
  周辺施設検索画面を表示
- **住所**（P.43）
- **登録地**
  登録地検索画面を表示
- **自宅**
  あらかじめ自宅を登録しておくと、自宅を目的地に設定します。
- **ジャンル**
  ジャンル検索画面を表示
- **履歴**
  履歴検索画面を表示
- **マップコード**＊1
  マップコード検索画面を表示
- **緯度・経度**＊1
  緯度・経度検索画面を表示
- **郵便番号**＊1
  郵便番号検索画面を表示

＊1 カスタマイズはできません。

メニュー画面の操作

情報・設定メニュー



- **情報**
  情報メニューを表示
- **ナビ設定**(P.93)
- **オーディオチューン**
- **システム設定**(P.98)
- **画面OFF**
  画面を一時的に消します。
- **スマホ連携アプリ選択**(P.80)

情報メニュー



- **渋滞情報**
  渋滞情報画面を表示
- **ecoドライブ**(P.86)
- **システム情報**
  ナビID、地図更新IDを表示
- **バージョン情報**
  ソフトのバージョンを表示
- **GPS情報**
  GPS情報画面を表示
- **ETC情報**
  ETC情報画面を表示
- **ドライブレコーダー**(P.92)
- **車両信号情報**
  車両信号情報画面を表示
- **拡張ユニット情報**
  拡張ユニットの接続状態を表示

ツートップメニューに表示させる項目を変更する

オーディオメニューの並びを変更する

1 **オーディオメニュー**(P.17)から**(カスタマイズ)**を選ぶ

2 **カスタマイズ画面から入れ換えたい項目を選ぶ**

例:
「TV」のかわりに「FM/AM」をツートップメニューに表示するには
① **TV**を選ぶ
② **FM/AM**を選ぶ



- **AUDIO初期化**
  オーディオメニューのレイアウトをお買い上げ時の状態に戻す。
- **全初期化**
  目的地メニュー・オーディオメニューのレイアウトをお買い上げ時の状態に戻す。

●選んだ項目が入れ換わります。



目的地メニューの並びを変更する

1 目的地メニュー(P.17)から (カスタマイズ)を選ぶ

2 カスタマイズ画面から入れ換えたい項目を選ぶ

例:
「名称」のかわりに「履歴」をツートップメニューに表示するには
① 名称を選ぶ
② 履歴を選ぶ



- 目的地初期化
  目的地メニューのレイアウトをお買い上げ時の状態に戻す。
- 全初期化
  目的地メニュー・オーディオメニューのレイアウトをお買い上げ時の状態に戻す。

●選んだ項目が入れ換わります。



メニューの背景色を変更する

1 オーディオメニュー(P.17)または目的地メニュー(P.17)の (カスタマイズ)を選ぶ

2 カスタマイズ画面から背景を選ぶ

3 背景色を選ぶ



●選んだ背景色に設定されます。
[お買い上げ時の設定:白]

オプションボタンを設定する

1 MENUを押し、**情報・設定**▶**システム設定**を選ぶ

2 システム設定画面から**オプションボタン**を選ぶ

3 オプションボタンに割り当てる機能を選ぶ



●選んだ機能が設定されます。[お買い上げ時の設定：消音]

セキュリティの設定をする

万一盗難にあった場合でも、セキュリティコードを設定していれば、盗難後の使用や個人情報の漏洩を防ぐことができます。

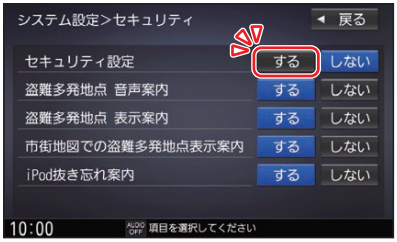
セキュリティコードを忘れた場合、本機を使用できなくなります。
お近くの「サービスご相談窓口」にご相談ください。
セキュリティコード解除に生じる費用は、お客様のご負担になります。

セキュリティコードを設定する

セキュリティコードは、忘れないようにメモしておいてください。
その他の項目の設定は(P.99)をご覧ください。

1 MENUを押し、**情報・設定** ▶ **システム設定** ▶ **セキュリティ**を選ぶ

2 セキュリティ画面からセキュリティ設定**する**を選ぶ



3 下記操作を行う(初めて設定する場合のみ)

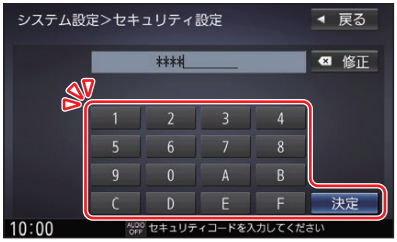
1 **OK**を選ぶ

2 初期パスワード「9876」を入力し、**決定**を選ぶ

3 **はい**を選ぶ

4 **OK**を選ぶ

5 セキュリティコードを入力し、**決定**を選ぶ



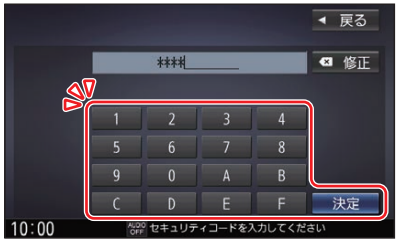
- **修正**: 1文字削除
- 文字種: 数字・A～Fの大文字
- 文字数: 3文字～12文字

6 **はい**を選ぶ
- セキュリティコードが設定されます。

本機を起動時にセキュリティコード入力画面が表示されたら

バッテリー交換時など、バッテリーコードが外されたあとに本機を起動した場合のみ、セキュリティコード入力画面が表示されます。

セキュリティコードを入力し、**決定**を選ぶ



- ロックが解除され、本機が再起動します。

セキュリティコードの設定を解除する

他人に譲渡する場合などは、セキュリティ設定を解除してください。

1 MENUを押し、**情報・設定** ▶ **システム設定** ▶ **セキュリティ**を選ぶ

2 セキュリティ画面からセキュリティ設定**しない**を選ぶ

3 **OK**を選ぶ

4 セキュリティコードを入力し、**決定**を選ぶ
- セキュリティ設定が解除されます。

ナビゲーション

地図の見かた 24
地図画面 24
現在地画面 26
地図モード画面 26
ルート案内中の画面 27
安全・安心運転サポート 27
安全・安心運転サポートの案内 28
逆走注意アラーム 29
逆走検知 29

ランチャーメニューで操作する 30
ランチャーメニューの表示 30
ランチャーメニューの項目を変更する 30

ルート・案内・地図・VICSをアレンジする（ストラーダチューン） 31
ルート 31
ガイダンス 32
マップ 33
VICS WIDE 33

地図の操作 34
地図を動かす（スクロール） 34
縮尺を切り換える 35
地図の向きを切り換える（ノースアップ/ヘディングアップ/3D） 36
3Dの地図を操作する 36
右画面を表示する（2画面） 37
3Dの地図表示時にビルを立体表示する 37
ゾーン30をエリア表示する 37
地点メニューから操作する 37
地図上に表示されるVICS情報（レベル3） 38
VICSとは 40

行き先までのルートを作るには 41
ルート案内を開始する 41
ルート案内を中止する 42
ルートを削除する 42

行き先を探す 43
施設の名称で探す 43
住所で探す 43

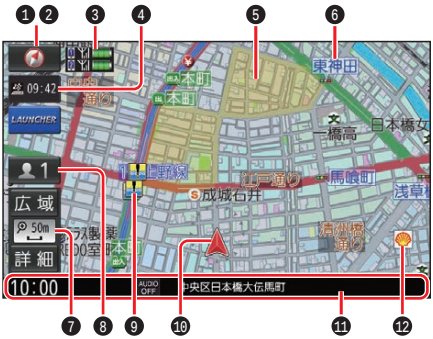
ルートを探索する 44
目的地に設定する 44

ルートを編集する 45
ルートを変更する 45
経由地・目的地を追加する 45
区間ごとの探索条件を変更する 45
出発地・経由地・目的地を変更する 45
迂回するルートに設定する 46
出発地・経由地・目的地を削除する 46
経由地・目的地を並べ換える 46

地点を登録する（登録地） 47
登録地について 47
カーソル（＋）の地点を登録する 47
現在地を登録する 47

地図の見かた

地図画面



❶ **方位マーク**（地図の向きを表示）
タッチするごとに、地図の向きが切り換わる

ノースアップ
（北が上/2D）
↓
ヘディングアップ
（進行方向が上/2D）
↓
3D
（進行方向が上/3D）

❷ **GPS受信状態**
現在地の測位の状態を方位マークの色で表示
- 黄色：測位完了
- 灰色：測位未完了（測位計算中）

❸ **BLUETOOTH接続状態**（P.78）

❹ **VICS タイムスタンプ**
VICSの情報が提供された時刻を表示（P.38）
ルート案内中にタッチすると、渋滞/規制の地点の地図に切り換わる

❺ **ゾーン30**
ゾーン30を薄い黄色でエリア表示します。（P.37）

❻ **吹き出し表示**
交差点・高速出入口などを吹き出しで表示
- 表示する/しないの設定（P.93）

❼ **縮尺表示**（P.35）
縮尺5 m～50 mでは、建物の形まで詳細に表示される市街地図になります。
- 広域 **広域**
- 50m 現在の縮尺を表示
- 詳細 **詳細**

❽ **ユーザーカスタマイズ**
本機の設定を2ユーザー分登録し、切り換える（P.15）（地図画面の種類によっては、表示されない画面があります。）

❾ **冠水注意ポイント**
- 表示する/しないの設定（P.94）

事故多発地点
- 表示する/しないの設定（P.32）

盗難多発地点
- 表示する/しないの設定（P.99）

❿ **自車マーク**
自車位置と進行方向を表示
- 種類と色を変更するには（P.33）をご覧ください。

⓫ **情報バー**（P.25）

⓬ **ランドマーク**
目印となる施設などを地図上にマークで表示（縮尺5 m～200 mで表示）
- 表示させるランドマークを選ぶことができます。

立体ランドマーク
全国の有名施設を地図上に立体ランドマークで表示（縮尺100 mで表示）
- 「50 m市街地図表示」（P.94）が「しない」に設定されているときは、縮尺が50 mのときにも表示されます。

お知らせ
- 道路表示の色の意味は、つぎのとおりです。
  - 青色：高速道路、有料道路
  - 赤色：国道
  - 緑色：主要地方道、県道
  - 青色（破線）：フェリー航路
  - 灰色：一般道、細街路（道幅5.5 m未満の道路）

情報バー

●情報バーに表示させる項目の設定（P.94）



❶ 現在時刻
❷ ハンズフリー通話中
❸ ドライブレコーダー録画中
❹ ETCカード挿入状態
❺ 再生中のオーディオ
❻ 現在地の地名/道路名称*1
❼ 残距離/到着予想時刻*2
❽ 音楽CDを録音中

＊1 AUDIO情報を表示「する」（P.94）に設定した場合は、オーディオの情報が表示されます。
地図モード画面（P.26）では、カーソル付近の地名/道路名称が表示されます。
＊2 地図モード画面（P.26）では、マップコードが表示されます。
●VICSの緊急情報を受信した場合は、緊急情報放送中が表示されます。

地図の見かた

現在地画面

MAPを押すと、現在地画面が表示されます。



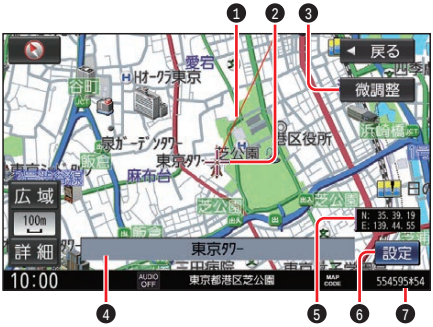
❶ **ランチャー**
ランチャーメニューを表示（地図画面の種類によっては、表示されません。）（P.30）

❷ **交差点情報表示**
交差点名称、レーン、踏切などの情報を表示

●表示する／しないの設定（P.95）

地図モード画面

現在地からスクロール（P.34）すると地図モード画面になります。



❶ カーソル（⊹）から現在地の方向を赤い直線で表示

❷ **カーソル（⊹）**
地図の中心に表示

❸ **微調整**
カーソル（⊹）の位置を微調整（P.34）

❹ **施設名**
カーソル（⊹）の地点に施設名の情報がある場合に表示

❺ **緯度・経度**

●表示する/しないの設定（P.94）

❻ **設定**
地点メニューを表示（P.37）

❼ **マップコード**（P.129）

●表示する/しないの設定（P.94）

ルート案内中の画面



❶ **目的地マーク**
目的地（P.44）に設定した場所を表示

❷ **案内ルート**
目的地までの案内ルートを表示

❸ **経由地マーク**
経由地に設定した場所を表示

❹ **交差点情報表示**
交差点の通るべき車線を黄色で表示

- 表示する/しないの設定（P.95）

❺ **目的地方向直線表示**
現在地から目的地の方向を赤い直線で表示
経由地を設定している場合は、次の経由地の方向を表示

- 表示する/しないの設定（P.95）

❻ 2.3km 17:05着 **残距離/到着時刻表示**
目的地または経由地までの距離と、到着する予想時刻を表示

- 残距離/到着時刻を、目的地までにするか経由地までにするかを選べます。（P.94）

お知らせ

- 高速道路や有料道路は青色、一般道路は黄色またはピンク色で表示されます。

安全・安心運転サポート

運転中の状況に応じて表示と音声で注意を促し、運転をサポートします。

地図画面での割り込み表示



拡大図表示中の割り込み表示



ハイウェイマップでの割り込み表示



お知らせ

- 音声では案内されない情報もあります。
- 安全・安心運転サポートの案内について（P.28）をご覧ください。
- 割り込み表示のしかたを設定できます。（P.32）

地図の見かた

安全・安心運転サポートの案内

状況	表示		音声
急なカーブに近づくと＊1 （カーブ案内）			この先、カーブです。
制限速度を超過して走行しているときは＊2＊3 （制限速度案内）			速度超過です。
ゾーン 30 走行中に制限速度を超過して走行しているときは＊2＊3 （制限速度案内）			速度超過です。
ゾーン 30 を走行していると＊2＊3 （制限速度案内）			なし
制限速度が変わると＊2 （制限速度案内）			なし
一般道で一時停止が必要な地点に近づくと＊2 （一時停止案内）			一時停止です。
レーンのある高速道路では （高速レーン減少案内）			この先、**左車線**が減少します。
高速道路で注意の必要な合流地点に近づくと＊4 （合流案内）			この先、**左から**の合流車両に注意してください。
踏切付近では＊5 （踏切案内）			まもなく、踏切です。
ライト点灯が必要になると＊6 （ライト点灯案内）			ライトの点灯を確認してください。
一般道の指定方向外進行禁止の交差点では＊2＊7＊8 （指定方向外禁止案内）			なし
一般道の事故多発地点に近づくと （事故多発地点案内）			この先、事故多発地点です。注意してください。

各案内について、詳しくは「ルート・案内・地図・VICSをアレンジする（ストラーダチューン）」（P.31）をご覧ください。

＊1 カーブの形状や走行する速度によっては、案内されない場合があります。
＊2 情報のある区間・地点のみ
＊3 制限速度を超過していても、案内されない場合があります。
＊4 一部の一般道でも案内される場合があります。
＊5 ルート案内していないときは、踏切手前の道路の形状や走行する経路によっては、案内されない場合があります。
＊6 距離の短いトンネルでは、案内されない場合があります。
＊7 時間規制や車種規制がある標識や、複雑な形状の標識は案内されない場合があります。
＊8 ルート案内中は表示されません。

お知らせ

- 複数の安全・安心運転サポートがある地点では、情報のいずれか1つが案内されます。
- 割り込み表示のしかたを設定できます。(P.32)

逆走注意アラーム

SA/PA内で駐車してエンジンを切ったあと再度エンジンをかけ発進させると、逆走しないよう事前に注意を促します。



現在自動車専用道路を走行しています。
逆走にご注意ください。

- SA/PAによっては、案内されない場合があります。
- 逆走注意アラームの設定(P.95)

逆走検知

■ 高速道路を逆走しているときは

逆走のおそれがある旨を警告します。



逆走のおそれがあります。
進行方向にご注意ください。

- 逆走していない状態で警告が表示された場合は、ここでは案内しないを選ぶと、次回からその地点での逆走警告は案内されなくなります。
- 逆走してしまった場合は、安全な場所(路側帯など)に停車し、路側帯に設置された非常電話などから、道路を管轄する管制センターなどに指示をあおいでください。
- 逆走注意アラームの設定に連動して、警告をする/しないの設定が切り換わります。(P.95)
- 逆走警告について、詳しくは(P.128)をご覧ください。

■ 逆走警告表示を消去するには

解除を選ぶ

お知らせ

- 「登録データの初期化」(P.100)/「出荷状態に戻す」(P.100)の操作を行うと、ここでは案内しないの設定もお買い上げ時の状態に戻ります。

ランチャーメニューで操作する

ランチャーメニューの表示

現在地画面で LAUNCHER を選ぶと、ランチャーメニューが表示されます。





- ランチャーメニューによく使う機能を登録しておくと、ランチャーメニューから直接その機能を呼び出すことができます。
- カメラ付きリアモニター(CA-RMC900D：生産完了品)を本機に接続し、オプションカメラ機能を「ON」に設定すると、ランチャーメニューのタッチキーに「オプションカメラ」の項目が表示されます。



ランチャーメニューの項目を変更する

1 現在地画面で LAUNCHER ▶ 設定 を選ぶ

2 LAUNCHERメニュー配置から項目を変更したいタッチキーを選ぶ



- TUNE は変更できません。
- 解除：　選んだ項目を解除
- 全解除：すべての項目を解除

3 メニュー候補から変更する項目を選ぶ



- 複数の項目を変更する場合は、上記手順2～3を繰り返してください。

お買い上げ時の設定に戻すには

初期化 を選ぶ

ストラーダチューンの設定画面を表示する

1 ツートップメニュー(P.16)またはランチャーメニュー(P.30)から、TUNEを選ぶ

2 各項目を設定する

ルート

ルート探索時の条件を設定します。

1 ルートを選ぶ



2 ルート探索条件を設定する

[お買い上げ時の設定]

- **有料道路優先**[*1][**中**]
  少しでも節約するか、割高でも有料道路を利用するかの度合いを設定する
- **道幅優先**[*2][**中**]
  できるだけ距離優先にするか、多少遠回りでも車線の多い道を優先するかの度合いを設定する[*3]
- **渋滞回避**[**中**]
  VICSの渋滞情報を考慮する度合いを設定する
- **ルート学習**[**する**]
  本機が探索したルート以外を通ったときなどに、ルートを学習して次回の探索に反映させる度合いを設定する[*4]
- **VICS考慮**[**する**]
  VICS情報を考慮する/しないを設定する
  ETC2.0広域を選ぶと、自車位置周辺の道路と前方の高速道路の情報を利用して探索します。[*5]
- **スマートIC考慮**[**ON**]
  スマートICを考慮して探索する/しないを設定する
- **季節規制考慮**[**ON**]
  季節規制区間を避けて探索する/しないを設定する

＊1 探索条件が「有料優先」「一般優先」のときは考慮されません。
＊2 探索条件が「距離優先」のときは考慮されません。
＊3 狭い道や未舗装の道を案内する場合があります。
＊4 必ず学習した内容でルート探索することを保証するものではありません。
＊5 別売のETC2.0車載器接続時のみ

ガイダンス

ルート案内時の設定をします。

1 ガイダンスを選ぶ



2 案内について設定する

[お買い上げ時の設定]

- **分岐案内頻度[高]**
  IC・JCT・交差点・踏切・料金所・目的地付近などでの案内の頻度を設定する
- **安全・安心運転サポート標識拡大表示[ON]**
  安全・安心運転サポート標識の割り込み表示を拡大表示する/しないを設定する



ON



OFF

安全・安心運転サポートの案内について（P.28）

- **一時停止案内[常時]**
- **合流案内[常時]**
- **踏切案内[常時]**
- **制限速度案内[常時]**
- **指定方向外禁止案内[ON]**
- **ライト点灯案内[ON]**
- **高速レーン減少案内[ON]**
- **カーブ案内[ON]**
- **事故多発地点案内[OFF]**
- **有料道速度超過警告[ON]**
- **一般道速度超過警告[ON]**

マップ

地図表示の設定をします。

1 **マップ**を選ぶ



2 地図表示について設定する

[お買い上げ時の設定]

- **地図色(昼)**[**ノーマル**]／**地図色(夜)**[**ノーマル**]
  昼画面・夜画面の地図色を設定する
- **文字サイズ**[**標準**]
  地図の文字サイズを設定する
- **自車マーク**[**赤矢印(大)**]
  自車マークの種類と色を設定する

■ 地図色について

- **ノーマル**
  通常の地図
- **道路メイン**
  道路が見やすい地図
- **ポップ**
  地域を色分けした地図
- **ハイコントラスト**
  夕暮れや夜間など、暗い車内で見やすい白基調の地図

VICS WIDE

VICSの表示設定をします。

1 **VICS WIDE**を選ぶ



2 VICSについて設定する

[お買い上げ時の設定]

- **情報点滅**[ON]
  VICS情報を点滅する/しないを設定する
- **有料道**[ON]
  有料道のVICS情報を表示する/しないを設定する
- **一般道**[ON]
  一般道のVICS情報を表示する/しないを設定する
- **駐車場**[ON]
  駐車場情報を表示する/しないを設定する

■ 規制情報の表示を設定する

- **規制**[ON]
  規制情報を表示する/しないを設定する
- **範囲**[ON]
  範囲情報のある規制を表示する/しないを設定する

■ 渋滞情報の表示を設定する

- **渋滞・混雑**[ON]
  渋滞・混雑の情報を表示する/しないを設定する
- **渋滞なし**[OFF]
  渋滞の無い道路の情報を表示する/しないを設定する
- **統計情報**[ON]
  統計情報を表示する/しないを設定する

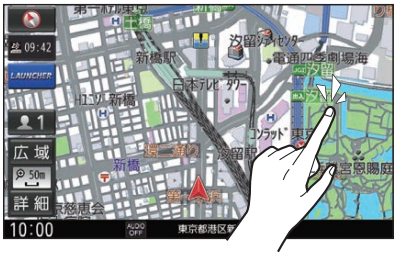
地図の操作

地図を動かす（スクロール）

タッチ、フリック、ドラッグ操作で地図をスクロールできます。

タッチでスクロールする

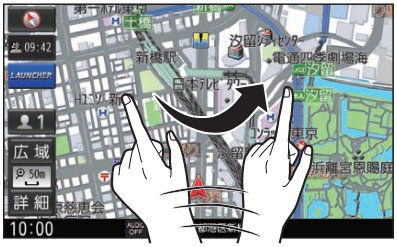
地図画面をタッチする



- タッチした地点が画面の中心になります。
- タッチし続けると、タッチしている方向にスクロールし続けます。

フリックでスクロールする

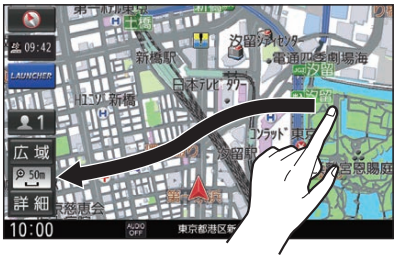
スクロールしたい方向にフリックする



- フリックした方向にスクロールします。

ドラッグでスクロールする

スクロールしたい方向にドラッグする

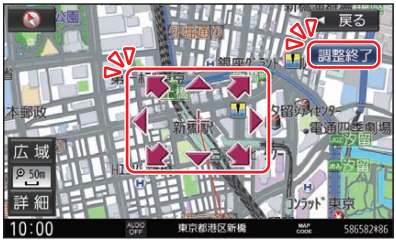


- 指の動きに合わせてスクロールします。

位置を微調整する

1 地図をスクロールさせ、**微調整**を選ぶ

2 位置を微調整し、**調整終了**を選ぶ



お知らせ

- 地図モード画面で、地図の向き・縮尺を切り換えても、現在地画面に戻すと、もとの設定に戻ります。
- 走行中はスクロールできません。市街地図、3D地図（P.36）以外では、走行中もタッチ操作によるスクロールができます。（フリック/ドラッグ操作はできません。）
- スクロールさせた3Dの地図は、回転させることができます。（P.36）
- フリック/ドラッグでスクロール中は、画面上で他の操作はできません。
- 指の動きより遅れてスクロールする場合があります。

縮尺を切り換える

タッチキー操作、2点タッチ/ダブルタップ、ピンチ操作で縮尺を切り換えられます。

●縮尺の範囲：5 m～250 km

タッチキーで縮尺を切り換える

詳細/**広域**を選ぶ



●タッチし続けると、ズームアウト/ズームインのイメージで縮尺が切り換わります。

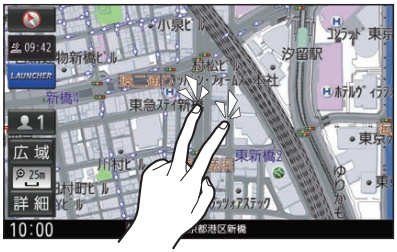
●縮尺バーにタッチすると、タッチした縮尺に切り換わります。



2点タッチ/ダブルタップで縮尺を切り換える

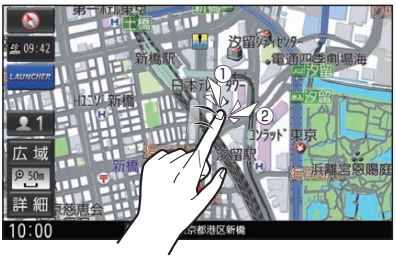
■ 広域に切り換えるには

2点タッチする



■ 詳細に切り換えるには

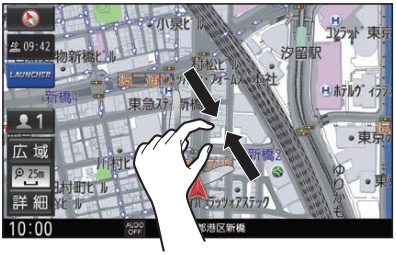
ダブルタップする



ピンチで縮尺を切り換える

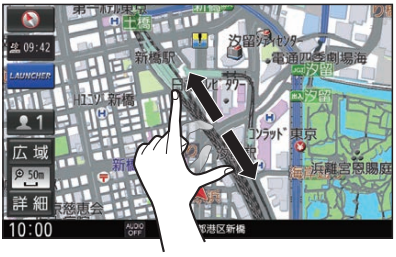
■ 広域に切り換えるには

ピンチインする



■ 詳細に切り換えるには

ピンチアウトする



●指の間をぴったりつけずに、指1本分くらい間隔をあけてください。

お知らせ

●走行中にピンチ操作で縮尺を切り換えることはできません。

地図の操作

地図の向きを切り換える(ノースアップ/ヘディングアップ/3D)

方位マークをタッチする

●タッチするごとに、地図の向きが切り換わります。

ノースアップ(北が上/2D)



ヘディングアップ(進行方向が上/2D)



3D(進行方向が上/3D)



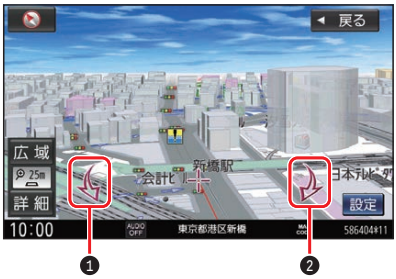
ノースアップに戻ります。

3Dの地図を操作する

地図を回転させる

3Dの地図をスクロールさせると、回転させることができます。

をタッチする



❶ 時計回り

❷ 反時計回り

お知らせ

●3Dの地図を回転させた状態でヘディングアップに切り換えると、3Dの地図の奥行方向が上向きの2D地図に切り換わります。

傾きを調整する

メイン画面、右画面(P.37)で、異なる傾きを設定できます。(10段階)

1 MENUを押し、情報・設定 ▶ ナビ設定 ▶ 表示を選ぶ

2 傾きを調整する

メイン画面の傾きを調整する

メイン画面用地図設定の3D視角調整の を選ぶ



右画面の傾きを調整する

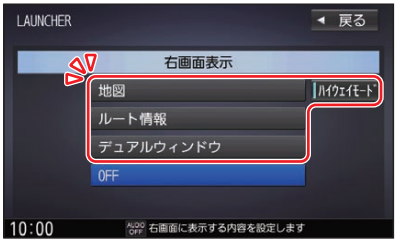
右画面用地図設定の3D視角調整の を選ぶ

右画面を表示する(2画面)

1 現在地画面で LAUNCHER を選ぶ

2 ランチャーメニューから 右画面表示 を選ぶ

3 右画面表示設定画面から右画面に表示させる画面を選ぶ



- 地図
  地図を表示



- 右画面は縮尺と向きを切り換えられます。
- ルート情報
  ルート情報を表示
- デュアルウィンドウ
  オーディオを表示
- ハイウェイモード
  ハイウェイモードの表示をする/しないを設定する(P.95)

1画面に戻すには

右画面表示設定画面から OFF ▶ OK を選ぶ
- 1画面の地図に戻ります。

お知らせ

- ナビ設定から右画面を表示させることもできます。
  - 右画面に地図表示(P.93)
  - ルート情報の表示(P.95)
  - デュアルウィンドウを表示(P.94)

3Dの地図表示時にビルを立体表示する

1 MENU を押し、情報・設定 ▶ ナビ設定 ▶ 表示 を選ぶ

2 3D地図ビル表示 する を選ぶ
- 3Dの地図表示時にビルが立体表示されます。

[お買い上げ時の設定:する]

ゾーン30をエリア表示する

1 MENU を押し、情報・設定 ▶ ナビ設定 ▶ 表示 を選ぶ

2 ゾーン30エリア表示 する を選ぶ
- 地図画面でゾーン30*1がエリア表示されます。

[お買い上げ時の設定:する]

*1 ゾーン30は警察庁より提供される交通規制情報に基づき作成しています。ゾーン30エリア内でも制限速度が30 km/hではない道路が含まれる場合もありますので、常に実際の道路状況や交通規制標識・表示などを優先して走行してください。

地点メニューから操作する

地点メニューから、目的地・経由地・出発地・登録地などを設定したり、施設の詳細情報を見ることができます。

地図モード画面(P.26)から 設定 を選ぶ
- 地点メニューが表示されます。



地図の操作

● ここに行く
カーソルの地点を目的地に設定して、ルート探索を開始する
● 5ルート
カーソルの地点を目的地に設定して、異なる条件で5ルートを探索する
● 立寄る
カーソルの位置を経由地に設定して、ルート探索を開始する（ルート案内中のみ）
● 地点登録
カーソルの地点を登録地として登録する
● 地点編集
登録地詳細画面を表示する（カーソルの地点が登録地の場合のみ）
● 施設詳細
施設の詳細情報が表示される（情報がある場合のみ）
● テナント情報
施設のテナント情報が表示される（市街地図でテナント情報のある地点にカーソルを合わせて地点メニューを表示させた場合のみ）
● 周辺検索
カーソルの周辺の施設を検索する
● 閉じる
地図モード画面を表示する

お知らせ

●表示されるタッチキーは、状況によって異なります。

地図上に表示されるVICS情報（レベル3）

VICS タイムスタンプ



情報が提供された時刻を表示
●受信した時刻ではありません。
●ルート案内中にVICS タイムスタンプにタッチすると、渋滞・規制のある地点の地図を表示します。

お知らせ

●別売のETC2.0車載器を接続すると、ETC2.0のVICS情報を受信できます。
●別売の光ビーコン対応ETC2.0車載器を接続すると、ETC2.0のほかに、光ビーコンからのVICS情報も受信できます。
●遠方の渋滞情報は表示されません。

ハイウェイマップ/ルート情報表示中は



❶ **渋滞・混雑区間**
道路を色分けして表示

❷ **規制情報**
区間ごとにマークを表示（2件まで）

車線ごとの渋滞情報表示

車線ごとの渋滞情報が、色分けして本数で地図上に表示されます。(該当の情報が配信されているエリアのみ)

色	車線ごとの渋滞情報	渋滞度
赤	三本線	渋滞
橙	二本線	混雑
緑	一本線	渋滞なし

●市街地図/広域地図表示中は



●ルート情報表示中は



気象・災害情報表示

気象(1時間あたり50 mm以上の大雨など)の情報を受信すると、地図にVICS タイムスタンプが表示され、対象となる範囲が薄い黄色で表示されます。



渋滞情報

色	リアルタイム情報		統計情報	渋滞度
	従来の渋滞情報	リアルプローブ情報		
赤	━━	═══	=====	渋滞
橙				混雑
緑				渋滞なし

●表示のしかた(P.33)

●**従来の渋滞情報(リアルタイム情報)**
道路に設置の車両感知器などで収集した現在の情報

●**リアルプローブ情報(リアルタイム情報)**
タクシーなどから収集した現在の情報

●**統計プローブ情報(統計情報)**
タクシーなどから収集した情報のデータを統計処理し、渋滞を予測した情報

お知らせ

●**プローブ情報とは**
走行している車から直接収集される「位置」と「時刻」のデータ(走行履歴)です。

駐車場マーク・SA/PAマーク

色	一般駐車場	SA	PA	状態
青	P	SA	PA	空車
橙				混雑
赤				満車
黒				不明
赤	P	SA	PA	閉鎖

●表示する/しないの設定(P.33)

VICS情報マーク(例)

道路上の事象・規制がマークで表示されます。

マーク	内容
	事故
	故障車
	路上障害
	工事
	作業
	片側交互通行
	対面通行
	車線規制
	入口制限
	入口閉鎖
	行事等
	火災
	チェーン規制
	凍結
	速度規制
	徐行
	進入禁止
	通行止め
	大型通行止め
	雨
	雪
	災害速報
	気象警戒情報
	特別警報

- マークにカーソル(⊹)を合わせると、マークの内容を確認できます。
- 表示する/しないの設定(P.33)

VICSとは

渋滞・事故などの影響による規制、目的地までの所要時間などの道路交通情報をナビゲーションに送信するシステムです。VICSはVehicle Information and Communication System(道路交通情報通信システム)の略です。

- **本機では、FM-VICSを受信できます。**
- **ETC2.0車載器(別売)を接続すると、ETC2.0のVICS情報を受信できます。**
- **光ビーコンに対応したETC2.0車載器(別売)を接続すると、ETC2.0および光ビーコンからのVICS情報を受信できます。**

■ ETC2.0とは

これまでITSスポットサービスと呼ばれていたサービスを、「ETC2.0サービス」と呼ぶことになりました。
従来のETC(料金収受)や渋滞回避、安全運転支援などの情報提供サービスに加え、ITSスポットを通して収集される経路情報を活用した新たなサービスが導入される予定です。

行き先までのルートを作るには

ルート案内を開始するまで

行き先を探す

■ 目的地メニュー（P.17）



- **名称**（P.43）
- **電話番号**
  電話番号検索画面を表示
- **周辺施設**
  周辺施設検索画面を表示
- **住所**（P.43）
- **登録地**
  登録地検索画面を表示
- **自宅**
  あらかじめ自宅を登録しておくと、自宅を目的地に設定します。
- **ジャンル**
  ジャンル検索画面を表示
- **履歴**
  履歴検索画面を表示
- **マップコード**
  マップコード検索画面を表示
- **緯度・経度**
  緯度・経度検索画面を表示
- **郵便番号**
  郵便番号検索画面を表示

検索方法によって、表示される画面や選択できるタッチキーは異なります。

1 目的地を検索する

例：ジャンル検索



❶ **リスト**

- リストをフリック/ドラッグしてもスクロールできます。（枠内でフリック/ドラッグしてください。）

❷ **あかさたなタッチキー**

50音順に並んだリストで表示されます。

- 行ごとにリストを切り換えます。
- 同じタッチキーを連続して選ぶと、選ぶごとに、段（あ→い→う→え→お）が切り換わります。

2 リストから施設を選び、決定を選ぶ

検索結果画面



- 距離順：現在地から近い順に並べ換え
- 50音順：50音順に並べ換え
- 絞込み：地域・ジャンルで絞り込み
- 詳細：施設の詳細情報を表示
- ☎：施設に電話をかける
- 出入口：施設の出入口の情報がある場合、出入口を表示

- 検索した施設に提携駐車場や複数の出入口の情報がある場合はメッセージが表示されます。はいを選ぶと出入口のリストが表示されます。

行き先までのルートを作るには

行き先に設定する

1 地点メニューから**ここに行く**を選ぶ



- ルート探索を開始します。
- 地点メニューの操作（P.37）

2 ルート探索完了後、**案内スタート**を選ぶ



- 案内を開始します。（車を発進させても案内を開始します。）
- ルート探索完了後、全ルート図を表示する/しないを設定できます（P.95）。ルートの全表示「しない」に設定すると、ルート探索完了後、自動的にルート案内を開始します。

ルート案内を中止する

1 MENUを押し、**ルート**を選ぶ

2 ルートメニューから**案内ストップ**を選ぶ

ルート案内を中止し、ルート表示が削除されます。
- ルートそのものは削除されません。

ルート案内を再開するには

ルートメニューから**案内スタート**を選ぶ

ルートを削除する

1 MENUを押し、**ルート**を選ぶ

2 ルートメニューから**ルート削除**を選ぶ

3 **はい**を選ぶ

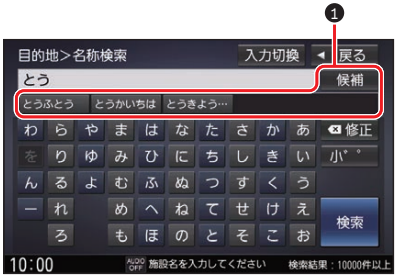
ルートそのものが削除されます。

行き先を探す

施設の名称で探す

1 目的地メニュー(P.17)から**名称**を選ぶ

2 名称を入力し、**検索**を選ぶ
- **修正**: 1文字削除
- ひらがなのみ入力できます。
- 検索結果は最大10 000件まで表示されます。



❶ 入力した履歴から、候補が5件まで表示されます。表示された候補から選ぶか、**候補**を選んでリストから候補を選ぶと、その名称が入力欄に表示されます。

3 リストから施設を選び、**決定**を選ぶ
- **戻る**: 入力した名称を修正

施設を絞り込む

■ 地域で絞り込むには

1 **絞込み**▶**地域**を選ぶ

2 都道府県▶市区町村を選ぶ
- **全国**: 地域絞り込みを解除

■ ジャンルで絞り込むには

1 **絞込み**▶**ジャンル**を選ぶ

2 絞り込むジャンルを選ぶ
- **全ジャンル**: ジャンル絞り込みを解除

地図が表示されます。(P.44)

住所で探す

リストから検索する

1 目的地メニュー(P.17)から**住所**を選ぶ

2 都道府県▶市区町村▶町名▶丁目を選ぶ
- 市区町村を選んだあと、大字・小字を選ぶ場合があります。
- 住所が部分的にしか分からないときは、**代表地点**を選ぶと、その地域の地図を表示します。

3 数字キーで番地・号を入力し、**検索**を選ぶ
- 番地・号は、「ー」で区切ってください。
- リストから番地・号を選ぶこともできます。
- **修正**: 1文字削除

地図が表示されます。(P.44)

住所の一部を入力して検索する

1 目的地メニュー(P.17)から**住所**を選ぶ

2 **地名部分入力**を選ぶ

3 地名を入力し、**検索**を選ぶ
- **修正**: 1文字削除

4 リストから地名を選ぶ

5 以降の住所を選び、**検索**を選ぶ

地図が表示されます。(P.44)

ルートを探索する

目的地に設定する

1 地点を検索する

2 地点メニューから ここに行く を選ぶ



- カーソルの地点を目的地に設定し、ルート探索を開始します。
- 検索した施設に出入口や提携駐車場の情報がある場合や、有料道路、盗難多発地点がある場合は、メッセージで案内される場合があります。

3 案内スタート を選ぶ



- ルート案内を開始します。
- 走行を始めても、ルート案内を開始します。
- 全ルート図を表示後、約１分間何も操作しないと、ルート案内を開始します。
- ルート探索完了後、全ルート図を表示する/しないを設定できます(P.95)。ルートの全表示「しない」に設定すると、ルート探索完了後、自動的にルート案内を開始します。

お知らせ

- ルートが設定されている場合、前のルートは削除されます。

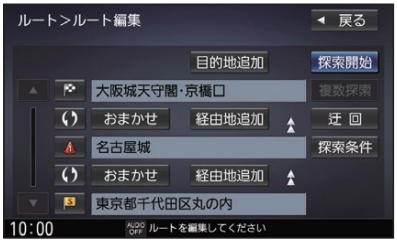
ルートを編集する

ルートを変更する

1 MENUを押し、**ルート**を選ぶ

2 ルート画面から**ルート編集**を選ぶ

3 ルート編集画面からルートを編集する

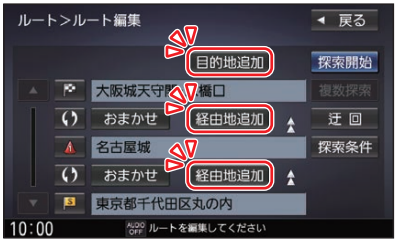


4 **探索開始**を選ぶ

- ルート探索を開始し、完了すると全ルート図が表示されます。
- **探索条件**を選ぶと、ナビ設定の探索条件を設定できます。(P.97)

経由地・目的地を追加する

1 MENUを押し、**ルート**▶**ルート編集**を選び、追加したい場所の**経由地追加**/**目的地追加**を選ぶ

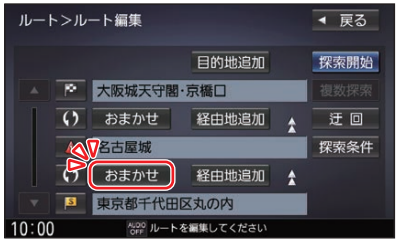


2 経由地・目的地にしたい場所を検索する

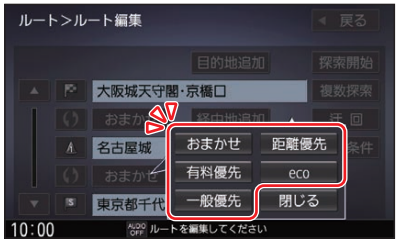
- 検索した地点が、経由地・目的地として追加されます。

区間ごとの探索条件を変更する

1 MENUを押し、**ルート**▶**ルート編集**を選び、変更したい探索条件を選ぶ



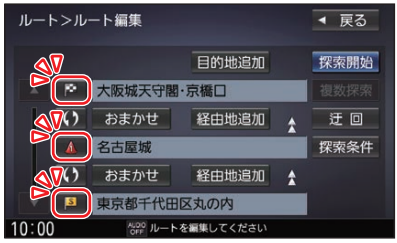
2 探索条件を設定する



- 探索条件が変更されます。

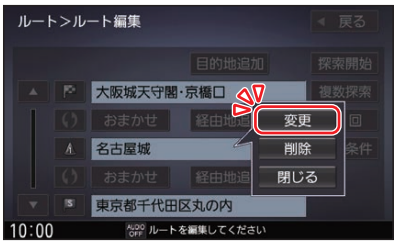
出発地・経由地・目的地を変更する

1 MENUを押し、**ルート**▶**ルート編集**を選び、変更したい場所を選ぶ



ルートを編集する

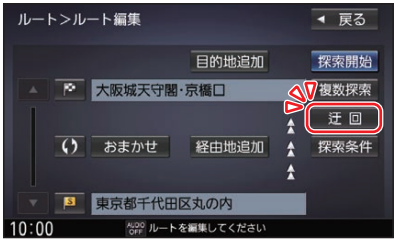
2 **変更**を選ぶ



3 **変更したい場所を検索する**
(P.43)
- 出発地・経由地・目的地の場所が変更されます。

迂回するルートに設定する

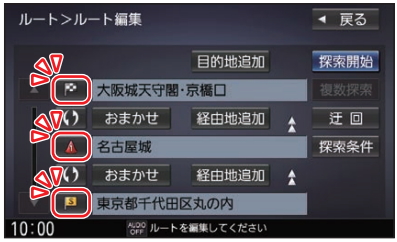
1 MENUを押し、**ルート**▶**ルート編集**▶**迂回**を選ぶ



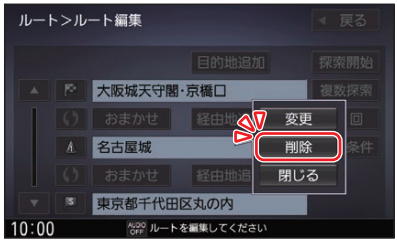
2 **迂回する距離を選ぶ**
- 設定範囲：1 km/2 km/5 km/10 km
- 設定された距離を迂回するルートを探索します。
- 次の経由地または目的地までの距離が設定した距離より短い場合、設定した距離にかかわらず、次の経由地または目的地までを迂回するルートを探索します。

出発地・経由地・目的地を削除する

1 MENUを押し、**ルート**▶**ルート編集**を選び、削除したい場所を選ぶ
- 経由地が設定されている場合は、出発地と目的地が削除できます。



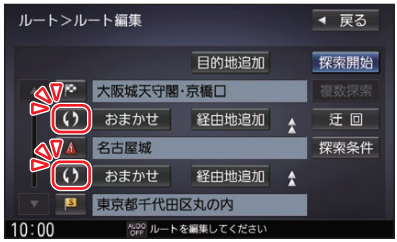
2 **削除**を選ぶ



3 **はい**を選ぶ
- 出発地・経由地・目的地が削除されます。

経由地・目的地を並べ換える

MENUを押し、**ルート**▶**ルート編集**を選び、並べ換えたい区間の↕を選ぶ



- 選んだ区間で順番が入れ換わります。

地点を登録する（登録地）

登録地について

1ユーザーにつき最大900件まで登録できます。（自宅、お気に入り地点を含む）

- 登録された地点は、📌マークで表示されます。
- 登録地を表示する/しないの設定（P.94）

カーソル（⊹）の地点を登録する

登録したい場所にカーソル（⊹）を合わせ、設定 ▶ 地点登録 を選ぶ



- カーソル（⊹）の位置（地点）が登録されます。

現在地を登録する

準備

- ランチャーメニューに「地点を登録」が表示されるように設定してください。（P.30）

ランチャーメニューから 地点を登録 を選ぶ

- 現在地が登録地として登録されます。

オーディオ

オーディオの基本操作 50
オーディオに切り換える 50
オーディオの種類を選ぶ 50
オーディオの音声を出力したまま
ナビゲーションに切り換える 51
オーディオをOFFにする 51
音質・音場を調整する（オーディオ
チューン） 51
音響効果「音の匠」を設定する 51

テレビを見る 52
テレビを見る 52
テレビ初期設定を行う 52
テレビの基本操作 52

ラジオを聞く 54
受信中の放送局をリストに記憶させる
（プリセットメモリー） 54
記憶させた放送局を選ぶ
（プリセット選局） 54
FM/AMを切り換える 54
自車位置に応じて放送局を切り換える
（エリアモード） 54
周波数から選局する（シーク選局） 54

交通情報を聞く 55

ディスクを再生する 56
ディスクを挿入する 56
ディスクを取り出す 56
DVD-Video・DVD-VRを再生
する 56
音楽CD（CD-DA）を再生する 59
MP3/WMAを再生する 60

BLUETOOTH Audioを再生する 61

**SDメモリーカードに音楽CDを
録音する 63**
録音に関する設定をする 63
録音する 63
音楽CDの録音について 64

**本機で録音した音楽データを再生
する 65**

**本機で録音した音楽データを編集
する 66**
パソコンでGracenote®データ
ベースを更新する（ローカルアップ
デート） 66
パソコンでタイトル情報を個別に
更新する（カスタムアップデート） 66

**SDメモリーカード・USBメモリー
を再生する 68**
SDメモリーカードを挿入する 68
SDメモリーカードを取り出す 68
USBメモリーを本機と接続する 69
音楽（MP3/WMA/AAC）を再生
する 69
静止画を再生する 71
動画を再生する 72

iPodを再生する 73

オーディオの基本操作

●**走行中は、TV、DVD、SD動画、USB動画、VTRの映像は表示されません。**
安全な場所に停車し、パーキングブレーキをかけてご覧ください。
●**走行中でも、後席用のモニターには映像が出力されます。**
後席用のモニターに出力される映像について（P.89）

オーディオに切り換える

AUDIOを押す
●オーディオ画面に切り換わります。
●オーディオOFFの状態でAUDIOを押すと、オーディオメニューが表示されます。

オーディオの種類を選ぶ

オーディオメニューから

切り換えたいオーディオを選ぶ



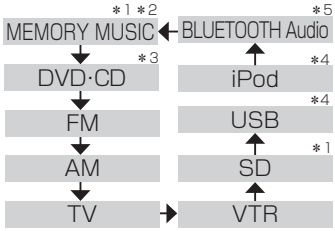
●選んだオーディオに切り換わります。

ステアリングスイッチで

準 備

●ステアリングスイッチ設定をしてください。（取付説明書）

SOURCE（ソース）を割り当てたステアリングスイッチを押す
●押すごとにオーディオが切り換わります。



●オーディオがOFFのときは、最初MEMORY MUSICに切り換わります。
●交通情報を聞いているときは、最初TVに切り換わります。
●交通情報に切り換えることはできません。

＊1 SDメモリーカード挿入時のみ
＊2 本機でSDメモリーカードに録音した音楽データの再生
＊3 ディスク（CD・MP3/WMA・DVD）挿入時のみ
＊4 USBメモリー、iPod接続時のみ（同時には接続できません。）
＊5 BLUETOOTH Audio機器接続時のみ

オプションボタンで

準 備

●オプションボタンに「SOURCE」を割り当ててください。（P.20）

OPTを押す
●「ステアリングスイッチで」と同じ動作になります。

お知らせ

●オーディオの音量を調整するには（P.13）をご覧ください。
●地図画面やメニュー画面を表示中にオーディオを操作すると、情報バーに動作状態が約10秒間表示されます。

オーディオの音声を出力したままナビゲーションに切り換える

オーディオ画面表示中に MAP を押す

- オーディオ画面に戻るには、AUDIO を押してください。

お知らせ

- ナビゲーションの現在地画面に、オーディオ映像を表示させることができます。(P.94)

オーディオをOFFにする

本体ボタンで

AUDIO を2秒以上押す

■ オーディオをONにするには

AUDIO を2秒以上押す

オーディオメニューまたはツートップメニューから

AUDIO OFF を選ぶ



- オーディオの音声・映像が消去されます。

■ オーディオをONにするには

オーディオメニューまたはツートップメニューから AUDIO ON を選ぶ

音質・音場を調整する(オーディオチューン)

FADE/BALANCE、エフェクトなどの音質設定をすることができます。

MENU を押し、情報・設定
▶ オーディオチューン を選ぶ

- オーディオチューン画面が表示されます。

音響効果「音の匠」を設定する

音の匠とは

レコーディングエンジニア集団MIXER' S LAB(ミキサーズラボ)が監修した音質で音楽を楽しめます。

- **「匠　TAKUMI マスターサウンド」[お買い上げ時の設定]:**
  レコーディングやマスタリングを手がける音のプロがチューニングした、よりスタジオサウンドに近い音を再現します。(2 wayスピーカー向き)
- **「極　KIWAMI 高域強調」:**
  音楽性を重視して高域補正した、メリハリのある感じで音楽を楽しめるモード(フルレンジスピーカー向き)
- **「和　NAGOMI 会話重視」:**
  人の会話と周波数がぶつからないようにチューニングした、音楽を聞きながら車内の会話が楽しめるモード

1 MENU を押し、情報・設定
▶ オーディオチューン を選ぶ

2 オーディオチューン画面から ◀ ▶ で「音の匠」を選ぶ



- 選ぶごとに、音響効果が切り換わります。
  音の匠⇔DSP⇔OFF⇔(音の匠に戻る)

3 ◀ ▶ でサラウンドを選ぶ

テレビを見る

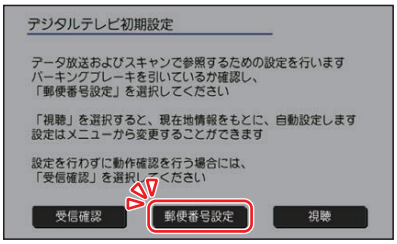
テレビを見る

オーディオメニュー(P.50)から TV を選んでください。

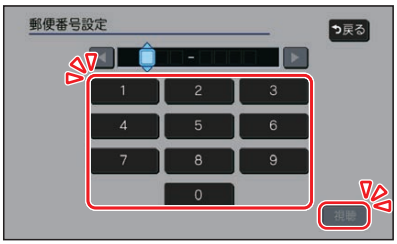
テレビの初期設定を行う

初期設定をしていない場合、オーディオメニューから TV を選んだあと、初期設定画面が表示されます。初期設定では、データ放送でお住まいの地域の情報(天気予報など)を見られるように、郵便番号を設定します。

1 郵便番号設定 を選ぶ



2 お住まいの地域の郵便番号を入力して、視聴 を選ぶ、



●地上デジタル放送をご覧になれます。

お知らせ

- 引っ越しなどでお住まいの地域が変わる場合は、設定を変更してください。(P.53)
- 手順 1 で 視聴 を選ぶと、初期設定をしないで、すぐにTVを見ることができます。この場合、郵便番号は現在地情報をもとに自動で設定されますので、お住まいの地域の設定に変更するために、ユーザー情報設定で設定を変更してください。(P.53)

テレビの基本操作

テレビ視聴中に画面をタッチすると、選局パネルが表示されます。

- 約5秒間何も操作しないと、選局パネルは自動的に消去されます。

選局パネル



❶ チャンネルリスト

❷ (エリアプリセット)/(ユーザープリセット)

❸ 選局パネルを消去

❹ 番組表を表示

❺ カーソルパネルを表示(P.53)

❻ チャンネル設定の切り換え(P.53)

❼ テレビメニューを表示

選局する

チャンネルを選局します。

■ チャンネルリストから選局する

チャンネルリストから放送局を選ぶ

■ チャンネルを1つずつ切り換える

⏮ ⏭を押す

- 押し続けると連続してチャンネルが切り変わります。

チャンネル設定を切り換える

USER.P / AREA.P を選ぶ

- 選ぶごとに、USER.P / AREA.P が切り換わります。
- AREA.P：エリアプリセット

自車位置に応じてチャンネルリストが自動的に切り換わります。(自動で現在地周辺の放送局がチャンネル設定されます。)

- USER.P：ユーザープリセット

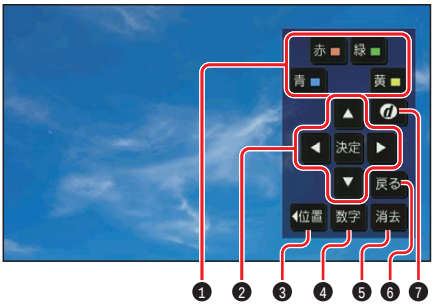
自車位置にかかわらず、ユーザープリセットに記憶させたチャンネルリストになります。(初めて USER.P を選ぶと、スキャンするかメッセージが表示されますので はい を選んでスキャンを開始してください。)

更新するときは、選局パネルの メニュー を選び、ユーザープリセット設定の スキャン を選んでください。

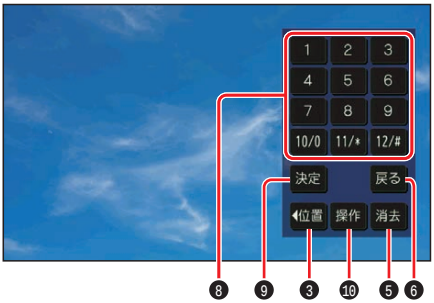
データ放送を見る

選局パネル(P.52)から d操作 を選ぶと、カーソルパネルが表示されます。

カーソルパネル



数字パネル



❶ データ放送のコンテンツに依存した動作をする

❷ ◀ ▶ ▲ ▼：項目の選択

決定：選んだ項目に決定

❸ カーソルパネル/数字パネルの移動(画面左/右)

❹ 数字パネルに切り換え

❺ カーソルパネル/数字パネルを消去

❻ データ放送表示時にひとつ前の画面に戻る

❼ データ放送を見る

- 情報量が多いときは、表示に時間がかかる場合があります。
- 再度 d を選ぶと通常の放送に戻ります。
- 双方向データサービスやワンセグのデータ放送には対応していません。

❽ 数字タッチキー

❾ 選んだ数字に決定

❿ カーソルパネルに切り換え

ユーザー情報設定を変更する

1 選局パネル(P.52)から メニュー ▶ 設定 ▶ ユーザー情報設定 を選ぶ

2 修正 を選ぶ

3 お住まいの地域の郵便番号を入力し、次へ を選ぶ

4 お住まいの都道府県を選ぶ

伊豆、小笠原諸島、南西諸島鹿児島県地域を設定するには

■ 伊豆、小笠原諸島地域

1 沖縄・その他の島部 を選ぶ

2 東京都島部 を選ぶ

■ 南西諸島鹿児島県地域

1 沖縄・その他の島部 を選ぶ

2 鹿児島県島部 を選ぶ

5 地域を選んで、完了 を選ぶ

6 終了 を選ぶ

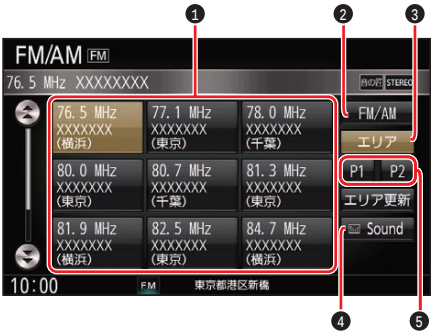
お知らせ

- 郵便番号を設定することで、地域に密着したデータ放送(たとえば、地域の天気予報など)を視聴できるようになります。

ラジオを聞く

オーディオメニュー（P.50）から FM/AM を選ぶと、ラジオ画面が表示されます。

ラジオ画面（エリア 選択時）



❶ 放送局リスト
❷ FM/AMの切り換え
❸ エリアモード
❹ オーディオチューン
❺ プリセットメモリー

受信中の放送局をリストに記憶させる（プリセットメモリー）

1 プリセットのリスト（P1 / P2）を選ぶ

2 ⏮ ⏭ で周波数から選局する

3 保存したい枠を2秒以上タッチする
- 受信している放送局が選んだ枠に記憶されます。
- P1 / P2 それぞれ6局まで記憶できます。

記憶させた放送局を選択する（プリセット選局）

1 プリセットのリスト（P1 / P2）を選ぶ

2 リストから放送局を選ぶ
- 選んだ放送局に切り換わります。

FM/AMを切り換える

FM/AM を選ぶ

お知らせ
- AMステレオには対応していません。

自車位置に応じて放送局を切り換える（エリアモード）

エリア を選ぶ
- 自車位置周辺の放送局のリストが表示されます。（18局まで）

■ 自車位置周辺の放送局を更新するには

エリアモードで エリア更新 を選ぶ
- 自車位置周辺の放送局のリストに更新されます。

周波数から選局する（シーク選局）

⏮ ⏭ を押す
- 1秒以上押して離すと選局を始め、受信すると止まります。

お知らせ
- 本機は、ワイドFM（FM補完放送）に対応しています。
- 地域によっては、リストに実際とは異なる放送局名が表示されたり、周波数のみが表示される場合があります。
- 周波数再編により、これまで受信できた放送局が受信できなくなった場合は、新しい周波数をプリセットのリストに記憶させてください。

交通情報を聞く

1 **オーディオメニュー**(P.50)**から** 交通情報 **を選ぶ**

2 1620kHz/1629kHz **を選ぶ**
[お買い上げ時の設定：1 620 kHz]

ディスクを再生する

ディスクを挿入する

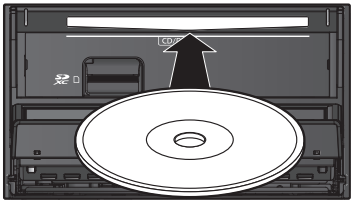
1 TILT を押す

2 OPEN/EJECT画面から **OPEN** を選ぶ



- ディスプレイが開きます。

3 ラベル面を上にしてディスクを挿入する



- ディスプレイが自動的に閉まり、再生を開始します。
- TILT を押して、手動でディスプレイを閉じることもできます。

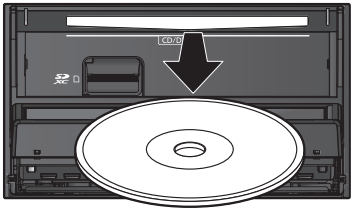
ディスクを取り出す

1 TILT を押す

2 OPEN/EJECT画面から **DISC EJECT** を選ぶ

- ディスプレイが開き、ディスクが排出されます。

3 ディスクを取り出す



4 TILT を押す

- ディスプレイが閉じます。

DVD-Video・DVD-VRを再生する

- 本機で再生できるディスクについて（P.117）
- ディスクまたは本機で禁止されている操作をした場合は、⃠が表示されます。

再生する

ディスクを挿入し、オーディオメニュー（P.50）から **DVD** を選ぶ

基本操作タッチキー1を表示する

DVD再生中に MENU を押す



❶ タッチキーを消去

タイトルメニューを表示する DVD-Video

タイトルを選ぶ

トップメニューを表示する DVD-Video

メニューを選ぶ

タイトルリストを表示する DVD-VR

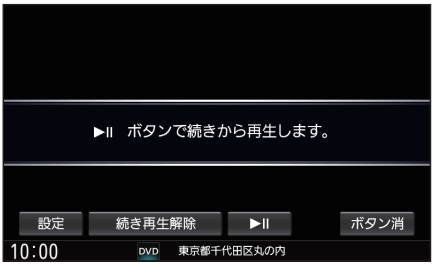
タイトルを選ぶ

プレイリストを表示する DVD-VR

メニューを選ぶ

停止

再生中に**■**を選ぶ



- **▶II**を選ぶと、停止した位置から再生を開始します。(リジューム再生)
- **続き再生解除**：リジューム再生開始位置の情報を解除

一時停止する

再生中に**▶II**を選ぶ
- 再度選ぶと、再生を開始します。

音声を切り換える

音声を選ぶ
- 選ぶごとに、音声が切り換わります。

字幕を切り換える DVD-Video

字幕を選ぶ
- 選ぶごとに、字幕が切り換わります。

字幕を消去する DVD-VR

字幕を選ぶ
- 選ぶごとに、字幕の表示/非表示が切り換わります。

アングルを切り換える DVD-Video

アングルを選ぶ
- 選ぶごとに、アングルが切り換わります。

トップメニュー/タイトルメニューからもとの再生に戻る(リジューム) DVD-Video

リジュームを選ぶ

基本操作タッチキー2を表示する

基本操作タッチキー1から**次へ**を選ぶ



❶ 設定を変える

❷ タッチキーを消去

再生時間を表示する

タイムを選ぶ
- 選ぶごとに下記のように切り換わります。

再生経過時間→タイトル/チャプター→表示なし→(再生経過時間に戻る)

ディスクを再生する

メニューなどをカーソルで操作する

1 操作を選ぶ

2 ▲ ▼ ◀ ▶でカーソルを移動し、実行を選ぶ



- ボタン移動：タッチキーを左右に移動
- ボタン消：タッチキー消去
- DVD-Videoは、トップメニュー/タイトルメニューの画面を直接タッチして操作できます。(ダイレクトタッチ)

1つ前の画面に戻る

リターンを選ぶ

項目を番号で選ぶ

1 10キーを選ぶ

2 10キーで番号を入力する



- ボタン移動：タッチキーを上下に移動
- ボタン消：タッチキー消去

タイトル/チャプターを番号で選ぶ(サーチ)

1 サーチを選ぶ

2 切換で、サーチの対象を選ぶ
- 選ぶごとに、タイトル/チャプターが切り換わります。

3 番号を入力し、実行を選ぶ
- 入力したタイトル/チャプターの先頭から再生を開始します。

項目を決定する

エンターを選ぶ

早送り・早戻しする

⏮ ⏭を押し続ける
- 離すと、通常の再生に戻ります。

スロー再生する

一時停止中(P.57)に⏮ ⏭を押し続ける
- 離すと、通常の再生に戻ります。
- ⏮：DVD-Videoのみ

チャプターを頭出しする

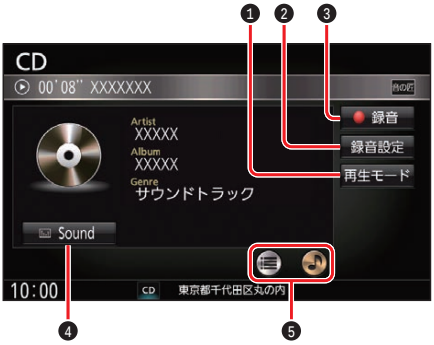
⏮ ⏭を押す

音楽CD(CD-DA)を再生する

ナビゲーション画面表示中にディスクを挿入すると、ナビゲーション画面を表示したまま再生します。オーディオ画面に切り換えるには、AUDIOを押してください。

●**本機で再生できるディスクについて**(P.117)

音楽CD再生画面



❶ 再生モードの切り換え
❷ 録音設定(P.63)
❸ 録音の開始・停止(P.63)
❹ オーディオチューン
❺ 表示内容の切り換え

表示内容を切り換える

再生中の表示内容を切り換えます。

: **再生中の曲の情報を表示**
: **曲のリストを表示**
・曲を選ぶと、再生を開始します。

早送り・早戻しする

⏮ ⏭を押し続ける
●離すと、通常の再生に戻ります。

曲を頭出しする

⏮ ⏭を押す

再生モード

リピート/ランダム/スキャン再生を切り換えます。

1 再生モードを選ぶ

2 再生モードを切り換える
●選択した再生モードのインジケーターが点灯します。
●再度選ぶと、通常再生になります。

繰り返し再生(リピート)

リピートを選ぶ
●再生中の曲を繰り返し再生します。

順不同に再生(ランダム)

ランダムを選ぶ
●全曲を順不同に再生します。

曲を探す(スキャン)

スキャンを選ぶ
●全曲を約10秒ずつ再生します。

お知らせ

●録音中は、リストからの選曲、再生モードの切り換え、早送り・早戻し、曲の頭出しはできません。
●タイトル、Artist、Album、Genreの文字数が多い場合は、再生画面で項目をタッチすると、表示がスクロールします。(走行中は操作できません。)

音楽CDのタイトル表示について

音楽CDを挿入すると、本機内の音楽データベース*1(以降Gracenote®データベース)を検索し、情報があれば、アルバム名・曲名などを表示します。

●CD-TEXT情報がある場合は、CD-TEXT情報が優先的に表示されます。
●本機のGracenoteデータベースに一致する情報がないときは、タイトル情報は表示されません。異なるタイトル情報を表示する場合もあります。
●タイトルを表示して再生するまで、しばらく時間がかかる場合があります。

＊1 Gracenote音楽認識サービスのデータベースの抜粋

ディスクを再生する

MP3/WMAを再生する

ナビゲーション画面表示中にディスクを挿入すると、ナビゲーション画面を表示したまま再生します。オーディオ画面に切り換えるには、AUDIOを押してください。

- **本機で再生できるディスクについて**（P.117）
- **データ作成時の留意点について**（P.121）

MP3/WMA再生画面



❶ オーディオチューン
❷ フォルダの選択
❸ 表示内容の切り換え
❹ 再生モードの切り換え

表示内容を切り換える

再生中の表示内容を切り換えます。

: **再生中の曲の情報を表示**
: **曲のリストを表示**
- 曲を選ぶと、再生を開始します。

早送り・早戻しする

⏮ ⏭を押し続ける
- 離すと、通常の再生に戻ります。

曲を頭出しする

⏮ ⏭を押す

再生モード

リピート/ランダム/スキャン再生を切り換えます。

1 再生モードを選ぶ

2 再生モードを切り換える
- 選択した再生モードのインジケーターが点灯します。

繰り返し再生（リピート）

リピートを選ぶ
- 再生中の曲を繰り返し再生します。
- 選ぶごとに下記のように切り換わります。
  リピートトラック→リピートフォルダ→通常再生→（リピートトラックに戻る）

順不同に再生（ランダム）

ランダムを選ぶ
- 再生中のリストの中から順不同に再生します。
- 再度選ぶと、通常再生になります。

曲を探す（スキャン）

スキャンを選ぶ
- 再生中のリストの中の全曲を約10秒ずつ再生します。
- 再度選ぶと、通常再生になります。

フォルダを選ぶ

フォルダ⊖/フォルダ⊕を選ぶ
- 選んだフォルダ内の先頭の曲から再生を開始します。

お知らせ

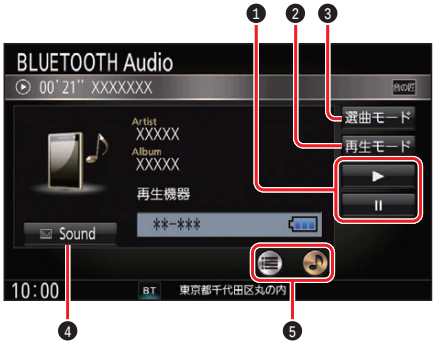
- タイトル、Artist、Album、Folderの文字数が多い場合は、再生画面で項目をタッチすると、表示がスクロールします。（走行中は操作できません。）

BLUETOOTH Audioを再生する

準 備

●BLUETOOTH対応機器を本機に登録してください。(P.77)

BLUETOOTH Audio再生画面



❶ 再生/一時停止
❷ 再生モードの切り換え
❸ 選曲モードの選択
❹ オーディオチューン
❺ 表示内容の切り換え

再生する

オーディオメニュー(P.50)から**BLUETOOTH Audio**を選ぶ

表示内容を切り換える

再生中の表示内容を切り換えます。

: **再生中の曲の情報を表示**

: **選曲モードで選択された選曲方法で、曲のリストを表示**

・曲を選ぶと、再生を開始します。

早送り・早戻しする

|◀◀ ▶▶|を押し続ける

●離すと、通常の再生に戻ります。

曲を頭出しする

|◀◀ ▶▶|を押す

再生モード

リピート/ランダム再生を切り換えます。

1 再生モードを選ぶ

2 再生モードを切り換える

●選択した再生モードのインジケーターが点灯します。

●再度選ぶと、通常再生になります。

繰り返し再生(リピート)

リピートを選ぶ

●再生中の曲を繰り返し再生します。

順不同に再生(ランダム)

ランダムを選ぶ

●再生中のリストの中から順不同に再生します。

一時停止する

再生中に❚❚を選ぶ

●▶を選ぶと、再生を開始します。

BLUETOOTH Audioを再生する

お知らせ

- タイトル、Artist、Albumの文字数が多い場合は、再生画面で項目をタッチすると、表示がスクロールします。(走行中は操作できません。)
- 接続機器や接続状態によって、下記のようなことが発生する場合があります。
  - 音声出力や画面表示に時間がかかる。
  - 音楽プレーヤーを起動する必要がある。
  - 音楽プレーヤー再生中でないと正しく操作できない。
  - 画面表示が更新されない。
  - タイトル、Artist、Albumが表示されない。
  - ナビゲーションから操作できない。(その場合は、接続機器で操作してください。)
- スマートフォンを接続し、複数のアプリを起動している場合、本機から操作できなかったり、音声出力と画面表示される楽曲が異なる場合があります。その場合は、BLUETOOTH Audioに切り換える前にすべてのアプリを終了して、BLUETOOTH Audioを接続しなおしてください。
- 接続機器や本機との接続状況によっては、BLUETOOTH Audioを使用する際に、接続機器側の音声出力先を本機に設定する必要がある場合があります。(例:iPhoneにて、ケーブル接続している場合)

SDメモリーカードに音楽CDを録音する

音楽CDをSDメモリーカードに録音し、再生することができます。
録音した音楽データを再生するときは、(P.65)をご覧ください。

録音に関する設定をする

1 オーディオメニュー(P.17)から、**CD**を選ぶ

2 **録音設定**を選ぶ

3 録音に関する設定をする



録音管理

- **自動録音**[お買い上げ時の設定]
  録音していないCDを、自動的にすべて録音
- **手動録音**
  曲を選んで録音

音質

◀/▶で音質を選ぶ
[お買い上げ時の設定:256 kbps]
- 録音曲数の目安*1
  - 320 kbps:約1 748曲
  - 256 kbps:約2 185曲
  - 192 kbps:約2 913曲
  - 128 kbps:約4 369曲
  - 96 kbps:約5 825曲

4 **戻る**を選ぶ

*1 空き容量が16 GBのSDHCメモリーカードに、4分程度の曲を録音した場合(ファイル管理上は、最大10 000曲/10 000アルバムまで保存できます。)

録音する

準備

- 本機で初期化したSDメモリーカード(P.100)を挿入してください。(P.68)

1 音楽CDを挿入する(P.56)

2 録音方法を選ぶ

録音設定が「自動録音」の場合

音楽CDの再生とともに、自動的に録音を開始します。



- 録音中、**REC**が表示されます。

録音設定が「手動録音」の場合

■ 全曲を録音する場合

1 **録音**▶**全曲録音**を選ぶ

2 **録音開始**を選ぶ
- 未録音の曲をすべて録音します。

■ 選んだ曲を録音する場合

1 **録音**▶**選択曲録音**を選ぶ

2 リストから曲を選び、**決定**を選ぶ
- 選んだ項目には、チェックマーク(✔)が付きます。なお、すでに録音済みの曲にはチェックマーク(✔)が付いています。

3 **録音開始**を選ぶ

録音を停止するには

録音中画面から、**録音中止**を選ぶ

SDメモリーカードに音楽CDを録音する

お願い

●SDメモリーカードの「RECAUDIO」フォルダの内容を、変更・削除しないでください。録音したデータが正しく再生されない場合があります。

●本機で録音した音楽データは、本機のみで再生可能な音楽データのため、本機以外の機器（パソコンなど）では再生できません。

音楽CDの録音について

●1曲でも録音済みの曲がある場合は、録音設定にかかわらずその音楽CDの自動録音は行いません。録音を開始するには、手動録音の全曲録音（P.63）を行ってください。
●録音中にCD以外のオーディオ、AUDIO OFFに切り換えても録音は継続されます。その場合、**本機の動作状態に応じて、録音速度は自動で切り換わります。（4倍速～8倍速）**
●CD以外のオーディオに切り換えた状態で録音しているときは、音楽CD再生の音声は聞こえません。
●アルバム/曲の情報は、本機のGracenoteデータベースから検索したタイトル情報が付与されます。
●タイトル情報が付与されない（本機のGracenoteデータベースにない）場合は、タイトルを手動で編集できます。また、パソコンの専用アプリ「Title Finder」を使用してインターネット経由で取得（P.66）することができます。
●ディスクに保存されたMP3/WMAファイルは、録音できません。
●ノンストップCDを録音した場合、再生時に曲間で音が途切れます。
●録音したものは、オリジナルと音質が異なる場合や、ノイズが発生する場合があります。ご容赦ください。
●高温時は、録音できない場合があります。
●録音済みの曲は、録音の音質を変更しても、重複して録音できません。
●dtsCDは録音できません。

お願い

●録音中にSDメモリーカードを抜かないでください。データが破損するおそれがあります。

音楽CD録音時の制限について

●本機の動作が遅くなる場合があります。
●録音中に車のACCをOFFにすると、録音は停止されます。録音を停止された曲のデータは破棄されます。「自動録音」に設定している場合は、次回車のACCをONにすると、停止した曲から録音を再開します。
●録音中は音楽CDに対して下記の操作ができません。＊1
- 頭出し
- 再生モード（リピート/ランダム/スキャン）の切り換え
- 早送り/早戻し
- タイトル情報検索のための音楽情報の出力と更新
- 録音設定

●連続複製防止システム（SCMS）の信号が付与された曲はCD-Rなどからは、録音できません。

＊1 録音終了時点に再生されている曲が終わるまで、早送り/早戻し、再生モード（リピート/ランダム/スキャン）の切り換えなどの操作はできません。

本機で録音した音楽データを再生する

準 備

●本機で音楽CDをSDメモリーカードに録音してください。(P.63)

MEMORY MUSIC再生画面



❶ アルバムの切り換え
❷ 選曲モードの選択
❸ 再生モードの切り換え
❹ オーディオチューン
❺ 表示内容の切り換え

再生する

オーディオメニュー(P.50)から**MEMORY MUSIC**を選ぶ

表示内容を切り換える

: **再生中の曲の情報を表示**
: **アルバムのリストを表示**
- 表示されるリストは、選曲モードの設定によって異なります。
- タッチして、曲を選ぶことができます。

: **曲のリストを表示**
- 曲を選ぶと、再生します。

早送り・早戻しする

⏮ ⏭を押し続ける
●離すと、通常の再生に戻ります。

曲を頭出しする

⏮ ⏭を押す

アルバムを切り換える

アルバム⊖ / アルバム⊕を選ぶ
●選んだアルバムの先頭の曲から再生を開始します。

再生モード

リピート/ランダム/スキャン再生を切り換えます。

1 再生モードを選ぶ

2 再生モードを切り換える
●選択した再生モードのインジケーターが点灯します。
●再度選ぶと、通常再生になります。

繰り返し再生(リピート)

リピートを選ぶ
●再生中の曲を繰り返し再生します。

順不同に再生(ランダム)

ランダムを選ぶ
●再生中のリストの中から順不同に再生します。

曲を探す(スキャン)

スキャンを選ぶ
●再生中のリストの中の全曲を約10秒ずつ再生します。

お願い

●SD再生中にSDメモリーカードを抜かないでください。データが破損するおそれがあります。

お知らせ

●タイトル、Artist、Album、Genreの文字数が多い場合は、再生画面で項目をタッチすると、表示がスクロールします。(走行中は操作できません。)

本機で録音した音楽データを編集する

パソコンでGracenote®データベースを更新する（ローカルアップデート）

Webサイトから更新データをダウンロードして、本機のGracenoteデータベースを更新できます。
詳しくは、下記サイトをご覧ください。
https://panasonic.jp/navi/

お知らせ

- Gracenoteデータベースはパブリックなデータベースですので、データベースの内容を100 %保証するものではありません。



1 SDメモリーカード/USBメモリーをパソコンに挿入する

2 SDメモリーカード/USBメモリーの直下に「NVDATA」フォルダを作り、Webサイトから Gracenoteデータベースの更新データをダウンロードして保存する

3 SDメモリーカード/USBメモリーをパソコンから取り出し、本機に挿入する

4 Gracenoteデータベースを更新する

1 オーディオチューン画面から gracenote を選ぶ

2 ローカルアップデート（定期更新）を選ぶ

3 はい を選ぶ（SD、USB、MEMORY MUSIC再生中のみ）

4 更新データを保存したメディア（SDカード / USB）を選び、更新開始 を選ぶ
- 更新履歴：ローカルアップデートの更新履歴を表示

5 はい を選ぶ
- 本機のGracenoteデータベースが更新されます。

5 タイトル情報を更新する

情報を取得したアルバムのアルバム編集画面 / トラック編集画面から データベース再検索 を選ぶ
- 取得したタイトル情報に更新されます。

パソコンでタイトル情報を個別に更新する（カスタムアップデート）

新譜など、本機のGracenoteデータベースにないタイトル情報を、個別にGracenote音楽認識サービスから検索して取得できます。

準 備（初回のみ）

- 専用アプリ「Title Finder」をWebサイトからダウンロードして、パソコンにインストールしてください。
詳しくは、下記サイトをご覧ください。
https://panasonic.jp/navi/



1 SDメモリーカード/USBメモリーにアルバム情報を書き出す

1 MEMORY MUSIC再生画面（P.65）から 編集 ▶ 曲管理 ▶ はい を選び、情報を取得したいアルバムを選んで アルバム編集 ▶ アルバム情報保存 を選ぶ

- 新譜など、タイトル情報が付与されていないアルバムの場合、この操作は必要ありません。手順1-2から始めてください。
- 複数ある場合は、この手順を繰り返し、アルバム情報を保存してください。

2 オーディオチューン画面から gracenote を選ぶ

3 カスタムアップデート（個別更新） を選ぶ

4 はい を選ぶ（SD、USB、MEMORY MUSIC再生中のみ）

5 アルバム情報を書き出すメディア（ SDカード / USB ）を選び 書き出し を選ぶ

6 はい を選ぶ

- アルバム情報ファイル「export.dat」が、SDメモリーカード/USBメモリーの「NVDATA」フォルダに出力されます。
- アルバム情報保存 で保存されたアルバム情報が、すべて書き出されます。

2 SDメモリーカード/USBメモリーを本機から取り出し、パソコンに挿入する

3 Title Finderを起動しGracenote音楽認識サービスからタイトル情報をダウンロードして、SDメモリーカード/USBメモリーに保存する

4 タイトル情報取得が完了したら、SDメモリーカード/USBメモリーをパソコンから取り出し、本機に挿入する

5 タイトル情報を更新する

1 オーディオチューン画面から gracenote を選ぶ

2 カスタムアップデート（個別更新） を選ぶ

3 はい を選ぶ（SD、USB、MEMORY MUSIC再生中のみ）

4 タイトル情報を取り込むメディア（ SDカード / USB ）を選び 取り込み を選ぶ

5 はい を選ぶ

- タイトル情報が取り込まれます。

6 情報を取得したアルバムのアルバム編集画面/トラック編集画面から データベース再検索 を選ぶ

- 取得したタイトル情報に更新されます。

SDメモリーカード・USBメモリーを再生する

- 本機では、SDメモリーカード・USBメモリーを使用して、パソコンなどで保存した音楽（MP3/WMA/AAC）、静止画（JPEG）、動画（MPEG4）の再生ができます。
- 本機では、SD-Audio規格準拠の音楽データは再生できません。
- 本機でSDメモリーカードに録音した音楽データを再生するときは、（P.65）をご覧ください。
- データ作成時の留意点については、（P.121）をご覧ください。

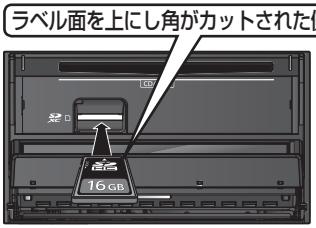
SDメモリーカードを挿入する

- 挿入する前に、他のカードが入っていないか確認してください。
- 正常に動作しないときは、再度カードを抜き差ししてください。

1 TILT を押す

2 OPEN/EJECT画面から OPEN を選ぶ
- ディスプレイが開きます。

3 SDメモリーカードを奥までまっすぐにカチッと音がするまで挿入する



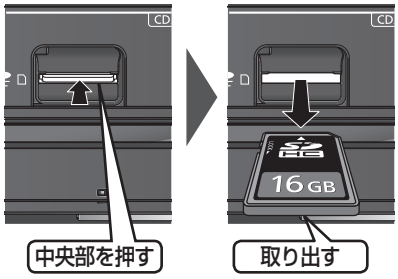
- 自動的にディスプレイが閉じます。
- ディスプレイが閉じない場合は、SDメモリーカードが奥までしっかり入っているか確認してください。

SDメモリーカードを取り出す

1 TILT を押す

2 OPEN/EJECT画面から OPEN を選ぶ
- ディスプレイが開きます。

3 SDメモリーカードを取り出す

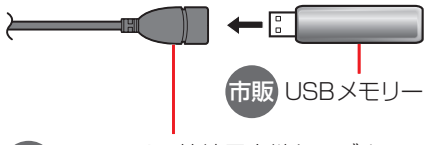


4 TILT を押す
ディスプレイが閉じます。

お願い

- 再生中にSDメモリーカードを抜かないでください。
  データが破損するおそれがあります。

USBメモリーを本機と接続する



お願い

- **オーディオがUSBのときに、USBメモリーの取り付け・取り外しをしないでください。雑音が発生し、スピーカーやデータが破損する原因となる場合があります。**
- **コネクターは確実に差し込んでください。**
- **USBメモリーの取り付け・取り外しをするときにケーブルを引っ張らないでください。**
- **USBメモリーおよびケーブルは、運転や乗り降りを妨げたり、エアバッグの動作を妨げないように固定してください。**
- **USBメモリーを車内の温度が高くなる場所に長時間放置しないでください。**
- **正しく動作しないときは、USBメモリーを本機から外して、約10秒たってから再度接続してください。**

お知らせ

- USBメモリーとiPodは、同時には接続できません。
- 長時間使用すると、USBメモリーが温かくなっている場合がありますが、故障ではありません。
- 使用するUSBメモリーやケーブル、またはその組み合わせによって、正しく動作しない場合があります。
- 延長ケーブルを使用しないでください。音が悪くなる（音飛びする）原因となります。

音楽（MP3/WMA/AAC）を再生する

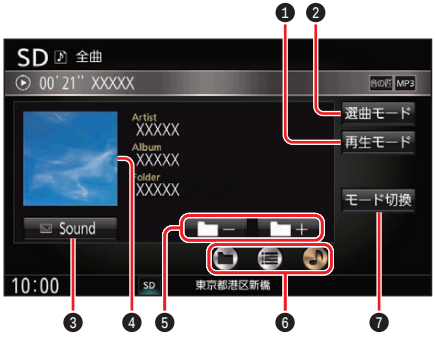
準 備

- 音楽が保存されたSDメモリーカードを本機に挿入するか（P.68）、音楽が保存されたUSBメモリーを本機に接続（P.69）してください。
- オーディオメニュー（P.50）から SD / USB を選んでください。
- 画像/動画が再生された場合は、モード切換 を選び、音楽ファイル を選んでください。

お知らせ

- タイトル、Artist、Album、Folderの文字数が多い場合は、再生画面で項目をタッチすると、表示がスクロールします。（走行中は操作できません。）

音楽再生画面（例：SD）



❶ 再生モードの切り換え
❷ 選曲モードの選択
❸ オーディオチューン
❹ ジャケット写真
❺ フォルダの切り換え／アルバムの切り換え
❻ 表示内容の切り換え
❼ 画像/動画再生の切り換え

SDメモリーカード・USBメモリーを再生する

ジャケット写真を表示する

ジャケット写真が設定されたファイルを再生すると、ジャケット写真が表示されます。

- ジャケット写真未設定の場合、♪のマークが表示されます。

再生モード

リピート/ランダム/スキャン再生を切り換えます。

1 **再生モード**を選ぶ

2 再生モードを切り換える

- 選択した再生モードのインジケーターが点灯します。
- 再度選ぶと、通常再生になります。

繰り返し再生(リピート)

リピートを選ぶ

- 再生中の曲を繰り返し再生します。

順不同に再生(ランダム)

ランダムを選ぶ

- 再生中のリストの中から順不同に再生します。

曲を探す(スキャン)

スキャンを選ぶ

- 再生中のリストの中の全曲を約10秒再生します。

フォルダを切り換える

−フォルダ/**+フォルダ**を選ぶ

- 選んだフォルダの先頭の曲から再生を開始します。
- 選曲モードで**全曲**/**フォルダ**を選んで選曲した場合のみ

アルバムを切り換える

−アルバム/**+アルバム**を選ぶ

- 選んだアルバムの先頭の曲から再生を開始します。
- 選曲モードで**アルバム**/**アーティスト**を選んだ場合のみ

早送り・早戻しする

⏮ **⏭**を押し続ける

- 離すと、通常の再生に戻ります。

曲を頭出しする

⏮ **⏭**を押す

画像/動画再生に切り換える

1 **モード切換**を選ぶ

2 **画像ファイル**/**動画ファイル**を選ぶ

表示内容を切り換える

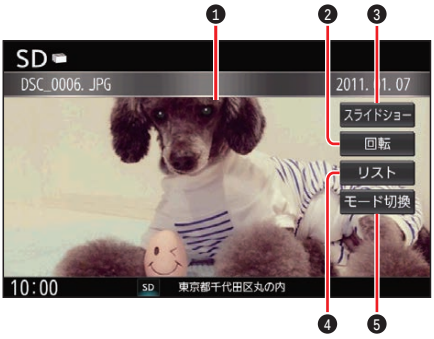
- **再生中の曲の情報を表示**
- **フォルダのリストを表示**
  - 選んだフォルダの1曲目から再生します。
  - 選曲モードで**全曲**/**フォルダ**を選んで選曲した場合のみ
- **アルバムリストを表示**
  - 選曲モードで**アルバム**/**アーティスト**を選んで選曲した場合のみ
- **トラックリストを表示**
  - 曲を選ぶと、再生します。

静止画を再生する

準 備

- 画像が保存されたSDメモリーカードを本機に挿入するか(P.68)、画像が保存されたUSBメモリーを本機に接続(P.69)してください。
- オーディオメニュー(P.50)から SD / USB を選んでください。
- 音楽/動画が再生された場合は、モード切換 を選び、画像ファイル を選んでください。

画像操作画面(例:SD)



❶ 全画面表示
❷ 画像の回転
❸ スライドショー
❹ リストの表示
❺ 音楽/動画再生の切り換え

全画面で表示する

画像を全画面で表示します。

画像操作画面をタッチする

- 全画面で表示します。

再度画面をタッチすると、画像操作画面が表示されます。
画像操作画面で約10秒間何も操作しないと、全画面表示になります。

画像を切り換える

次/前の画像に切り換えます。

全画面表示中に、左右にフリックする

- 次/前の画像に切り換わります。
- ⏮ ⏭を押しても切り換わります。

音楽/動画再生に切り換える

1 モード切換 を選ぶ

2 音楽ファイル / 動画ファイル を選ぶ

スライドショー

画像をスライドショーで再生します。

スライドショー を選ぶ

■ スライドショーを停止するには

スライドショーの画面をタッチする



- 再生間隔: 再生間隔を設定
  3秒[お買い上げ時の設定]/10秒/30秒/1分
- 開始: スライドショーを開始
- 終了: スライドショーを終了

画像を回転させる

回転 を選ぶ

- 画像を右方向に90度回転します。

リストから選ぶ

1 リスト を選ぶ

2 フォルダを選ぶ

- サムネイル画面が表示されます。

3 表示させたい画像を選ぶ

SDメモリーカード・USBメモリーを再生する

動画を再生する

準 備

- 動画が保存されたSDメモリーカードを本機に挿入するか(P.68)、動画が保存されたUSBメモリーを本機に接続(P.69)してください。
- オーディオメニュー(P.50)から SD / USB を選んでください。
- 音楽/画像が再生された場合は、モード切換 を選び、動画ファイル を選んでください。

動画再生中に画面にタッチする

動画操作画面(例:SD)



❶ 全画面表示
❷ 音楽/画像再生の切り換え
❸ 再生リストの表示
❹ 再生/一時停止

全画面で表示する

動画を全画面で表示します。

動画操作画面をタッチする
- 全画面で表示します。
再度画面をタッチすると、動画操作画面が表示されます。
動画操作画面で約15秒間何も操作しないと、全画面表示になります。

一時停止する

▶II を選ぶ
- 再度選ぶと、再生を再開します。

再生リストから選ぶ

1 再生リストを選ぶ

2 リストからファイルを選ぶ
- 選んだ動画を再生します。

■ 再生中のフォルダ以外から選ぶには

1 再生リスト を選ぶ

2 リスト変更 を選ぶ

3 選択する方法を選ぶ
- 全ファイル: 全フォルダの全ファイルから選ぶ
- フォルダ: 選んだフォルダから選ぶ

4 リストからフォルダを選ぶ(「フォルダ」の場合のみ)

5 リストからファイルを選ぶ
- 選んだ動画を再生します。
- 再生中画面: 動画再生画面に戻る

音楽/画像再生に切り換える

1 モード切換 を選ぶ

2 音楽ファイル / 画像ファイル を選ぶ

早送り・早戻しする

|◀◀ ▶▶| を押し続ける
- 離すと、通常の再生に戻ります。

動画を頭出しする

|◀◀ ▶▶| を押す

iPodを再生する

本機で接続確認済みのiPod（2018年6月現在）
iPhone X／iPhone 8／iPhone 8 Plus／iPhone 7／iPhone 7 Plus／iPhone SE／iPhone 6s／iPhone 6s Plus／iPhone 6／iPhone 6 Plus／iPhone 5s／iPhone 5c／iPhone 5／iPod touch 第6世代／iPod touch 第5世代／iPod nano 第7世代
最新の適合機種および接続情報については、下記サイトをご覧ください。
https://panasonic.jp/navi/

※本書では特にことわりのない限り、上記のiPod/iPhoneを「iPod」と表記しています。

お願い

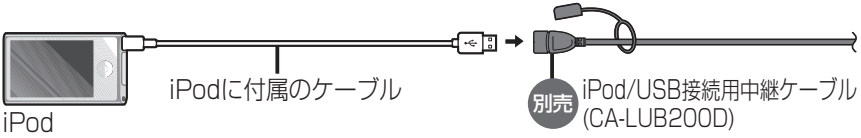
- **iPodは、電源を入れたうえで本機と接続してください。**
- **iPodのリモコンやヘッドホンなどは、接続しないでください。正しく動作しない場合があります。**
- **オーディオがiPodのときに、iPodの取り付け・取り外しをしないでください。雑音が発生し、スピーカーを破損する原因となる場合があります。**
- **コネクターは確実に差し込んでください。**
- **iPodの取り付け・取り外しをするときにケーブルを引っ張らないでください。**
- **iPodおよびケーブルは、運転や乗り降りを妨げたり、エアバッグの動作を妨げないように固定してください。**
- **iPodを車内の温度が高くなる場所に放置しないでください。**
- **ACCをOFFにしたあとは、必ずiPodを取り外してください。iPodの電源が切れず、iPodの電池を消耗することがあります。**
- **iPodが正しく動作しないときは、本機からiPodを取り外してリセットし、再度接続してください。**
- **iPodに楽曲を追加する操作を行う場合は、iPodを本機から取り外してください。**
- **iPodの説明書もよくお読みください。**

お知らせ

- iPodとUSBメモリーは、同時には接続できません。
- iPodの動作状態によっては、充電に時間がかかる、または充電されない場合があります。
- 使用する機器やケーブル、またはその組み合わせによって、正しく動作しない場合があります。
- 延長ケーブルを使用しないでください。音が悪くなる（音飛びする）原因となります。
- iPodの動作やバージョンアップされるiPod、ソフトへの対応は、保証いたしかねます。
- 本機と接続してiPodを使用中に、iPodのデータが消失した場合は、その補償はいたしかねます。
- iPodは、著作権のないマテリアル、または法的に複製・再生を許諾されたマテリアルを個人が私的に複製・再生するために使用許諾されるものです。著作権の侵害は法律上禁止されています。
- iPodまたはiPhoneをケーブル接続すると、そちらの接続が優先されるため、iPhoneでNaviCon®、CarAV remoteを利用することはできません。
- ケーブルで接続するiPhoneをBLUETOOTH Audio機器としても登録している場合は、iPhoneを操作して音声出力先を「Dockコネクタ」に設定してください。機種やOSのバージョンによっては、音声出力先の設定を切り換えられない場合があります。
- iPodビデオ再生には対応していません。

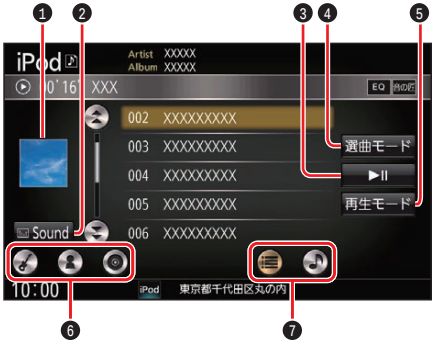
準 備

- iPodを本機に接続してください。
  必ず別売のiPod/USB接続用中継ケーブル（CA-LUB200D）で接続してください。他のナビゲーションに付属されているケーブルを使用すると、正しく動作しない場合があります。



iPodを再生する

iPod再生画面（トラックリスト表示時）



❶ アルバムアートワーク
❷ オーディオチューン
❸ 再生/一時停止
❹ 選曲モード
❺ 再生モード
❻ ジャンル・アーティスト・アルバムリストの表示
❼ 表示内容の切り換え

再生する

オーディオメニュー（P.50）から iPod を選んでください。

表示内容を切り換える

表示内容を切り換えます。

: **曲のリストを表示**
- 曲を選ぶと、再生します。
- 表示されるリストは、選曲方法によって異なります。

: **再生中の曲の情報を表示**
- トラック・アーティスト・アルバム・ジャンル名を表示します。

一時停止する

▶II を選ぶ
- 再度選ぶと、再生を開始します。

再生モード

リピート/シャッフル再生を切り換えます。

1 再生モード を選ぶ

2 再生モードを切り換える
- 選択した再生モードのインジケーターが点灯します。

繰り返し再生（リピート）

リピート を選ぶ
- 再生中の曲を繰り返し再生します。
- 再度選ぶと、通常再生になります。

順不同に再生（シャッフル）

シャッフル を選ぶ
- 選ぶごとに下記のように切り換わります。

シャッフルトラック→シャッフルアルバム→通常再生
- シャッフルトラックのリスト内容は、選曲方法によって異なります。

早送り・早戻しする

⏮ ⏭ を押し続ける
- 離すと、通常の再生に戻ります。

曲を頭出しする

⏮ ⏭ を押す

BLUETOOTH®

■ 登録・接続

BLUETOOTH®対応機器を利用する前に 76

BLUETOOTH対応機器を本機に登録する 77

BLUETOOTH対応機器を本機に機器登録する（初回のみ） 77

地図画面のハンズフリー状態表示 78

BLUETOOTH対応機器の登録データを削除する 78

BLUETOOTH対応機器を手動で本機と接続する 79

ハンズフリー用携帯電話を手動で接続する 79

スマートフォン連携用のスマートフォンを手動で接続する 79

スマートフォン連携で使用するアプリを選択する 80

BLUETOOTH Audio機器を手動で接続する 80

■ ハンズフリー

ハンズフリーで通話する 81

電話がかかってきたら 81

通話中の操作 81

電話番号を入力して電話をかける 82

■ スマートフォン

スマートフォン連携 83

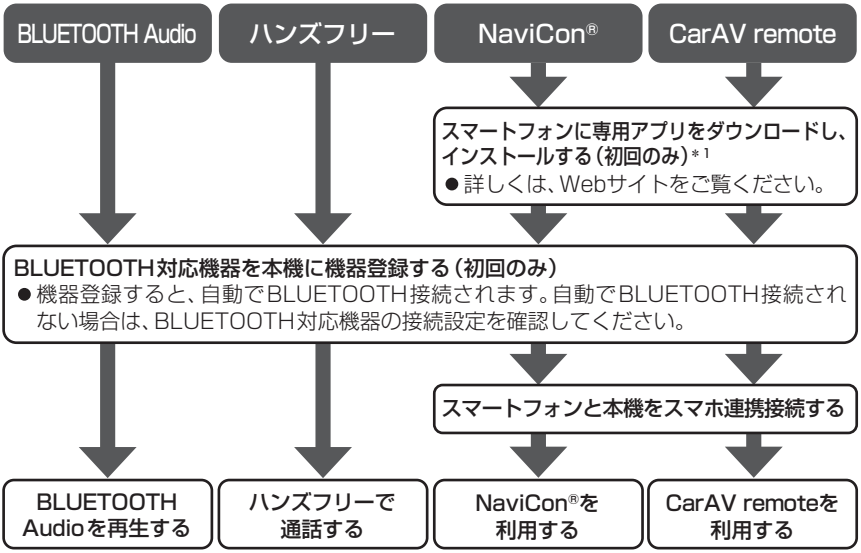
NaviCon®とは 83

CarAV remoteとは 83

BLUETOOTH®対応機器を利用する前に

BLUETOOTH通信を利用して、BLUETOOTH Audio（P.61）、ハンズフリー通話（P.81）、NaviCon®（P.83）、CarAV remote（P.83）の機能を利用できます。

ご利用の流れ



- **ハンズフリー用携帯電話は4台まで登録でき、2台同時に接続できます。**
- **BLUETOOTH Audio機器は2台まで登録でき、1台に接続できます。**
- **スマートフォン連携機器は、登録されたハンズフリー用携帯電話のうち1台接続できます。**
- すでに最大数登録しているときは、不要な登録機器を削除してください。（P.78）
- 適合機種については、Webサイト（https://panasonic.jp/navi/）をご覧ください。
- **操作方法は対応機器によって異なります。**
  詳しくは、BLUETOOTH対応機器の説明書をご覧ください。

＊1 アプリは、予告なく機能が変更されたり、サービスが終了となることがあります。

本機で利用できるプロファイルについて

サービス		プロファイル
ハンズフリー	ハンズフリー通話	Hands-Free Profile（HFP）
	電話帳転送	Object Push Profile（OPP） Phone Book Access Profile（PBAP）
BLUETOOTH Audio		Advanced Audio Distribution Profile（A2DP） Audio/Video Remote Control Profile（AVRCP）
NaviCon®		Serial Port Profile（SPP）
CarAV remote		

BLUETOOTH対応機器を本機に登録する

「BLUETOOTH について」（P.125）をよくお読みください。

BLUETOOTH対応機器を本機に機器登録する（初回のみ）

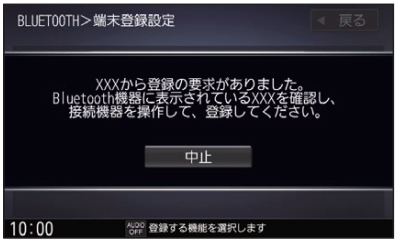
例：BLUETOOTH対応携帯電話を本機とハンズフリー接続する場合

1 （本機側）
MENU を押し、ハンズフリー ▶ 設定 を選ぶ
- BLUETOOTH設定画面が表示されます。

2 （本機側）
機器登録 ▶ ハンズフリー を選ぶ
- BLUETOOTH Audio機器として接続する場合は、BLUETOOTH Audio を選んでください。

3 （BLUETOOTH対応携帯電話側）
表示されたデバイスリストの中から“Strada”を選ぶ
- “Strada” はお買い上げ時の設定です。

4 （本機側）
BLUETOOTH対応携帯電話が本機に登録される



- 登録をやめる場合は 中止 を選んでください。

5 （本機側）
BLUETOOTH Audio機器としても登録する場合は、メッセージが表示されるので はい を選ぶ

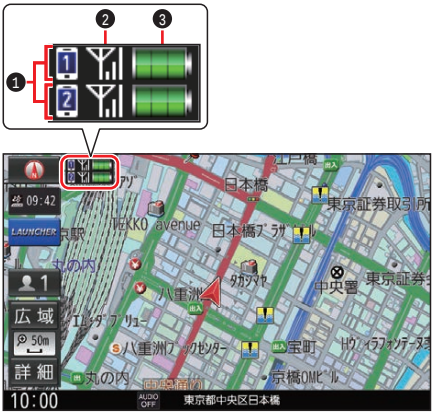
お知らせ

- 手順5でパスキーを入力する画面が表示されたら本機のパスキーを入力してください。
  ［お買い上げ時の設定］
  - ハンズフリーパスキー：1212
  - BLUETOOTH Audioパスキー：0000
- BLUETOOTH設定画面は、下記の方法でも表示できます。
  - 情報・設定メニュー（P.18）から システム設定 ▶ BLUETOOTH を選ぶ
  - BLUETOOTH Audio機器が登録されていない状態で、BLUETOOTH Audio画面から 設定 を選ぶ

BLUETOOTH対応機器を本機に登録する

地図画面のハンズフリー状態表示

ハンズフリー接続中の携帯電話（電話1/電話2）の状態が地図画面に表示されます。



❶ BLUETOOTH接続状態

- ●[1]：電話1に接続設定した携帯電話と接続中
- ●[2]：電話2に接続設定した携帯電話と接続中

❷ 電波状態*1*2
電波状態のレベルを表示

❸ 電池残量*1*3
電池残量（目安）を表示

*1 携帯電話の表示とは異なる場合があります。
*2 サービスエリア外、電波の届かない場所、機内モードに設定時などの場合は表示されません。
*3 機種によっては表示されない場合があります。

BLUETOOTH対応機器の登録データを削除する

一度削除するともとに戻せません。（再度登録が必要になります。）
削除は十分確認のうえ行ってください。

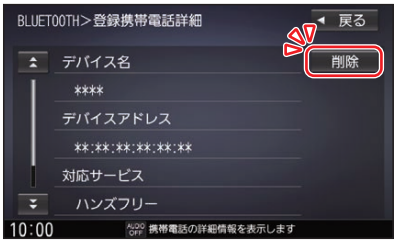
ハンズフリー用携帯電話を削除するには

1 MENUを押し、**ハンズフリー** ▶ **設定** ▶ **登録機器一覧** を選ぶ

2 **ハンズフリー** を選ぶ

3 削除したい機器を選ぶ

4 **削除** を選ぶ



5 **はい** を選ぶ

- ●削除完了のメッセージが表示されるまで、本機の電源を切らないでください。登録データの削除が正しく行われない場合があります。

BLUETOOTH Audio機器を削除するには

1 MENUを押し、**ハンズフリー** ▶ **設定** ▶ **登録機器一覧** を選ぶ

2 **BLUETOOTH Audio** を選ぶ

3 削除したい機器の **削除** を選ぶ



4 **はい** を選ぶ

- ●削除完了のメッセージが表示されるまで、本機の電源を切らないでください。登録データの削除が正しく行われない場合があります。

お知らせ

- ●再度登録する場合には、BLUETOOTH対応機器側の登録も解除してください。

BLUETOOTH対応機器を手動で本機と接続する

ハンズフリー用携帯電話を手動で接続する

1 MENUを押し、ハンズフリー▶設定▶登録機器一覧を選ぶ

2 ハンズフリーを選ぶ

3 携帯電話登録一覧から接続したい携帯電話の「電話1」または「電話2」を選ぶ

- 選んだ携帯電話が本機とハンズフリー接続されます。



- 接続が完了するまで、約20秒かかります。
- 2台まで接続できます。
- 一度手動で接続すると、次回から自動で接続されます。(接続されるまで、時間がかかる場合があります。)

接続確認案内の設定をするには

本機の電源がONになったとき、接続設定された携帯電話に接続できなかった場合に、音声で案内するよう設定できます。
案内されるまでの時間は、接続した携帯電話の台数により異なります。

携帯電話登録一覧から接続確認案内する/しないを選ぶ

接続を解除するには

携帯電話登録一覧から接続中の「電話1」または「電話2」を選ぶ

- 接続が解除されます。

スマートフォン連携用のスマートフォンを手動で接続する

準備

- スマートフォンに専用アプリ(無料)のNaviCon®/CarAV remoteをインストールして、起動してください。
- スマートフォン連携用に接続したいスマートフォンを、本機にハンズフリー機器として登録してください。(P.77)

1 MENUを押し、ハンズフリー▶設定▶登録機器一覧を選ぶ

2 ハンズフリーを選ぶ

3 携帯電話登録一覧から接続したいスマートフォンの「スマホ連携」を選ぶ

- 選んだ携帯電話が本機とスマホ連携接続されます。



- 一度手動で接続すると、次回から自動で接続されます。(接続されるまで、時間がかかる場合があります。)

接続を解除するには

携帯電話登録一覧から接続中の「スマホ連携」を選ぶ

- 接続が解除されます。

BLUETOOTH対応機器を手動で本機と接続する

スマートフォン連携で使用するアプリを選択する

1 MENUを押し、情報・設定 ▶ スマホ連携アプリ選択を選ぶ

2 設定したいスマホ連携アプリを選ぶ

BLUETOOTH Audio機器を手動で接続する

1 MENUを押し、ハンズフリー ▶ 設定 ▶ 登録機器一覧を選ぶ

2 BLUETOOTH Audioを選ぶ

3 登録機器一覧から接続したいBLUETOOTH Audio機器の接続するを選ぶ

- 選んだBLUETOOTH Audio機器が本機とBLUETOOTH Audio接続されます。



- 接続が完了するまで、約20秒かかります。
- 一度手動で接続すると、次回から自動で接続されます。(接続されるまで、時間がかかる場合があります。)

接続を解除するには

登録機器一覧から接続中のBLUETOOTH Audio機器の接続するを選ぶ

- 接続が解除されます。

ハンズフリーで通話する

安全な場所に停車し、パーキングブレーキをかけてご使用ください。

お知らせ

- 通話が聞き取りやすいように、車の窓を閉めてください。
- マイクに向かって大きな声ではっきりと話してください。
- 携帯電話を待受画面にしないとハンズフリー通話ができない場合があります。
- 携帯電話によっては、本書の説明どおりに動作しない場合があります。
- 携帯電話によっては、本機とBLUETOOTH接続中に、携帯電話を操作して電話をかけても（電話に出ても）ハンズフリー通話になる場合があります。

電話がかかってきたら

自動的に着信画面に切り換わります。



❶ 電話に出る
❷ 応答保留
❸ 着信音量の調整
❹ 電話を切る

着信音量の調整

着信音量を調整します。

- ＋：音量が大きくなる
- －：音量が小さくなる
- 調整範囲：1～15[お買い上げ時の設定：8]

電話に出る

電話に出る を選ぶ
- 通話を開始します。

応答保留

応答を保留します。（電話機側が対応している場合のみ）

保留 を選ぶ
- 通話 を選ぶと通話を開始します。

電話に応答せずに切る

電話を切る を選ぶ
- 着信が切れます。

お知らせ

- 携帯電話の機種によっては、着信中に 電話を切る を選んでも電話に出る場合があります。

通話中の操作



❶ ミュート
❷ 通話の切り換え
❸ 受話音量の調整
❹ 送話音量の調整
❺ 電話を切る
❻ トーン信号を送る

ハンズフリーで通話する

受話音量を調整する

受話音量を調整します。
- ＋：音量が大きくなる
- －：音量が小さくなる
- 調整範囲：1～15[お買い上げ時の設定：8]

送話音量を調整する

送話音量を調整します。
- ＋：音量が大きくなる
- －：音量が小さくなる
- 調整範囲：1～7[お買い上げ時の設定：4]

ミュートする

送話音を消音します。

ミュートを選ぶ
- **通話**を選ぶと、解除されます。

通話を切り換える

通話を携帯電話に切り換えます。

携帯電話切換 ▶ **はい**を選ぶ
- **ハンズフリー切換** ▶ **はい**を選ぶと、ハンズフリー通話に戻ります。

トーン信号を送る

トーン信号（ピッポッパ）を送り、プッシュホンサービスなどを利用できます。

1 **トーン**を選ぶ

2 数字を選ぶ

電話を切る

電話を切るを選ぶ
- 通話を終了します。

電話番号を入力して電話をかける

1 MENUを押し、**ハンズフリー**を選ぶ

2 ハンズフリー画面から携帯電話（**電話1**/**電話2**）を選び、**ダイヤル**を選ぶ



3 電話番号を入力し、**発信**を選ぶ



- 電話をかけます。
- **修正**：　1文字削除

スマートフォン連携

スマートフォンのアプリを利用して、本機を操作することができます。

NaviCon®とは

株式会社デンソーが提供するスマートフォン向けアプリです。
NaviCon®は多彩な連携アプリで探した行先を、ワンタッチで本機に転送し目的地に設定できるおでかけサポートアプリです。無料でご利用いただけます。

- 入手方法や対応スマートフォンなど、詳細は下記サイトをご覧ください。
  NaviCon®サポートサイト
  http://navicon.com/

準 備

- スマートフォンにアプリ「NaviCon®」をインストールしてください。
- スマートフォンを本機に機器登録してください。(P.77)
- スマートフォンと本機をスマホ連携接続してください。(P.79)
- スマホ連携アプリ選択で NaviCon を選んでください。(P.80)

お知らせ

- iPodまたはiPhoneと本機をケーブルで接続すると、ケーブルでの接続が優先されるため、iPhoneでNaviCon®を利用することはできません。iPhoneでNaviCon®を利用する場合は、iPodまたはiPhoneを本機にケーブルで接続しないでください。

CarAV remoteとは

当社が提供するスマートフォン向けアプリです。
BLUETOOTH通信を利用して、スマートフォン専用のアプリ「CarAV remote」(無料)で本機のオーディオを操作できます。

- CarAV remoteのダウンロードなどについては、下記サイトをご覧ください。
  https://panasonic.jp/navi/

準 備

- スマートフォンにアプリ「CarAV remote」をインストールしてください。
- スマートフォンを本機に機器登録してください。(P.77)
- スマートフォンと本機をスマホ連携接続してください。(P.79)
- スマホ連携アプリ選択で CarAV remote を選んでください。(P.80)

お知らせ

- CarAV remoteを利用する場合は、スマートフォンと本機をケーブルで接続する必要はありません。
- iPodまたはiPhoneをケーブル接続すると、そちらでの接続が優先されるため、iPhoneでCarAV remoteを利用する場合は、iPodまたはiPhoneを取り外してください。

その他

■ その他の機能

ecoドライブ機能を使う 86
ecoドライブ機能とは 86
ecoドライブを開始する 86

地図更新について 87
地図SDHCメモリーカードの
出し入れ 88

■ 別売品

後席用モニターと組み合わせる 89

ETC2.0車載器と接続して使う 90
信号情報活用運転支援システム
(TSPS)による情報提供サービス 90

リアビューカメラと組み合わせる 91
リアビューカメラに切り換える 91
リアビューカメラの設定をする 91

その他の外部機器と接続して使う 92
ビデオカメラと接続する 92
ドライブレコーダーと接続する 92

■ 設定

利用に応じた設定に変える 93
表示の設定をする 93
案内の設定をする 95
探索条件の設定をする 97
渋滞情報(VICS)の設定をする 97
ETCの設定をする 98
システムの設定をする 98
各種設定をお買い上げ時の状態に
戻す 100

■ 困ったとき

よくあるお問い合わせ 101

故障かな!? 102
電源・共通 102
ナビゲーション 104
オーディオ[TV] 105
オーディオ[FM/AM] 106
オーディオ[DVD] 107
オーディオ[MP3/WMA(CD-R/
CD-RW)]/[SD]/[USB] 107
オーディオ[MEMORY MUSIC] ... 109
オーディオ[iPod] 109
BLUETOOTH 110
こんなメッセージが出たときは 114
結露について 116
万一、故障や異常が起こったら 116

■ 必要なとき

ディスクについて 117

**SDメモリーカード・USBメモリー
について 120**

データ作成時の留意点 121

BLUETOOTHについて 125

ナビゲーションシステムとは 126

VICSについて 130

地図ソフトについて 132

さくいん 136

商標などについて 140

**ソフトウェア、およびオープン
ソースソフトウェアについて 142**

仕様 144

保証とアフターサービス 146

ecoドライブ機能を使う

ecoドライブ機能とは

急加速・急減速・アイドリング・速度の情報をもとに、環境に優しい「エコドライブ」ができているかどうか診断します。

お知らせ

- ドライブ診断の結果は目安であり、その内容を当社は保証するものではありません。

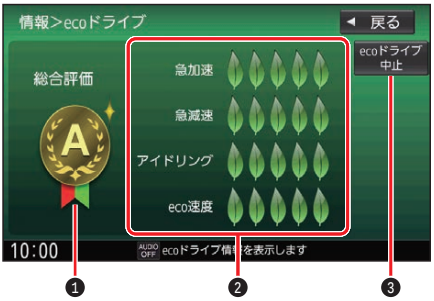
ecoドライブを開始する

1 MENUを押し、情報・設定 ▶ 情報 ▶ ecoドライブ を選ぶ

2 ecoドライブ画面から ecoドライブ開始 を選ぶ



- ecoドライブの診断を開始します。



❶ 総合評価
❷ 診断結果
❸ ecoドライブ中止

総合評価

- 診断結果をもとに、ecoドライブの総合評価がA(最高)～E(最低)の5段階で表示されます。

ecoドライブを中止する

ecoドライブ画面から ecoドライブ中止 を選ぶ

- ecoドライブの診断を中止します。

診断結果

エコマーク(🍃)が多いほど高評価です。(「🍃🍃🍃🍃🍃」が最高)

- 急加速: 急加速を行うと、エコマークが減少
- 急減速: 急減速を行うと、エコマークが減少
- アイドリング: 長時間のアイドリングで、エコマークが減少
- eco速度: 高速度での走行が多いと、エコマークが減少

お知らせ

- ecoドライブ画面を表示中は、診断結果は更新されません。
- ACC ON状態(エンジンOFF)でもアイドリング状態と診断されます。
- 探索条件(P.45)を「eco」にして探索したルートを走行しても、道路条件や運転のしかたで、ecoドライブの診断結果が悪くなる場合があります。
- 日付が変わり、本機の電源をOFFにした時点で、診断結果はリセットされます。

地図更新について

本機は、年度更新地図（有料）で地図の更新ができます。
年度更新地図の発売時期・販売方法などについては、決定しだい、下記サイトにてご案内します。
https://panasonic.jp/navi/

■ 更新内容

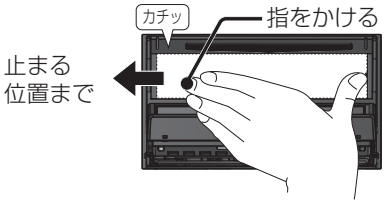
- 道路地図（縮尺50 m ～ 250 ㎞）　※細街路含む。
- 案内画像（リアル3D表示・ジャンクションビュー・方面看板など）
- 音声案内
- 地点検索データ（施設情報・電話番号情報など）
- 逆走検知データ
- 市街地図

地図更新について

地図SDHCメモリーカードの出し入れ

1 TILT を押し、OPEN を選ぶ
- ディスプレイが開きます。

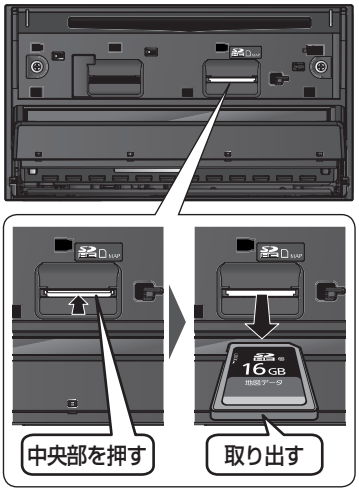
2 パネルを左にスライドさせ、取り外す



3 車のエンジンを切る（ACCをOFFにする）
- ディスプレイが開いたまま、電源が切れます。

4 取り出し方

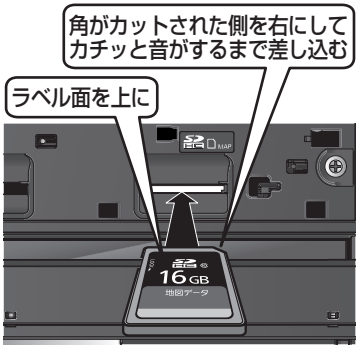
地図SDHCメモリーカードを取り出す



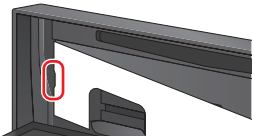
そのまま地図更新を行ってください。

4 挿入のしかた

地図SDHCメモリーカードを挿入する

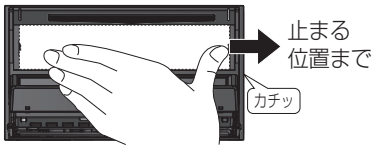


5 パネルを本体の左端に合わせ、はめ込む



- パネル裏面の突起を、本体の孔にかみ合わせてください。

6 パネルを右にスライドさせ、取り付ける



7 ディスプレイを閉じる

1 車のエンジンをかける
（ACCをONにする）

2 確認 を選び、TILT を押す
- ディスプレイが閉じます。

お知らせ

- 地図SDHCメモリーカードを挿入したら、必ずパネルを取り付けてください。パネルが取り付けられていない状態では、ディスプレイが閉じません。

後席用モニターと組み合わせる

接続する各機器の説明書もよくお読みください。

本機の映像(TV、DVD、VTR、SD(動画)、USB(動画))を、後席用モニターに表示できます。

- 別売の車両AVインターフェースコード(CA-LAV200D)の接続が必要です。(取付説明書)

準備

- 後席用モニターを、本機が接続されている入力モード(「ビデオ」など)に切り換えてください。

オーディオを切り換える
(P.50)

- 本機および後席用モニターに、選んだオーディオが表示されます。
- MAPを押すと、後席用モニターに映像を出力したまま、本機のディスプレイを現在地画面に切り換えることができます。
- 後席用モニターには、走行中でも映像が出力されます。

ETC2.0車載器と接続して使う

接続する各機器の説明書もよくお読みください。

ETC2.0車載器を接続すると、VICSの情報提供サービスを受けたり、ETCとして有料道路で料金の自動支払いや通行ができます。

機種によっては、ETC2.0車載器側の機能が一部制限されます。

- **ETC2.0車載器の一部のボタンは操作できません。**
- **ETC2.0車載器からの音声案内は行いません。**
  ナビゲーションから音声または画面表示で案内されます。

お知らせ

- 機種によっては、ETC2.0車載器から音声案内される場合があります。
  - ETCカードを入れたままエンジンをかけた(ACCをONにした)とき
  - ETCカードを入れたままエンジンを止めた(ACCをOFFにした)とき

信号情報活用運転支援システム(TSPS)による情報提供サービス

道路上に設置された光ビーコンから取得する信号情報および車の走行情報を用いて、信号交差点を円滑に通行するための情報を表示と音声で案内します。

表示例

状況	表示	音声
前方の信号交差点の案内ができるとき		なし
現行速度で走行すれば、前方の信号機を通過できると予測したとき(信号通過支援)＊1		なし
現行速度で走行すれば、前方の信号機が赤に変わると予測したとき(赤信号減速支援)＊1		この先、信号機があります。ご注意ください。
停車中、前方の信号機が青に変わるのを待つとき(発進遅れ防止支援)		なし
停車中、前方の信号機が、あと5秒で青に変わるとき(発進遅れ防止支援)		まもなく青信号です。
前方の信号交差点の案内ができないとき		なし

＊1 通過時の灯色の予測が変わったとき、または交差点を通過するときは「支援あり」の表示に変わります。

お知らせ

- 各支援の設定について、詳しくは(P.96)をご覧ください。
- 本機能はあくまでも補助機能です。実際の信号機の点灯状況と異なる場合は信号機の表示に従ってください。案内を過信せず、常に実際の道路状況や道路標識、前方の信号表示を優先して運転してください。
- 常に前方の交差点を直進方向に走行すると想定して案内を行います。矢印信号のある交差点では、点灯状態と異なる案内をする場合があります。
- 受信時点の情報のため、その後の状況の変化により、実際の信号機の灯色と合わない場合があります。
- 支援ありアイコン表示のまま、案内を行わない場合があります。
  - 提供対象外の信号機があるか、地図に無い信号機があるとき
  - 信号機の色が変わる直前のとき
  - 対象となる交差点までの距離が短いとき
  - 高速走行しているときや低速走行しているとき
- 支援なしアイコンが表示される場合があります。
  - 信号機のサイクルに応じた有効時間があります。有効時間が経過すると案内ができなくなります。
  - 信号機の制御方式(押しボタン式、感応式など)により、信号情報が不確定なため、案内しない交差点があります。
- ご利用には、TSPSに対応したETC2.0車載器が必要です。
- すべての光ビーコンでTSPSの情報を提供しているわけではありません。対象路線情報についてはVICSセンターのWebサイト(https://www.vics.or.jp/)をご覧ください。

リアビューカメラと組み合わせる

接続する各機器の説明書もよくお読みください。

リアビューカメラに切り換える

カメラの映像は、視野・距離感が目視時とは異なります。車両を移動させる際には、必ず目視でも確認してください。

準 備

●カメラ設定をしてください。

車のシフトレバーを「R(リバース)」に入れる

●カメラの映像が表示されます。



お知らせ

●車のシフトレバーを「R」に入れないと、カメラの映像は表示されません。

●カメラ映像が見えにくいときは、「カメラスケール表示」の調整画面を表示させ、画質を調整してください。

リアビューカメラの設定をする

リアビューカメラをご利用になる前に、下記設定を行ってください。

1 MENUを押し、情報・設定 ▶ システム設定を選ぶ

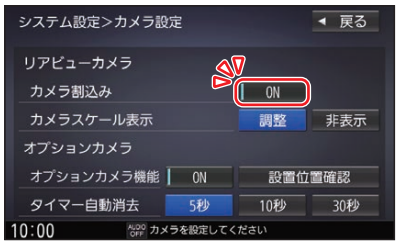
2 システム設定画面から その他設定 を選ぶ

3 カメラ設定を選ぶ

4 カメラ割込み ON を選ぶ

●カメラ設定がONになります。

[お買い上げ時の設定：OFF]

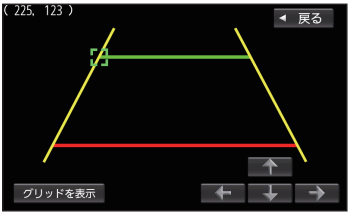


●再度選ぶと、OFFになります。

5 カメラスケール表示の 調整 を選ぶ

6 カメラスケールを調整する

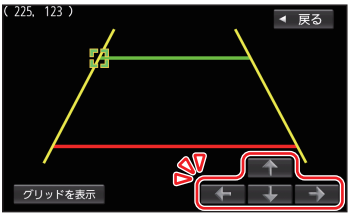
1 カメラスケールの調整したい点をタッチする



●タッチした場所が[ ]で表示されます。

●MAPを2秒以上押すと、画質調整画面が表示されます。

2 ← → ↑ ↓ で位置を調整する



● グリッドを表示
調整の目安となるグリッドを表示します。

3 上記手順6-1～6-2を繰り返して、4点を調整する

その他の外部機器と接続して使う

ビデオカメラやドライブレコーダーなどを本機と接続し、操作することができます。

接続する各機器の説明書をよくお読みください。

ビデオカメラと接続する

●別売の車両AVインターフェースコード（CA-LAV200D）の接続が必要です。（取付説明書）

オーディオメニュー（P.17）**から** VTR **を選ぶ**
●接続した機器の映像と音声が出力されます。

ドライブレコーダーと接続する

別売のドライブレコーダーを本機と接続して、運転の状況を記録できます。
録画した動画・撮影した静止画は、本機で確認できます。

利用に応じた設定に変える

表示の設定をする

1 MENUを押し、情報・設定 ▶ ナビ設定 を選ぶ

2 ナビ設定画面から 表示 を選ぶ

3 各項目を設定する

■ メイン画面用地図設定

[**太字**：お買い上げ時の設定]

項　目	設定内容
地図モード(P.36)	「北向き」:　ノースアップで表示する 「**進行方向**」:　ヘディングアップで表示する 「3D」:　3D地図で表示する
3D視角調整	3Dの地図の傾きを設定します。 角度大: 角度小:
吹き出しを表示(P.24)	「**する**」:　高速道路や交差点を吹き出しで表示する 「しない」:　吹き出し表示しない
標高地図を表示	「**する**」:　広域縮尺の地図で、標高地図を表示する 「しない」:　標高地図を表示しない
ダイレクトボタン	**設定する** を選ぶ 「**ドライブレコーダー動画録画**」:　ドライブレコーダーの動画録画タッチキーを表示 「ドライブレコーダー静止画撮影」:　ドライブレコーダーの静止画撮影タッチキーを表示 「オプションカメラ」:　オプションカメラタッチキーを表示 「表示しない」:　ダイレクトボタンを表示しない

■ 右画面用地図設定

[**太字**：お買い上げ時の設定]

項　目	設定内容
右画面に地図表示(P.37)	「する」:　右画面に地図を表示する 「**しない**」:　右画面に地図を表示しない
名称の文字サイズ	「**標準**」:　右画面の地図の文字を大きくする 「小」:　右画面の地図の文字を小さくする
吹き出しを表示(P.24)	「**する**」:　右画面に高速道路や交差点を吹き出しで表示する 「しない」:　右画面に吹き出し表示しない
標高地図を表示	「**する**」:　右画面の広域縮尺の地図で、標高地図を表示する 「しない」:　右画面に標高地図を表示しない
地図モード(P.36)	「北向き」:　右画面をノースアップで表示する 「進行方向」:　右画面をヘディングアップで表示する 「**3D**」:　右画面を3D地図で表示する
3D視角調整	右画面の3Dの地図の傾きを設定します。 角度大: 角度小:

利用に応じた設定に変える

■ 地図色設定

[**太字**：お買い上げ時の設定]

項　目	設定内容
昼夜切換	「時間連動」：時間に連動して、昼画面/夜画面を切り換える 「昼」：常に昼画面で表示する 「夜」：常に夜画面で表示する 「**スモール連動**」：車のスモールランプに連動して、昼画面/夜画面を切り換える
標高地図色	「**季節連動**」：季節に連動して、標高地図の色を切り換える 「春」：常に春の地図色で表示する 「夏」：常に夏の地図色で表示する 「秋」：常に秋の地図色で表示する 「冬」：常に冬の地図色で表示する 「標準」：標準的な色彩の地図色で表示する

■ 情報バー表示設定

[**太字**：お買い上げ時の設定]

項　目	設定内容
MAPCODEを表示（P.26）	「**する**」：情報バーにマップコードを表示する 「しない」：情報バーにマップコードを表示しない
地図情報を表示	「**住所名**」：情報バーに現在地の住所を表示する 「道路名」：情報バーに現在地の道路の名称を表示する
AUDIO情報を表示（P.25）	「する」：情報バーにオーディオの情報を表示する 「**しない**」：情報バーにオーディオの情報を表示しない
残距離/到着時刻を表示（P.27）	「**経由地**」：経由地までの残距離と到着予想時刻を表示する 「目的地」：目的地までの残距離と到着予想時刻を表示する

■ その他設定

[**太字**：お買い上げ時の設定]

項　目	設定内容
緯度・経度を表示（P.26）	「する」：地図モード画面に緯度·経度を表示する 「**しない**」：緯度·経度を表示しない
冠水注意ポイント表示	「**する**」：豪雨時に一時的に道路が冠水し通行に支障·危険をもたらすおそれがある地点を表示する 「しない」：冠水注意ポイントを表示しない
市街地図での冠水注意ポイント表示	「**する**」：冠水注意ポイント表示「する」のとき、市街地図でも冠水注意ポイントを表示する 「しない」：市街地図で冠水注意ポイントを表示しない
登録地を表示（P.47）	「**する**」：地図に登録地を表示する 「しない」：地図に登録地を表示しない
時計表示（P.25）	「**する**」：時計を表示する 「しない」：時計を表示しない 「映像中はしない」：オーディオがTV、DVD、SD（動画）、USB（動画）、VTRのとき、時計を表示しない（他の画面では表示する） ● 本機はGPSアンテナで受信した時刻を表示しているため、テレビ番組の時刻表示とは異なる時刻が表示される場合があります。
デュアルウィンドウを表示（P.37）	「する」：オーディオがTV、DVD、SD（動画）、USB（動画）、VTRのとき、右画面にオーディオの映像を表示する 「**しない**」：デュアルウィンドウ表示しない
50 m市街地図表示（P.24）	「**する**」：50 m縮尺のとき、市街地図で表示する 「しない」：50 m縮尺のとき、広域地図で表示する

項　目	設定内容
ランドマーク	地図画面に表示するランドマークを選択できます。
ランドマーク表示	「**する**」:　ランドマークを表示する 「しない」:　ランドマークを表示しない
3D地図ビル表示 (P.37)	「**する**」:　3D地図でビルを立体表示する 「しない」:　3D地図でビルを立体表示しない
ゾーン30エリア表示 (P.37)	「**する**」:　ゾーン30のエリアを表示する 「しない」:　ゾーン30のエリアを表示しない
自車位置(通常は必要ありません)	自車位置を修正できます。
走行軌跡	走行軌跡の記録、表示の設定、削除ができます。

案内の設定をする

1 MENUを押し、情報・設定 ▶ ナビ設定を選ぶ

2 ナビ設定画面から案内を選ぶ

3 各項目を設定する

■ 案内表示項目設定

[**太字**：お買い上げ時の設定]

項　目	設定内容
ルートの全表示	「**する**」:　ルート探索後、全ルート図を表示する 「しない」:　ルート探索後、全ルート図を表示しない
交差点情報の表示 (P.26)	「**常時**」:　常に交差点情報を表示する 「案内中」:　ルート案内中のみ交差点情報を表示する 「しない」:　交差点情報を表示しない
ETCレーンの表示	「**する**」:　ETCレーン案内を表示する 「しない」:　ETCレーン案内を表示しない
JCTビューの表示	「**する**」:　ジャンクションビューを表示する 「しない」:　ジャンクションビューを表示しない
目的地方向を表示 (P.27)	「**する**」:　目的地方向を直線で表示する 「しない」:　目的地方向を表示しない
ルート情報の表示	「する」:　ルート案内中、専用レーン案内とハイウェイマップを表示する 「**しない**」:　ルート情報を表示しない
ハイウェイモードの表示	● ルート情報の表示が「しない」の場合のみ設定できます。 「**する**」:　ハイウェイマップを表示する 「しない」:　ハイウェイマップを表示しない
交差点拡大図の表示	「**する**」:　交差点拡大図を表示する 「しない」:　交差点拡大図を表示しない
リアル3D表示	「**する**」:　複雑な交差点などを、リアルな3D図で表示する 「しない」:　リアル3D表示しない
方面看板の表示	「**常時**」:　常に方面看板を表示する 「案内中」:　ルート案内中のみ方面看板を表示する 「しない」:　方面看板を表示しない
逆走注意アラーム (P.29)	「**する**」:　逆走注意の案内を表示する 「しない」:　逆走注意の案内を表示しない

利用に応じた設定に変える

項　目	設定内容
Audio画面中の案内割込み	「**する**」: オーディオ画面を表示中に割り込んでルート案内する 「しない」: オーディオ画面を表示中に割り込んでルート案内しない
デュアルウィンドウ中の案内割込み	「**する**」: 右画面にオーディオの映像を表示させた地図（デュアルウィンドウ）に割り込んでルート案内する 「しない」: デュアルウィンドウ中に割り込んでルート案内しない
EWS（緊急情報）の割込み	「**する**」: TVのEWS（緊急情報）を受信したら、割り込み表示する 「しない」: EWS（緊急情報）の割り込み表示をしない

■ 案内音声項目設定

［**太字**：お買い上げ時の設定］

項　目	設定内容
案内出力スピーカー	「左前」: 本機の案内音声を左のフロントスピーカーから出力する 「**右前**」: 本機の案内音声を右のフロントスピーカーから出力する
専用レーン案内	「**する**」: ルート案内中に右左折専用レーンがある場合、案内する 「しない」: 専用レーン案内しない
案内音量の車速連動	「**する**」: 車速に連動して、音量を自動的に上げる 「しない」: 車速に関わらず音量は一定となる
VICS案内	「**する**」: ルート案内中にVICSの渋滞/規制情報がある区間に近づくと、音声で案内する 「しない」: 渋滞/規制情報を音声で案内しない
休憩メッセージ案内	「**する**」: ルート案内中に長時間経過すると、休憩を促す音声案内を行う 「しない」: 休憩メッセージ案内しない
トンネル出口案内	「**する**」: トンネル出口の情報がある場合、ルートの有無にかかわらず、音声でトンネル出口案内する 「しない」: トンネル出口案内しない

■ 信号情報活用運転支援設定

［**太字**：お買い上げ時の設定］

項　目	設定内容
光ビーコンアップリンク	「**する**」: 本機で収集した情報を光ビーコンに送信し、信号情報を受信する 「しない」: 本機で収集した情報を光ビーコンに送信しない（信号情報を受信しない）
赤信号減速支援＊1	「**する**」: 前方の信号機が赤に変わると予測したことをアイコンで表示する 「しない」: アイコンを表示しない
信号通過支援＊1	「**する**」: 前方の信号機を青で通過できると予測したことをアイコンで表示する 「しない」: アイコンを表示しない
発進遅れ防止支援＊1	「**する**」: 前方の信号機が青に変わるまでの残り時間をアイコンで表示する 「しない」: アイコンを表示しない
支援音声ガイド＊1	「**する**」: 赤信号減速支援、発進遅れ防止支援の情報を音声で案内する 「しない」: 音声で案内しない

＊1 「光ビーコンアップリンク」が「する」の場合のみ、設定できます。

探索条件の設定をする

1 MENUを押し、情報・設定 ▶ ナビ設定 を選ぶ

2 ナビ設定画面から 探索 を選ぶ

3 各項目を設定する

■ 詳細条件

[**太字**：お買い上げ時の設定]

項　目	設定内容
自動再探索	「**する**」：　ルートから外れた道を走ると自動的に再探索する 「しない」：　自動再探索しない
フェリーを優先	「する」：　フェリー航路を優先して通るルートを探索する 「**しない**」：　フェリー航路を優先して通るルートを探索しない
時間規制道路を考慮	「**する**」：　時間規制を考慮したルートを探索する 「しない」：　道路の時間規制を考慮しない
VICS自動再探索＊1	「**する**」：　VICS情報を考慮して、ルートを自動的に再探索する 「しない」：　VICS自動再探索しない
新旧ルート比較画面を表示	「**する**」：　曜日時間規制探索やDRGSでルートが再探索されたとき、変更前のルートも通行可能であれば、新旧ルート比較画面を表示する 「しない」：　新旧ルート比較画面を表示しない
到着予想	「**自動**」：　VICS情報や統計交通情報を考慮して、自動的に到着予想時刻を計算する 「手動」：　一般道・国道・有料道路の平均速度を手動で入力し、その数値をもとに到着予想時刻を算出する **「手動」を選んだ場合、＋/－で設定する** ●一般道：　5～**50**～60 km/h ●国道：　5～**65**～80 km/h ●有料道路：5～**80**～100 km/h

＊1 ストラーダチューン（ルート）で、VICS考慮「しない」に設定されている場合は、選択できません。（P.31）

渋滞情報（VICS）の設定をする

1 MENUを押し、情報・設定 ▶ ナビ設定 を選ぶ

2 ナビ設定画面から 渋滞情報 を選ぶ

3 各項目を設定する

■ ビーコン割込み設定

[**太字**：お買い上げ時の設定]

項　目	設定内容
ビーコン受信音	「**する**」：　情報を受信すると、受信音を鳴らす 「しない」：　情報を受信しても、受信音を鳴らさない
ビーコン割込み	「**する**」：　情報を受信すると、自動的に表示される 「しない」：　情報が自動的に表示されない

利用に応じた設定に変える

■ 渋滞情報保存時間設定

［**太字**：お買い上げ時の設定］

項　目	設定内容
渋滞情報保存時間設定	渋滞情報を保存する時間（15分/30分/**1時間**/2時間）を設定します。

■ ETC2.0設定

［**太字**：お買い上げ時の設定］

項　目	設定内容
ETC2.0受信音	「**する**」：　一般情報を受信すると、受信音を鳴らす 「しない」：　一般情報を受信しても、受信音を鳴らさない
ETC2.0割込み	「**する**」：　一般情報を受信すると、自動的に表示される 「しない」：　一般情報は自動的に表示されない
ETC2.0自動音声再生	「**する**」：　情報を受信すると、自動的に音声案内される 「しない」：　情報は自動的に音声案内されない
ETC2.0アップリンク	「**する**」：　本機で収集した情報を、ITSスポットに自動的に送信する 「しない」：　本機で収集した情報を、ITSスポットに送信しない

ETCの設定をする

1 MENUを押し、**情報・設定** ▶ **ナビ設定** を選ぶ

2 ナビ設定画面から **ETC** を選ぶ

3 各項目を設定する

［**太字**：お買い上げ時の設定］

項　目	設定内容
ETC音声ガイド	「**する**」：　利用料金などを、本機から音声で案内する 「しない」：　ETC音声ガイドしない
カード入れ忘れ案内	「**する**」：　本機の電源がONになったときにETCカードが挿入されていない場合、本機から音声で案内される*1 「しない」：　カード入れ忘れ案内しない
カード抜き忘れ案内	「**する**」：　本機の電源がOFFになったときにETCカードが取り出されずに車載器に残っている場合、本機から音声で案内される*1 「しない」：　カード抜き忘れ案内しない

＊1　ETC音声ガイドを「しない」に設定しても案内されます。

システムの設定をする

1 MENUを押し、**情報・設定** ▶ **システム設定** を選ぶ

2 各項目を設定する

■ BLUETOOTH

項　目	設定内容
BLUETOOTH (P.77)	BLUETOOTH対応機器の登録やハンズフリーの通話設定などが設定できます。

■ セキュリティ

[**太字**：お買い上げ時の設定]

項　目	設定内容
セキュリティ設定（P.21）	「する」：　セキュリティ設定をする 「**しない**」：　セキュリティ設定をしない
盗難多発地点 音声案内（P.12）	「**する**」：　盗難多発地点を音声で案内する 「しない」：　盗難多発地点を音声で案内しない
盗難多発地点 表示案内（P.24）	「**する**」：　盗難多発地点を表示で案内する 「しない」：　盗難多発地点を表示で案内しない
市街地図での盗難多発地点表示案内（P.24）	「**する**」：　市街地図で盗難多発地点を表示で案内する 「しない」：　市街地図で盗難多発地点を表示で案内しない
iPod抜き忘れ案内（P.12）	「**する**」：　iPodの抜き忘れ案内をする 「しない」：　iPodの抜き忘れ案内をしない

■ ユーザーカスタマイズ

項　目	設定内容
ユーザーカスタマイズ（P.15）	ユーザーごとに各設定を記憶させることができます。

■ 画質調整

項　目	設定内容
画質調整のしかた	画面の明るさやコントラストなどを調整することができます。

■ キー操作音

[**太字**：お買い上げ時の設定]

項　目	設定内容
キー操作音	「**する**」：　キー操作音を鳴らす 「しない」：　キー操作音を鳴らさない

■ ステアリングスイッチ

項　目	設定内容
ステアリングスイッチ	取付説明書をご覧ください。

■ オプションボタン

項　目	設定内容
オプションボタン（P.20）	「消音」や「画面OFF」などをOPT（オプション）に割り当てることができます。

■ その他設定

[**太字**：お買い上げ時の設定]

項　目	設定内容
車種設定（P.15）	有料道路の料金をどの車種で計算するかを設定できます。
車両メンテナンス	車両メンテナンス情報を設定できます。
カメラ設定（P.91）	リアビューカメラやオプションカメラの設定ができます。
バージョンアップ	本機のソフトウェアをバージョンアップする場合に使用します。
初期化（P.100）	各種設定をお買い上げ時の状態に戻します。

利用に応じた設定に変える

各種設定をお買い上げ時の状態に戻す

1 MENUを押し、情報・設定 ▶ システム設定 を選ぶ

2 システム設定画面から その他設定 を選ぶ

3 初期化 を選ぶ

4 初期化する項目を選ぶ

5 はい ▶ はい を選ぶ
- 選んだ項目が初期化されます。
- **初期化（削除）した項目は、もとに戻せません。**
  誤って大切なデータを削除することがないように、ご注意ください。

6 初期化が完了したら、車のエンジンを止め（ACC OFF）、約10秒間放置してから、再度車のエンジンをかける（ACC ON）
- 本機が再起動します。

項　目	設定内容
SDカードの初期化	SDメモリーカードを初期化する（NTFSファイルシステムは初期化できません） ● 録音した音楽データも削除されます。
登録データの初期化	登録・設定した内容（登録地・登録ルートなど）を初期化する
ルート学習結果の初期化	本機のルート学習機能を初期化する
入力履歴の初期化	名称検索で入力した履歴を削除する
TVの初期化	TVで設定した内容を初期化する
出荷状態に戻す	個人情報に関する設定をお買い上げ時の状態に戻す ● オーディオがOFFに切り換わります。

お願い

- **初期化中は他の操作（オーディオを切り換えるなど）をしないでください。故障の原因となります。**

お知らせ

- 録音データの初期化はMEMORY MUSIC再生画面（P.65）から 情報 ▶ 録音データ初期化 を選んでください。
- Gracenoteデータベースの初期化はオーディオチューン画面から gracenote ▶ 初期化 を選んでください。
- 他人に譲渡または処分などされる際は、お客様が入力された個人情報（登録地の住所や電話番号など）、登録ルートなどの登録情報を必ず削除してください。
- 他人への譲渡または処分などされる際は、MENU を押し、情報・設定 ▶ 情報 ▶ 車両信号情報 ▶ センサー学習値初期化 を選んでセンサー学習値を初期化してください。
- バッテリー交換をした際には、下記の設定が初期化されます。
  - CD再生モード
  - FM/AM
  - 交通情報
  - オーディオチューン（車速連動VOL補正以外）
  - 音量調整
  - 映像調整
  - 画質調整

よくあるお問い合わせ

斜体の項目の確認には、専門の技術と経験が必要です。
安全のため、お買い上げの販売店にご相談ください。

自車マークが表示されない

- 地図モード画面になっている。
  →MAPを押してください。(P.26)

自車位置が正しく表示されない

- ACC OFFの状態で車を移動した。(フェリーボート、駐車場のターンテーブルなど)
  →しばらく見晴らしの良い道路を走行してください。
- GPS衛星からの信号の誤差が大きい。
  →しばらく見晴らしの良い道路を走行してください。
- GPS信号を妨げる障害物などがないか確認してください。
- ***GPSアンテナが、受信しにくい場所に付いていないか確認してください。***(取付説明書)
- 距離、回転、3Dの補正が完了していない。
  →MENUを押し、情報・設定 ▶ 情報 ▶ 車両信号情報を選んで学習レベルを確認してください。
- ***GPSアンテナのコードや、車速信号コード、リバースコードなどが、正しく接続されているか確認してください。***(取付説明書)
- GPSアンテナが、ナビゲーションユニットや別売のETC2.0車載器のアンテナの近くに取り付けられている。
  →***GPSアンテナは、ナビゲーションユニットから20 cm以上、ETC2.0車載器のアンテナユニットから15 cm以上離して取り付けてください。***(取付説明書)

縮尺を切り換えたのに、もとの縮尺に戻る

- 地図モード画面で縮尺を切り換えている。
  →地図モード画面で切り換えた縮尺は、現在地画面に反映されません。
  現在地画面で詳細/広域を選び、縮尺を切り換えてください。(P.35)

ディスクやSDメモリーカードが正しく読めない

- ディスクやSDメモリーカードが汚れている。
  →汚れを取り除いてください。
- ディスクを表裏逆に挿入した。。
  →正しい面で挿入しなおしてください。

地図の年度更新の方法について知りたい

- 年度更新地図の発売時期・販売方法については、決定しだい、下記サイトにてご案内します。
  https://panasonic.jp/navi/

故障かな!?

*斜体の項目*の確認には、専門の技術と経験が必要です。
安全のため、お買い上げの販売店にご相談ください。

電源・共通

■ 動作

内　容	ページ
電源が入らない	
車のエンジンがかかっていない。 ● エンジンをかけて(ACCをONにして)ください。	(P.12)
低温状態になっている。 ● 故障ではありません。内部が温まると、自動的に起動します。(オーディオに関する一部の情報や設定はお買い上げ時の状態に戻ります。)	−
電源が落ちる	
バッテリー電圧が低くなっている。 ● バッテリー電圧を確認してください。バッテリー電圧が11 V以下の場合、ナビゲーションの電源が落ちる場合があります。 ● アイドリングストップ車の場合は、アイドリングストップ中のバッテリー電圧を確認してください。バッテリー電圧が11 V以下の場合、車両メーカーにお問い合わせください。	− −
本機が動作しない	
地図SDHCメモリーカードが正しく挿入されていない。 ● 地図SDHCメモリーカードを正しく挿入して、電源を入れなおしてください。	(P.88)
他の機器で使用した地図SDHCメモリーカードが挿入されている。 ● 地図SDHCメモリーカードは、お買い上げ時に挿入されていた機器でのみ使用できます。地図SDHCメモリーカードを正しく挿入して、電源を入れなおしてください。	−
ハイブリッド車などの特定の車種ではナビゲーションの起動に時間がかかる場合があります。	−
ディスプレイの上下角度が調整できない	
障害物などに当たっていたり、コードを挟み込んでいないかを確認してください。	−
ディスプレイが閉じない	
地図SDHCメモリーカード挿入口のパネルが閉まっていない。 ● 地図SDHCメモリーカード挿入口のパネルを確実に閉めてください。	(P.88)
タッチパネルの反応が悪い/反応しない	
アースコードがしっかりと車体の金属部に接続されていることを確認してください。	取付説明書
フリック/ドラッグ/ピンチ/2点タッチ/ダブルタップ操作をしている。 ● 画面によっては、上記の操作ができません。	−
指の腹でタッチすると、2点タッチとして誤動作することがあります。必ず、指の先でタッチしてください。	−
爪でタッチすると、反応しない場合があります。必ず、指の先でタッチしてください。	−
指の動きより遅れて反応する場合がありますが、故障ではありません。	−
ステアリングスイッチが正しく動作しない	
ステアリングスイッチ設定が、正しく完了していない。 ● ステアリングスイッチ設定画面で、登録可能なすべてのステアリングスイッチを登録後、完了を選んで設定を完了してください。	取付説明書

内　容	ページ
本機が温かくなる	
長時間連続して使用している。 ●正常に機能している場合は、故障ではありません。	−
SDメモリーカードを挿入しても本機が認識しない	
●本機または専用フォーマッター以外でフォーマットしたSDメモリーカードは、本機では認識しない場合があります。SDメモリーカードを本機で初期化するか、専用フォーマッターでフォーマットしてください。 ●SDメモリーカードによっては認識しないものもありますので、別のカードをお試しください。	(P.100、P.120) −

■ 画面／映像

内　容	ページ
映像が暗い/白っぽい/色あいが悪い/色が薄い	
画質調整が適切でない。 ●[MAP]を2秒以上押して画質調整画面を表示させ、各項目を調整してください。	−
画面に赤、青または緑の点が表示される	
液晶ディスプレイ特有の現象です。故障ではありません。	−
ディスプレイに何も表示されない/ナビゲーションの映像が表示されない	
オーディオがVTRになっている。 ●他のオーディオに切り換えるなどして、VTR以外の画面を表示させてください。	(P.50)
一時的に画面を消している(画面OFF) ●[AUDIO]/[MENU]/[MAP]/[TILT]のいずれかを押すか、画面をタッチしてください。	−
電源コード/接続ハーネスの接続をご確認ください。	取付説明書
電源コネクターのヒューズが切れている。 ***●お買い上げの販売店またはお近くの「サービス相談窓口」にご相談ください。***	取付説明書
音声は出るが、映像が出ない	
一時的に画面を消している(画面OFF) ●[AUDIO]/[MENU]/[MAP]/[TILT]のいずれかを押すか、画面をタッチしてください。	−
パーキングブレーキをかけていない。 ●安全な場所に停車して、パーキングブレーキをかけてください。	−
サイドブレーキコードの接続が外れていないか確認してください。	取付説明書

■ 音声

内　容	ページ
ステレオのとき左右の音が逆になる	
スピーカーコードの接続を確認してください。	取付説明書
左右前後のいずれかの音が出ない	
FADE/BALANCEの設定を確認してください。	−
各コードの接続を確認してください。	取付説明書
音が悪い(音が飛ぶ)	
DVD・CDなどの場合は、ディスクの汚れをクリーニングしてください。	(P.119)
iPod・携帯電話・USBメモリーなどの場合は、延長ケーブルを使用せずに接続してください。	−
本機の取り付けを確認してください。 ***●角度を40°以内に調整し、振動しないようにしっかりと取り付けてください。***	取付説明書

内　容	ページ
雑音が出る	
携帯電話などを本機から離してください。	−
アースコードがしっかりと車体の金属部に接続されていることを確認してください。	取付説明書

ナビゲーション

■ 案内

内　容	ページ
音声案内されない/オーディオの音声は出力されるのに、ナビゲーションの音声案内が出力されない	
ナビ案内音量の設定で、音量が「消音」に設定されている。 ●ナビ案内音量の設定を調整してください。	(P.13)
ルートから外れている。 ●現在地画面で自車がルート上にあるかを確認し、ルートに戻ってください。 ●再探索してください。	(P.26) −
自動再探索が「しない」に設定されている。 ●「する」に設定してください。	(P.97)
ルートに対して逆走行している。 ●目的地の方向を確認してください。 ●再探索してください。	(P.27) −
各コードの接続を確認してください。	取付説明書
ルート案内中に料金案内されない	
ルートが有料道路上から始まっている。 ●有料道路上で自動再探索や再探索してルートが有料道路上から始まっているときは、料金案内されない場合があります。	−
有料道路以外で有料案内する	
地図データで有料道路判定をするため、最近無料化された道路などは、実際と異なり有料案内することがあります。	−
料金所が入口付近になくても、有料道路の手前で音声案内します。	−
高速道路を走行中に一般道路の案内をする/一般道路を走行中に高速道路の案内をする	
高速道路と一般道路が平行にあるときは、誤った道路が案内される場合があります。 ●ランチャーメニューから、道路切換を選んでください。	−
一般道優先で探索しているのに、有料道路上にルートを作る	
現在地と目的地の場所によっては、一般道優先で探索しても有料道路上にルートを作ることがあります。(故障ではありません。) ●通りたい一般道路上に経由地を設定してください。	(P.45)

■ 動作

内　容	ページ
登録地が登録されない/設定が変更されない/探索したルートが削除された	
操作のあと、すぐに電源を切った。 ●再度操作してください。	−
戻るを選んでも、前の画面に戻らない	
画面によっては、戻るを選んでも前の画面に戻らない場合があります。	−

内　容	ページ
地図画面上でフリック/ドラッグ以外の操作ができない	
フリック/ドラッグ操作でスクロール中は、画面上でそれ以外の操作はできません。 ●約1秒間何も操作せずに、地図モード画面になってから操作してください。	 –

■ 表示

内　容	ページ
VICS情報が表示されない(FM VICS)	
VICSを放送している放送局を受信しているか確認してください。	–
FMの電波が弱い。 ●障害物(トンネルやビルの陰など)のない場所に移動してください。 ●電波の強い周波数の放送局を選局してください。	 – –
地図情報の保持時間が過ぎた。 ●新しい情報を再度受信するまでお待ちください。	 –
VICSのサービス外の地図を表示している。 ●VICSのサービスを行っている圏内の地図を表示し確認してください。	 –
モーターアンテナ設定がONの状態で、AUDIO OFFに切り換えると、VICS情報を受信できません。 ●AUDIO ONに切り換えてください。	 (P.51)
ラジオアンテナの接続を確認してください。	取付説明書
VICS情報が表示されない(光ビーコン/ETC2.0)※ 別売のETC2.0車載器が必要です。	
ETC2.0車載器の取り付け状態が悪く受信できない。 ●アンテナの上に物を置かないでください。 ●極端にフロントガラスが汚れている場合は、きれいにしてください。 ***●取り付け位置や接続を確認してください。***	 – – 取付説明書
電波不透過ガラスや赤外線反射ガラス装着車両では、受信できない場合があります。 ***●お買い上げの販売店にご相談ください。***	 –
TSPSアイコンが表示されない※別売のTSPS対応ETC2.0車載器が必要です。	
路側装置の機器メンテナンス作業や故障等により、終日または時間帯によって、情報が提供されない場合があります。	–
地図データに対象交差点の情報がないときはTSPSアイコンは表示されません。	–

オーディオ[TV]

■ 映像／音声

内　容	ページ
映像も、音声も出ない	
本機が異常に高温になっている。 ●車内の温度を下げてから、本機の電源を入れなおしてください。	 –
受信状態が悪い。 ●車のある場所や方向により、受信状態が変化します。受信状態の良い場所に移動してください。	 –
電源を入れても映像がすぐに出ない	
ソフトウェアが起動して映像を表示するまでに時間がかかる場合がありますが、故障ではありません。	–

内　容	ページ
映像や音声が(ときどき)出なくなる/静止する、音声が遅れて聞こえる	
車のある場所や方向により受信状態が変化します。視聴中に、受信状態により「黒色」画面になることがありますが、故障ではありません。	−
車両の搭載機器(電動ドアミラー、パワーウィンドウ、エアコン、HIDランプなど)の動作によってノイズが発生し、アンテナレベルが低下することがあります。	−
自動車/バイク/高圧線/ネオンサイン等の近くを車が通過したとき、アンテナレベルが低下することがあります。	−
地上デジタル放送の受信状態が良くないときに、受信モードが「地上D」になっている。 ● 地上デジタル放送の電波が弱い地域では、受信モードを「ワンセグ」に切り換えてください。(ワンセグに切り換わるときに、映像や音声が一時的にとぎれたり、遅れたりする場合があります。)	−
地上デジタル放送が受信できない/受信状態が悪い	
地上デジタル放送の放送エリア外にいる場合、受信できません。また、受信障害がある環境では放送エリア内でも受信できない場合があります。	−
長距離移動などで現在のチャンネル設定では受信できない場所にいる。 ● ユーザープリセットのスキャンを行ってください。	−
フロントガラスに車載カメラ装置(自動ブレーキシステムやドライブレコーダーなど)が装備されている場合は、カメラから地上デジタルアンテナを離して取り付けてください。	取付説明書
地上デジタルアンテナの接続を確認してください。	取付説明書

オーディオ [FM/AM]

■ 動作

内　容	ページ
エンジンをかけると、車のラジオアンテナが上下する	
エンジンをかけるタイミングにより、上下する場合がありますが、故障ではありません。	−

■ 音声

内　容	ページ
ラジオが受信できない/ノイズが多い	
放送局の電波が弱い。 ● 放送局を変えてください。	(P.54)
ラジオアンテナが十分に伸びているか確認してください。	−
周波数再編が実施された。(これまで受信できた放送局が受信できなくなった) ● 新しい周波数をプリセットのリストに記憶させてください。	(P.54)
ワイドFM非対応のラジオアンテナでFM補完放送を受信しようとした。 ● ラジオアンテナがワイドFMに対応していない場合は、FM補完放送を受信できません。	−
● ***ラジオアンテナの接続・設定を確認してください。*** ● ***ラジオアンテナのケーブルを他のコードと束ねたり・重ねたり・交差させたりせず、できるだけ離してください。***	取付説明書

オーディオ[DVD]

■ 動作

内　容	ページ
タッチパネルを操作しても、動作しない	
ディスクによっては、その操作を禁止している場合があります。(故障ではありません。)	−
設定した字幕言語/音声言語/アングルが切り換わらない	
複数の字幕/音声/アングルが記録されていないディスクでは、切り換えられません。 ● トップメニューなどで切り換えたり、特定の映像のみアングルなどを切り換えられるディスクもあります。ディスクの説明書をご覧ください。	−
設定した字幕言語/音声言語で再生されない	
設定した字幕/音声が記録されていないディスクでは、設定どおりの字幕/音声で再生されません。 ● トップメニューなどで切り換えられるディスクもあります。ディスクの説明書をご覧ください。	−
メニュー画面のメッセージが希望の言語にならない	
再生操作タッチキーから 設定 ▶ 言語設定 を選び、メニュー言語の設定を確認してください。	−
ディスクを挿入しても再生できない	
ディスクを正しい面で挿入しなおしてください。	(P.56)
再生できるディスクを使用してください。	(P.117)
ディスク挿入後、またはDVDに切り換えたあとに、フォーマットが識別される少しの間、音が途切れることがあります。	−

■ 音声

内　容	ページ
再生中に小さい音が聞き取りにくい	
再生操作タッチキーから 設定 ▶ ダイナミックレンジ圧縮 を選び、「ON」に設定してください。	−
DVD再生の音量が小さい	
音楽CDとDVDの録音レベルには差があります。 ● DVD再生時には、音楽CD再生時よりも音量を上げてください。	(P.13)
音質が悪い(音が飛ぶ)	
ディスクの汚れをクリーニングしてください。	(P.119)
本機の取り付けを確認してください。 ***● 角度を40°以内に調整し、振動しないようにしっかりと取り付けてください。***	取付説明書

オーディオ[MP3/WMA(CD-R/CD-RW)]/[SD]/[USB]

■ 動作

内　容	ページ
再生するまで時間がかかる	
記録されているフォルダ/ファイル階層が多い。 ● MP3/WMA以外のファイルや必要ないフォルダなどは、書き込まないようにしてください。	−

故障かな!?

内　容	ページ
順番どおりに再生されない	
書き込んだ順番に再生されます。 ●再生したい順番に、書き込んでください。 ●ファイル名の頭に「001」～「254」などと入力することで順番を設定できるライティングソフトもあります。	－ －
再生できない	
本機に対応したメディアを再生してください。 ●SDメモリーカード・USBメモリーによっては、認識しないものもあります。別のSDメモリーカード・USBメモリーをお試しください。	(P.117、P.120) －
使用したライティングソフトやドライブ、またはその組み合わせによって、正しく再生されない場合があります。	－
ビットレート/サンプリング周波数を確認してください。	(P.121)
ファイルが破損している。 ●本機が再生できる形式で、ファイルを作りなおしてください。	(P.121)
ファイルには以下の拡張子を必ず付けてください。 ●MP3ファイル：拡張子「mp3(MP3)」 ●WMAファイル：拡張子「wma(WMA)」 ●AACファイル：拡張子「m4a(M4A)」	－ － －

■ 音声

内　容	ページ
音質が悪い（音が飛ぶ）	
ディスクの汚れをクリーニングしてください。	(P.119)
音質は、使用したエンコーダソフトやビットレートの設定などにより異なります。詳しくは、エンコーダソフトの説明書をご覧ください。	－
低倍速で、再度データを書き込んでください。	－
再生経過時間は表示されているが、音が出ない	
ミックスモード(第1トラックに音楽以外のデータ、第2トラック以降に音楽データが、1セッションで記録されているフォーマット)のディスクの第1トラックを再生した。 ●ミックスモードで再生しようとした場合、MP3/WMAファイルが無音で再生されることがあります。	－

■ 表示

内　容	ページ
ファイル名・フォルダ名が正しく表示されない/曲情報が正しく表示されない	
規格に準拠した文字種・文字数で入力してください。	(P.121)
使用したライティングソフトやドライブ、またはその組み合わせによって文字などが正しく表示されない場合があります。	－
再生経過時間の表示が実際と一致していない	
再生中、ACCをOFFにした。 ●他のファイルを選んで再生すると、正常に戻ります。	－
可変ビットレート(VBR)で記録されたファイルは、再生経過時間が正しく表示されない場合があります。	－

オーディオ [MEMORY MUSIC]

■ 録音

内　容	ページ
録音設定の切り換えができない	
録音中の場合は、録音を停止してください。	(P.63)

■ 動作

内　容	ページ
CDから録音した曲が再生されない	
曲のファイルが破損している。 ●再生されない曲を削除し、再度CDから録音してください。	—

■ 音声

内　容	ページ
音質が悪い（音が飛ぶ）	
ご使用になるSDメモリーカードによっては、再生時の音飛びが発生する場合があります。いったん音楽データを削除してから、再度録音してください。 ●改善されない場合は、本機またはSDフォーマッターでSDメモリーカードを初期化し、再度録音してください。なお、初期化するとデータはすべて削除されます。必要なデータはあらかじめパソコンにバックアップを取ってください。 それでも改善されない場合は、転送速度の速いSDメモリーカードに変更してください。	— (P.100、P.120)

■ 表示

内　容	ページ
録音した音楽CDのアルバム名/曲名が表示されない	
新譜などのため、Gracenoteデータベースにタイトル情報がない。 ●タイトル検索ソフトを使用してタイトル情報を取得してください。	(P.66)

オーディオ [iPod]

■ 動作

内　容	ページ
iPodが正しく動作しない	
iPodが正しく認識されていない。 ●***接続を確認してください。*** ●iPodをリセットしてから再度接続してください。	取付説明書 —
iPodのバージョンが古い。 ●iPodのバージョンを確認してください。	—

故障かな!?

BLUETOOTH

■ 登録

内　容	ページ
BLUETOOTH対応機器を本機に機器登録できない	
BLUETOOTH対応機器のBLUETOOTH機能がOFFになっている。 ●BLUETOOTH対応機器を操作して、BLUETOOTHをONに設定してください。	−
A2DP（Advanced Audio Distribution Profile）に対応したBLUETOOTH Audio機器を登録してください。	−
HFP（Hands-Free Profile）に対応した携帯電話を登録してください。	−
BLUETOOTH対応機器のファームウェア（ソフトウェア）を最新にしてください。	−
BLUETOOTH対応機器の登録機器リストで本機の機器名称（Strada）を選択しても、本機を登録できない	
デバイスアドレスが本機のものと異なる。 ●本機と同じ名称の、別の機器が選択されています。本体情報画面でデバイスアドレスを確認して、BLUETOOTH対応機器の登録機器リストから、本機と同じデバイス機器アドレスの機器を選んで登録してください。	(P.77)

■ 接続

内　容	ページ
「携帯電話が接続されていません。携帯電話を忘れていませんか？」と音声案内される（接続設定されている携帯電話に接続できない）	
接続確認案内の設定が「する」になっている場合に、音声案内されます。 ●携帯電話のBLUETOOTH機能を有効にしてください。 ●BLUETOOTH対応機器を本機に近づけてください。 ●接続設定されている携帯電話を使用しない場合には、接続を解除してください。	 − − (P.79)
本機に接続できない	
BLUETOOTH対応機器が本機に機器登録されていない。 ●機器登録してください。	(P.77)
携帯電話がHFPに対応していないとBLUETOOTH接続できません。（機種によっては、HFPに対応していなくても本機に登録される場合があります。	−
携帯電話がSPP（Serial Port Profile）に対応していないとスマホ連携接続できません。	−
携帯電話の受信状態を確認してください。	−
BLUETOOTH対応機器を本機に近づけてください。	−
BLUETOOTH機器と見通しの良い状態で通信を行ってください。障害物等の影響で通信距離が短くなるおそれがあります。特に金属や人体（ポケットなどに入れている時など）に近接すると途切れたり通信不能になる場合があります。	−
BLUETOOTH対応の周辺機器（ヘッドフォン等）や無線LAN、その他無線機器などの電波を発する機器が多い環境、その他電波状態の悪い環境で使用しないでください。接続が頻繁に途切れたり、通信不能になる場合があります。	−
自動的にペアリング情報が削除された。 ●本機からBLUETOOTH対応機器の登録を削除し、BLUETOOTH対応機器の登録機器リストから本機（Strada）を削除してから、再度機器登録からやりなおしてください。	(P.78)
自動接続が完了していない。 ●BLUETOOTH対応機器が本機と自動接続されるまで、しばらく時間がかかる場合があります。	−

内　容	ページ
登録したBLUETOOTH対応機器が自動的に本機と再接続されない	
BLUETOOTH対応機器のBLUETOOTH機能を有効にしてください。	−
BLUETOOTH対応機器が省電力モードに設定されている。 ●一定時間経過後に自動的にBLUETOOTH接続が解除される場合があります。BLUETOOTH対応機器の設定を変更してください。	−
BLUETOOTH対応機器を操作して、BLUETOOTHによる本機との接続を解除した。 ●再度本機とBLUETOOTH接続してください。 ●それでもBLUETOOTH接続できない場合は、本機からBLUETOOTH対応機器の登録を削除し、BLUETOOTH対応機器の登録機器リストから本機（Strada）を削除してから、再度機器登録からやりなおしてください。	(P.79) (P.78)
BLUETOOTH対応機器が操作待ちになっている。（機種によっては、本機からのBLUETOOTH接続に対し、確認操作が必要なものがあります。） ●BLUETOOTH対応機器を操作してBLUETOOTH接続を許可してください。	−
本機の近くに、他のBLUETOOTH対応機器や2.4 GHz帯を使用する機器がある。 ●混信するため、他の機器を本機から離してください。 ●それでも混信する場合は、他の機器の電源を切ってください。	(P.125) −
BLUETOOTH対応機器が金属物に触れている場合は、離してください。	−
BLUETOOTH対応機器と本機の間に障害物がある場合は、取り除いてください。	−
BLUETOOTH対応機器を本機に近づけてください。	−
BLUETOOTHによる自動接続に失敗した。 ●いったんBLUETOOTH対応機器の電源を切り、再度電源を入れてください。 ●それでもBLUETOOTH接続できない場合は、本機からBLUETOOTH対応機器の登録を削除し、BLUETOOTH対応機器の登録機器リストから本機（Strada）を削除してから、再度機器登録からやりなおしてください。	− (P.78)
携帯電話がBLUETOOTH接続待機状態になっていない。 ●携帯電話がBLUETOOTH接続待機状態でないと、本機とBLUETOOTH接続されません。携帯電話を接続待機状態に設定してください。	−
BLUETOOTH Audio機器が自動接続に対応していない。 ●オーディオをBLUETOOTH Audioに切り換え、本機から手動で接続してください。	(P.80)
携帯電話がハンズフリー接続待機状態になっていない。 ●携帯電話がハンズフリー接続待機状態でないと、本機とハンズフリー接続されません。携帯電話を接続待機状態に設定してください。	−

■ 音声

内　容	ページ
音質が悪い（音がゆがむ・ノイズが発生する）	
本機の近くに、他のBLUETOOTH対応機器や2.4 GHz帯を使用する機器がある。 ●混信するため、他の機器を本機から離してください。 ●それでも混信する場合は、他の機器の電源を切ってください。	(P.125) −
携帯電話の受信状態を確認してください。	−
BLUETOOTH対応機器の電池残量が少ない場合は、充電してください。	−

故障かな!?

■ スマートフォン連携

内　容	ページ
「NaviCon®」のデータを本機で取得できない	
スマートフォンが本機に正常に接続されていない。 ●BLUETOOTH接続状態を確認してください。 ●本機のスマホ連携接続の状態を確認してください。 ●スマホ連携接続をいったん解除してから、再度接続しなおしてください。	－ (P.79) (P.79)
iPhoneまたはiPodを本機のケーブルで接続した状態でiPhoneをBLUETOOTH接続しようとした。 ●iPhoneまたはiPodをケーブルで接続すると、ケーブルでの接続が優先されるため、iPhoneで「NaviCon®」を利用することはできません。iPhoneまたはiPodをケーブルから取り外してください。	－
「NaviCon®」を終了してもBLUETOOTH接続が解除されない	
手動でBLUETOOTH接続を解除してください。	(P.79)
スマホ連携の接続が完了しない	
接続をいったん中止し、再度接続しなおしてください。	(P.79)
スマホ連携の切断が完了しない	
スマートフォンを操作して切断してください。	－

■ ハンズフリー通話

内　容	ページ
本機に機器登録された携帯電話でハンズフリー通話できない	
通話が携帯電話に切り換わっている。 ● ハンズフリー切換 を選択し、ハンズフリー通話に切り換えてください。	(P.82)
携帯電話のサービス圏外で使用している。 ●サービス圏内で使用してください。	－
BLUETOOTHによる接続がされていない。 ●再度接続してください。	(P.79)
携帯電話がマナーモードになっている。 ●機種によっては、マナーモードに設定していると本機から着信音が出力されない場合があります。マナーモードを解除してください。	－
発着信時に相手の名前が表示されない	
携帯電話の電話帳が本機に登録されていない。 ●電話帳を本機に登録してください。	－
ハンズフリー通話中、エコーやハウリングが起こる	
受話音量を下げてください。	(P.81)
通話中、相手の音声が聞き取りにくい	
自分と相手が同時に発声した。 ●交互に話してください。	－
受話音量を上げてください。	(P.81)

内　容	ページ
着信履歴から発信できない	
番号非通知の相手にかけようとした。 ● 番号非通知の相手には発信できません。	–
国際電話を受けた。 ● 携帯電話の契約によっては、国際電話への発信ができない場合があります。	–
携帯電話の機種によっては、相手先の電話番号を本機に通知しないものがあります。 ● 携帯電話の着信履歴から直接発信してください。	–
通話音量が大きすぎる・小さすぎる/通話しづらい	
マイクと話者の距離が近いまたは離れている。 ● 適切な距離でお話しください。	–
エアコンの送風音をマイクが拾っている。 ● エアコンの送風を弱くするか、止めてください。	–
携帯電話の通話中に、自動的にハンズフリー通話に切り換わる/本機と接続中、携帯電話で通話できない	
機種によっては、BLUETOOTHにより接続されると自動的にハンズフリー通話しかできなくなる場合があります。 ● 携帯電話で通話するときは、携帯電話を操作して本機とのBLUETOOTH接続を解除してください。	–
走行中にハンズフリー通話していたら、回線切断のメッセージが表示された	
携帯電話の電波が弱い。 ● 電波の状態が良い場所でご使用ください。	–
電話帳転送ができない	
携帯電話がOPP(Object Push Profile)またはPBAP(Phone Book Access Profile)に対応していないと、電話帳転送できません。(機種によっては、OPPに対応していても電話帳転送できない場合があります。)	–

■ BLUETOOTH Audio

内　容	ページ
BLUETOOTH Audio画面から操作できない(再生はできる)	
● BLUETOOTH Audio機器がAVRCP(Audio/Visual Remote Control Profile)に対応していない。	–
● AVRCPに対応していないと、本機から操作できません。BLUETOOTH対応機器で操作してください。(機種によっては、AVRCPに対応していても一部の操作ができない場合があります。)	–
音量が小さい	
BLUETOOTH機器の音量を調整してください。	–
音質が悪い(音がゆがむ、音が途切れる、ノイズが発生する)	
BLUETOOTH Audio機器を本機に近づけてください。また、BLUETOOTH Audio機器の向きを変えてみてください。(BLUETOOTHアンテナが本体に向くように)	–
「電話1」「電話2」「スマホ連携」に設定された携帯電話/スマートフォンのうち、本機と接続されていないものがある。(例:電源がOFFになっている、車内に持ち込まれていない) ● 対象機器のハンズフリー、およびスマホ連携の接続設定を解除してください。	(P.79)

■ その他

内　容	ページ
(P.110～P.114)**の処置をしても問題が解決しない/その他の問題がある**	
●いったんエンジンを止めて、再度エンジンをかけてください。 ●いったんBLUETOOTH対応機器の電源を切り、再度電源を入れてください。 ●機器登録を削除し、再度登録しなおしてください。	－ － (P.78)
それでも解決しない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。	－

こんなメッセージが出たときは

■ か

内　容
高温のため、動作を停止しています。エアコンをかけ車内の温度を下げてから安全な場所に停車し、エンジンをかけ直してください。
本機の内部温度が異常に高い。 ●内部温度が下がるまでお待ちください。
この画像は表示できません。表示可能サイズを超えているか、不正な画像ファイルです。
再生できない形式の静止画データを再生した。 ●ファイルを確認してください。
この曲は再生できません。
再生できない形式の音楽データを再生した。 ●ファイルを確認してください。
このSDカードは書き込み禁止です。SDカードを確認してください。
SDメモリーカードの書き込み禁止スイッチがロック側(LOCK)になっている。 ●書き込み禁止スイッチを解除してください。

■ さ

内　容
再生可能なディスクを入れてください。
ディスクが汚れている、裏返しになっている。 ディスクが音楽用でない、録音されていない。 ディスクにキズが付いている。 再生できないディスクを使用している。(P.118) ●ディスクを確認してください。
再生可能なファイルがありません。
異常のある動画を再生した。 ●ファイルを確認してください。
再生できるファイルがない。 ●再生できるファイルのあるメディアを挿入してください。
車速信号が検出できません。車速信号コードの接続をご確認ください。
車速信号コードの接続を確認してください。(取付説明書) ●***改善しない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。***
受信できません(0020)
地上デジタル放送/ワンセグの受信レベルが低い。 ●受信できる場所に移動してください。

内　容
受信できません(E202)
地上デジタル放送/ワンセグの電波を受信できていない。 ●受信できる場所に移動してください。
受信できません(E203)
地上デジタル放送/ワンセグの受信レベルが非常に低い。 ●受信できる場所に移動してください。
放送休止のチャンネルを見ている。 ●視聴できるチャンネルを選んでください。
情報を受信していません。
VICS情報がない。 ●FM VICSチューナーの周波数設定を確認してください。
走行中はスクロールできません。
市街地図を表示した状態で、走行中に地図をスクロールした。 ●安全な場所に停車して、パーキングブレーキをかけてご覧ください。
パーキングブレーキをかけているにもかかわらず、メッセージが表示される場合は、サイドブレーキコードが正しく接続されていない。 **●*サイドブレーキコードの接続を確認してください。***

■ た

内　容
● 地図カードを挿入してください。 **● 地図カードがありません。**
地図SDHCメモリーカードがしっかりと挿入されているか、確認してください。
地図データ異常により正常に起動できませんでした。
地図SDHCメモリーカードに異常がある。 ***●お買い上げの販売店、またはお近くの「サービスご相談窓口」にお問い合わせください。***
地図SDHCメモリーカードは、お買い上げ時に挿入されていた機器でのみ使用できます。他の同型の機種に挿入しても、使用できません。
データがいっぱいになりました。XX件 転送されました。
アドレス帳を、最大保存可能件数(1 500件)まで保存した。 ●これ以上保存できません。不要なアドレス帳を削除してください。
電源を入れ直してください。
アンプに異常が発生した。 ●いったんエンジンを止めて、再度エンジンをかけてください。

■ は

内　容
配線の不良または機器の故障の可能性があります。お買い上げの販売店またはお近くのサービス窓口にご相談ください。
正しく配線されていない。 ***●配線を確認してください。***
本機が故障している。 ***●お買い上げの販売店、またはお近くの「サービスご相談窓口」に修理を依頼してください。***
DC24 V車に取り付けている。 ***●ACCをOFFにしたあと、電源コード/接続ハーネスを抜いて本機を取り外してください。***

内　容
本機に接続しているiPod/USB接続用中継ケーブルに異常がありました。ケーブルにキャップをした後、電源を入れ直してください。
ケーブルが金属物に触れている ●金属物から離してください。
接続している機器やケーブル（iPod/USB接続用中継ケーブル、およびUSBケーブル）に異常がないことを確認してください。 ●***それでも正常に戻らない場合は、お買い上げの販売店、またはお近くの「サービスご相談窓口」に修理を依頼してください。***
本機は12 V車専用です。24 V車には使用できません。事故・故障の原因となります。使用を中止し、本機を取り外してください。
DC24 V車に取り付けている。 ●***ACCをOFFにしたあと、電源コード/接続ハーネスを抜いて本機を取り外してください。***

■ ら

内　容
ルート探索ができません。
極端に長い道のりのルートを探索しようとした。 ●目的地、経由地を近くに設定して、再度ルートを探索してください。
録音可能な容量を超えました。これ以上録音できません。
SDメモリーカードに十分な空き容量がない。 ●不要な音楽データを削除してください。
録音できませんでした。SDカードを確認し、もう一度録音してください。
SDメモリーカードが本機に挿入されていない。 ●SDメモリーカードを本機に挿入してください。

■ S

内　容
SDカードが書き込み禁止になっています。
SDメモリーカードの書き込み禁止スイッチがロック側(LOCK)になっている。 ●書き込み禁止スイッチを解除してください。

■ 記号

内　容
⃠
ディスクまたは本機で禁止されている操作です。

結露について

冷暖房を入れた直後など、車内の急激な温度変化のために、本機内部のピックアップレンズやディスクに露(水滴)が生じることがあります。正常な動作をしない場合には、ディスクを取り出して、約1時間ほど放置してください。もし、何時間たっても正常に動作しない場合は、お買い上げの販売店、またはお近くの「サービスご相談窓口」にご相談ください。

万一、故障や異常が起こったら

車を安全な場所に停車させて電源を切り、お買い上げの販売店、またはお近くの「サービスご相談窓口」に修理をご依頼ください。お客様による修理は、絶対におやめください。
●故障や異常の状況は、できるだけ具体的にご連絡ください。

ディスクについて

再生できるディスク

本機では、下記のディスク・フォーマットを再生できます。

ディスク	フォーマット				
	DVD-Video	DVD-VR	CD-DA	MP3 *3	WMA *3
DVD	○	—	—	—	—
DVD-R/RW *1	○	○	—	—	—
CD	—	—	○	—	—
CD-R/RW *2	—	—	○	○	○

＊1 本機でご使用になる前に、記録した機器でファイナライズしてください。
＊2 本機でご使用になる前に、記録した機器でクローズセッションしてください。
＊3 MP3 PRO、MP3i、WMA Professional、WMA Lossless、WMA Voiceには対応していません。

お知らせ

- ディスク側の制約により、本書の操作説明どおりに動作しない場合があります。詳しくは、ディスクの説明書をご覧ください。
- 記録状態、記録方法、記録機器やファイルの作りかたによって、再生できない場合や操作方法が異なる場合があります。

コピーコントロールCDについて

パソコンなどによるコピー防止が施された音楽CDは、本機での再生や録音は保証できません。通常のCD再生には支障がなく、コピーコントロールCDの再生のみに支障がある場合は、そのCDの発売元にお問い合わせください。

DVD-R/RW・CD-R/RWについて

- 使用したライティングソフトやドライブ、またその組み合わせによって、正常に再生されなかったり、文字などが正しく表示されない場合があります。
- レコーダーで記録したディスクは、その特性・汚れ・指紋・キズなどにより、再生できない場合があります。
- 通常のDVD、音楽CDに比べ高温多湿環境に弱いため、長時間の車内環境において劣化し、再生できない場合があります。
- マルチセッションで書き込まれたディスクや、形式の異なるデータが混在しているディスク（CD-Extra、CD-DAとMP3/WMAが混在したディスクなど）は、正常に再生できない場合があります。また、パケットライト方式で書き込まれたディスクは正常に再生できないことがあります。書き込みには、ディスクアットワンスをおすすめします。
- ディスクの特性により読み取れない場合があります。
- DVD-RW、CD-RWは、挿入してから再生が始まるまで、通常のディスクと比べて時間がかかる場合があります。
- MP3/WMAファイルが収録されているディスクを挿入すると、最初にディスク内のすべてのファイルをチェックします。
- 片面2層のDVD-R、また録画/編集に使用したレコーダーやディスクによっては、正常に再生できない場合があります。

ディスクについて

ディスクに記載されているマークについて

■ リージョン番号

- 発売地域ごとにディスクとプレーヤーに割り当てられた番号です。
  ディスクとプレーヤーのリージョン番号が一致しないと再生できません。
- 製作者の意図により特定の地域・国で再生不可と認定されているディスクは、再生できない場合があります。
  - **本機のDVDのリージョン番号は、「2」です。**
    「**2**」(2を含むもの)または「**ALL**」が表示されているディスクが再生できます。



■ 字幕言語数



■ 音声言語数



■ アングル数



■ 画面サイズ(横:縦の比)

映し出される映像のサイズは、画面比率の設定とディスク側の画面サイズによって異なります。

4:3の標準サイズ 4:3

レターボックス LB

16:9のワイドサイズ

画面サイズが標準(4:3)のときは、レターボックスで再生されます。16:9 LB

画面サイズが標準(4:3)のときは、パン&スキャンで再生されます。16:9 PS

再生できないディスク

- 8 cmディスク*1
- NTSC以外の方式(PAL、SECAM方式など)で記録されたディスク
- ファイナライズされていないDVD-R/RW
- クローズセッションされていないCD-R/RW
- Ultra HD Blu-ray
- BDXL
- カートリッジ付きBD-RE (Ver.1.0)
- BD-ROM
- DVD-ROM
- DVD+R
- DVD+RW
- DVDオーディオ
- DVD-RAM
- CD-ROM
- フォトCD
- CD-G
- ビデオCD
- CDV
- SVCD
- SACD
- CD-EXTRA*2
- VSD
- CVD
- DualDisc*3
- HD DVD-Video
- HD DVD-R
- HD DVD-RW

●HD DVD-ROM
●HD DVD-RAM
●DIVX Videoディスク　など
＊1 シングルアダプターも使用できません。無理に挿入しないでください。故障の原因となります。
＊2 ファーストセッションが音楽データ（CD-DA）の場合は、再生できます。
＊3 ディスクにキズが付いたり、ディスクが詰まって本機から取り出せなくなるおそれがあります。

ディスクの取り扱い

■ 持ちかた

記録面に触れないように持つ



■ ディスクが汚れたら

水を含ませた柔らかい布で拭いたあと、乾いた布で拭く



内側から外側へ拭く

●回転する方向に拭かないでください。
●ベンジンやシンナー、レコードクリーナー、静電防止剤を使用しないでください。

■ 置き場所について

以下の場所にディスクを置かないでください。
●長時間直射日光の当たるところ（車のシート、ダッシュボードの上など）
●暖房器具の熱が直接当たるところ
●湿気やゴミ・ほこりの多いところ
●腐食性のある外気に触れるところ
●強い静電気・電気的ノイズの発生しやすいところ

長時間使用しないときは

●必ず本機から取り出してください。
●ゴミなどの汚れやキズ・そりなどを避けるため、必ずケースに入れて保管してください。

使用できないディスクについて

下記のようなディスクは使用しないでください。
本機の内部で引っ掛かるなどして、ディスクの破損や本機の故障の原因となります。

ラベルなどを貼り付けたディスク


シールやテープ、のりが付着している


プリンターで作成したラベル


プロテクトフィルム、保護シート


ディスクアクセサリー（スタビライザーなど）

破損・変形したディスク


そっている


ひびやキズがある・欠けている

透明なディスク


全体が透明


一部が透明

円形以外の特殊な形状のディスク


ハート形


カード型


三角形


バリがある

SDメモリーカード・USBメモリーについて

SDメモリーカードについて

■ 本機で使用できるSDメモリーカード

※ 本書では特にことわりのない限り、下記のメモリーカードを「SDメモリーカード」と表記しています。

- SDXCメモリーカード(2 TB以下)*1
- SDHCメモリーカード(32 GB以下)*1
- SDメモリーカード(2 GB以下)
- microSDXCメモリーカード(2 TB以下)*1*2
- microSDHCメモリーカード(32 GB以下)*1*2
- microSDメモリーカード(2 GB以下)*2
- miniSDメモリーカード(2 GB以下)*2

＊1 SD規格準拠カードのみ使用できます。
＊2 カードをSDメモリーカード挿入口へ挿入するときは、必ずカードに付属の専用アダプターを装着してください。取り出すときも、必ずアダプターごと取り出してください。

■ SDメモリーカードを使用する前に

本機で初期化してください。(P.100)
または、パソコンで「SDフォーマッター」(フォーマットソフトウェア)を使って初期化してから使用してください。SDフォーマッターについては、下記サイトをご覧ください。
http://panasonic.jp/support/sd_w/download/

お知らせ

- 規格に準拠したSDメモリーカードでも、本機では使用できない場合があります。
- 無線LAN内蔵のSDメモリーカードは使用できません。

USBメモリーについて

■ 本機で使用できるUSBメモリー

- USBマスストレージ規格準拠
- 容量:32 GB以下
- ファイルシステム:FAT16、FAT32
- USBコミュニケーションフォーマット:USB2.0(12 Mbps)
- パソコンと接続時、リムーバブルディスクとして認識されるもの
- USBメモリー本体にセキュリティがかかっていないもの

お知らせ

- 規格に準拠したUSBメモリーでも、本機では使用できない場合があります。正常に動作しないときは、接続したUSBメモリーを本機から取り外してください。

SDメモリーカード・USBメモリーの取り扱いについて

- 読み書きしているときに以下のことはしないでください。
  - SDメモリーカードを取り出す
  - USBメモリーを取り外す
  - 機器の電源を切る
- 強い衝撃を与える、曲げる、落とす、水に濡らすなどしないでください。
- データ消滅による損害については、当社は一切の責任を負いかねます。
- 長時間使用すると、SDメモリーカード・USBメモリーが温かくなっている場合がありますが、故障ではありません。
- SDメモリーカード・USBメモリーには寿命があり、長期間使用すると書き込みや削除などができなくなる場合があります。
- SDメモリーカード・USBメモリーが不良品の場合、正常に動作しない場合があります。
- SDメモリーカード・USBメモリーの端子部を手や金属で触れたり、汚したりしないでください。
- SDメモリーカードに書き込むときは、書き込み禁止スイッチを解除してください。
- SDメモリーカードに貼られているラベルをはがさないでください。
- SDメモリーカードにシールやラベルを重ねて貼り付けないでください。
- SDメモリーカードは、本機から取り出したら、必ずケースに収納してください。

データ作成時の留意点

音楽データについて

音楽データの規格について

ファイル形式	MP3	WMA	AAC
使用可能なメディア	CD-R/RW、SD、USB	CD-R/RW、SD、USB	SD、USB
対応規格 バージョン	MPEG1 Audio Layer3 MPEG2 Audio Layer3	Windows Media Audio Version 7/8/9 ※ Stantard のみ	Low Complexity
ファイル拡張子	MP3、mp3	WMA、wma	M4A、m4a
最大フォルダ名 / ファイル名文字数	CD-R/RW：全角 32 文字 / 半角 32 文字		—
	SD、USB：全角 32 文字 / 半角 64 文字		
フォルダ名 / ファイル名使用可能文字	A ～ Z（全角 / 半角）、0 ～ 9（全角 / 半角）、_（アンダースコア）、全角漢字（JIS 第一水準）、ひらがな、カタカナ（全角 / 半角）		
最大フォルダ階層	8 階層		
1 フォルダ内の最大ファイル数	255（ファイル + フォルダ数：ルートフォルダ含む）		
1 メディア内の最大ファイル数	CD-R/RW：512(MP3・WMA ファイル合計)		—
	SD、USB：10 000 (MP3・WMA・AAC ファイル合計)		
1 メディア内の最大フォルダ数	CD-R/RW：255		—
	SD、USB：400		
表示可能なタグ	CD-R/RW： トラック名 / アーティスト名 / アルバム名		—
	SD、USB： トラック名 / アーティスト名 / アルバム名 / ジャンル名		
タグ表示可能文字数	CD-R/RW **ID3 タグ Ver 1.0/1.1：** 全角 15/ 半角 30 文字 **ID3 タグ Ver 2.2/2.3：** 全角 30/ 半角 60 文字	CD-R/RW： 全角 30/ 半角 30 文字	—
	SD、USB： **ID3 タグ Ver 1.0/1.1：** 全角 15/ 半角 30 文字 **ID3 タグ Ver 2.2/2.3：** 全角 32/ 半角 64 文字	SD、USB： 全角 32/ 半角 64 文字	
サンプリング周波数	16 kHz/22.05 kHz/ 24 kHz/32 kHz/ 44.1 kHz/48 kHz	32 kHz/44.1 kHz/ 48 kHz	16 kHz/22.05 kHz/ 24 kHz/32 kHz/ 44.1 kHz/48 kHz
ビットレート (kbps)	8 kbps ～ 320 kbps、 VBR	48 kbps ～ 320 kbps、VBR	8 kbps ～ 320 kbps
ジャケット写真	CD-R/RW：非対応		—
	SD、USB：対応		

- m3u/MP3iフォーマット/MP3 PROフォーマット/ディエンファシスには対応しておりません。
- WMA Professional/WMA Lossless/WMA Voiceには対応しておりません。
- DRM（デジタル著作権管理）には対応しておりません。
- 著作権保護された音楽ファイル（SD-Audio規格など）は再生できません。
- 2チャンネルを超えるチャンネルを持つ音楽データは再生できません。
- ID3タグバージョン1、バージョン2が混在するMP3ファイルの場合、バージョン2のタグを優先します。

お知らせ

- ディスク内のファイルをチェックしている間、音は出ません。
- ファイルのチェックを早く終わらせるためにMP3/WMA/AACファイル以外のファイルや必要のないフォルダなどを書き込まないことをおすすめします。
- エンコーダの状態やファイルフォーマットによって、音質の劣化や再生開始時のノイ

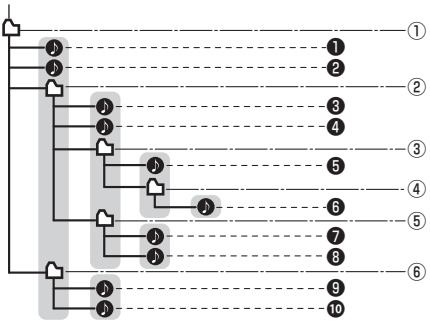
データ作成時の留意点

ズ発声、また再生できない場合もあります。
- MP3/WMA/AACファイルの作成の詳細はエンコーダソフトや使用するオーディオ機器の説明書を参照してください。
- MP3/WMA/AACファイルの作成ソフトやテキスト編集ソフト、ライティングソフトやその設定によっては正規のフォーマットと異なるファイル、ディスクが作成される場合があり、テキスト情報表示や再生ができない場合があります。クローズセッションしていないディスクは再生できません。
- 再生できないファイルがある場合、そのファイルはスキップします。(再生しません。)
- **不正なファイル(例えばMP3以外のファイルに"MP3"の拡張子を付けたファイル)は、誤認識して再生してしまい、大きな雑音が出てスピーカーを破損する場合があります。音楽データ以外のファイルに音楽データの拡張子を付けないでください。MP3/WMA/AAC以外の形式のファイルは動作を保証しておりません。**

階層と再生順序について

再生順序　♪ファイル❶～⑩
　　フォルダ①～⑥

ルートフォルダ
(CD-R/RW、SDメモリーカード、USBメモリーの直下の階層)



同じ階層(　で囲まれた範囲)内のファイル・フォルダは、書き込まれた日時順に並べ換えて再生します。



[CD-R/RWのMP3/WMAの場合]
- ルートフォルダは1つのフォルダとして数えられます。
- 本機では、フォルダの中にMP3およびWMAファイルがなくても、1つのフォルダとして数えます。選択した場合には、再生順で一番近いフォルダを検索して再生します。
- ライティングソフトがフォルダやファイルの位置を並べ換えることがあるため、希望の再生順序にならない場合があります。
- 再生の順序は、同一のディスクでも、使用する機器(プレーヤー)によって異なる場合があります。
- 使用したライティングソフトやドライブ、またはその組み合わせによって正常に再生されなかったり、文字などが正しく表示されない場合があります。
- 通常は、❶～⑩の順に再生します。
- 同じ階層に複数のMP3/WMA音楽ファイルやフォルダが存在する場合、ファイル名、フォルダ名の昇順に再生します。
- 8階層までのMP3および、WMAファイルの再生に対応していますが、多くの階層またはファイルを多く持つディスクは再生が始まるまでに時間がかかります。ディスク作成時には階層を2つ以下にすることをおすすめします。

再生可能なサンプリング周波数、ビットレートについて

- 32 kHz以下のサンプリング周波数のMP3/WMA/AACを再生させた場合、音質が十分に維持できないことがあります。
- 64 kbps以下のビットレートで再生されたMP3/WMA/AACを再生させた場合、音質が十分に維持できないことがあります。
- 一般的にビットレートが高くなるほど音質は良くなります。一定の音質で音楽を楽しんでいただくためにはMP3では128 kbps以上、WMAではできるだけ高いビットレートで記録されたファイルの使用をおすすめします。
- フリーフォーマット・可逆圧縮フォーマットには対応していません。
- 音楽配信サイトで入手できる楽曲は著作権保護がかけてあるものがあります。著作権保護された楽曲は有料・無料にかかわらず本機では再生できません。

音楽ファイルの再生について

- 極端にファイルサイズの大きいファイル、小さいファイルは正常に再生できないことがあります。
- リストに表示される順番はメディアに書き込まれた順となります。メディアに書き込む手順によってはお客様が想定している順とは異なった順で表示されることがあります。

※正しい順番で表示するには、ファイルの先頭に“001～254”など番号をつけてパソコンで期待する順番（名前順）などに並べ、フォルダごと一度にメディアに書き込むことをおすすめします。メディア上で番号を編集しても表示される順番は変わりません。

ファイル名について

- フォルダ名とファイル名の合計が半角240文字、全角120文字を超える場合、再生できません。

ジャケット写真について

JPEG形式のみに対応しています。
他の形式の場合、正常に表示できません。

- 音楽ファイルに付けられている画像データのサイズや解像度が大きい場合、正常に再生や表示ができなかったり、音飛びの原因となる場合があります。
- 176×176ピクセル以下の画像は表示エリアより小さく表示される場合があります。
- 1つのファイルに複数の画像のジャケット写真をファイルに登録してある場合、正常に表示できない場合があります。

静止画データについて

本機は、SDメモリーカードまたはUSBメモリーに保存した画像データを再生できます。

■ 本機で再生できる画像データ

項目	内容	
対応形式	JPEG（ベースライン）	
拡張子	JPG、jpg（大文字、小文字どちらでも使用可能）	
最大階層	8 階層	
最大ファイル数	メディア全体	10 000（ルートフォルダ・フォルダ・ファイルの合計）
	1 フォルダ内	255（ルートフォルダ・フォルダ・ファイルの合計）
最大フォルダ数	100	
使用可能文字	A～Z（全角 / 半角）、0～9（全角 / 半角）、_（アンダースコア）、漢字（JIS 第一水準）、ひらがな、カタカナ（全角 / 半角）	
ファイルサイズ	10 MB 以下	
画像解像度	16 × 16～4 092 × 4 092	

- 解像度が高い画像は画面に合わせて縮小して表示します。
- 以下のようなファイルは再生できません。
  - プログレッシブ方式
  - RGB以外（グレースケール、CMYKなど）

データ作成時の留意点

動画データについて

本機は、SDメモリーカードまたはUSBメモリーに保存した動画データを再生できます。

■ 本機で再生できる動画データ

項目	内容	
対応規格 プロファイル	MPEG-4 AVC（Simple Profile レベル 3 まで）、H.264（Baseline Profile レベル 3 まで）	
拡張子	MP4、M4V、mp4、m4v（大文字、小文字どちらでも使用可能）	
	映像	音声
コーデック	MPEG-4 AVC、H.264	AAC-LC
ビットレート	216 kbps ～ 4 Mbps	8 kbps ～ 320 kbps
フレームレート	15 fps、30 fps	—
最大解像度	720 × 480	—
サンプリング周波数	—	16 kHz、22.05 kHz、24 kHz、32 kHz、44.1 kHz、48 kHz
最大階層	8 階層	
最大ファイル数	メディア全体	10 000（ルートフォルダ・フォルダ・ファイルの合計）
	1 フォルダ内	100（ルートフォルダ・フォルダ・ファイルの合計）
最大フォルダ数	100	
最大表示文字数	半角 32 文字 (全角 16 文字)	
使用可能文字	A ～ Z（全角 / 半角）、0 ～ 9（全角 / 半角）、（アンダースコア）、漢字（JIS 第一水準）、ひらがな、カタカナ（全角 / 半角）	
ファイルサイズ	1 GB 以下	

- ビットレートが低いと、十分な画質・音質を得られない場合があります。
- 可変ビットレート（VBR）で作成されている場合、部分的にビットレートが高くなることがあります。
  そのような部分では音飛びやコマ落ちなどが起こる場合があります。
- 上記の仕様から外れたファイルは、再生できなかったり、音飛びする可能性があります。
- 動画ファイルの作成方法・エンコーダソフトなどによっては再生できなかったり、音声・映像が乱れる場合があります。
- Windows Media Videoには対応していません。

BLUETOOTHについて

■ 使用周波数帯

本機では、BLUETOOTH接続中は、2.4 GHz帯の周波数帯を使用します。他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあり、その機器との電波干渉を防ぐため、下記事項に注意してください。

本機の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどでの移動体識別用の構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「他の無線局」と略します。）があります。

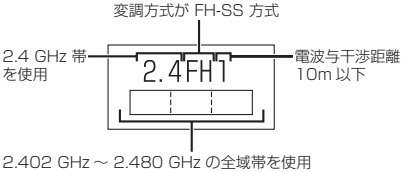
1 BLUETOOTHを使う前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認する。
2 万一、「他の無線局」に対して有害な電波干渉の事例が生じた場合や、何かお困りのことが起きたときは電波の発射を停止した上、お買い上げの販売店または「サービスご相談窓口」へご相談ください。（P.147）

■ 機器設定（無線局の免許は不要です。）

本機は、電波法に基づく技術基準適合証明を受けています。ただし、次のことは、法律で罰せられることがあります。

- 分解・改造をする
- 製品銘板をはがす

■ 周波数表示の見方（製品銘板に記載）



■ 使用可能距離

見通し距離約10 m以内でご使用ください。間に障害物がある場合や、建物の構造などにより、使用可能距離は短くなります。

■ 他機器からの影響

- 本機と他のBLUETOOTH対応機器や2.4 GHz帯を使用する機器の距離が近いと、電波干渉により、正常動作しない、雑音の発生など、不具合が生じる可能性があります。
- 放送局などが近く電波が強すぎる場合も同じです。

■ 使用制限

- すべてのBLUETOOTH対応機器とのワイヤレス通信を保証するものではありません。
- ワイヤレス通信するBLUETOOTH対応機器は、Bluetooth SIG, Inc.の定める認証が必要です。ただし、認証されていても対応機器の仕様や設定により、接続できない場合や、操作方法・表示・動作が異なる場合があります。
- ワイヤレス通信時は、使用環境などによりセキュリティが十分でない場合がありますのでご注意ください。（BLUETOOTH標準規格に準拠したセキュリティ機能に対応しています。）
- ワイヤレス通信時に発生したデータや情報の漏洩について、当社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

■ 用途制限

- 本機のBLUETOOTH機能を使用するには、BLUETOOTH対応機器がBLUETOOTH標準規格Ver.1.2以降に対応している必要があります。
- 本機のBLUETOOTHの各機能を使用するには、BLUETOOTH対応機器が下記のプロファイルに対応している必要があります。
  - BLUETOOTH Audio
    →Advanced Audio Distribution Profile（A2DP）
    →Audio/Video Remote Control Profile (AVRCP)
  - ハンズフリー通話
    →Hands-Free Profile（HFP）
  - 電話帳転送
    →Object Push Profile（OPP）またはPhone Book Access Profile（PBAP）
  - 「NaviCon®」/「CarAV remote」
    →Serial Port Profile（SPP）
- BLUETOOTH対応機器の仕様や設定により、接続できない場合や、操作方法・表示・動作が異なる場合があります。
- 電波の状態によっては、音が途切れたり雑音が入ったりする場合があります。

ナビゲーションシステムとは

ナビゲーションシステムとは、地図上に目的地や目的地までのルートを登録することにより目的地までの道案内をするシステムのことです。

自車位置測位の仕組み

本機では、GPS衛星に加え「みちびき」の電波を受信して、自車の位置を測位します。

■ GPS（Global Positioning System）

アメリカ国防総省が配備を進めた人工衛星を利用した位置検出システムです。高度21 000 kmの宇宙にある3つ以上の人工衛星からの電波を受信し、三角測量の原理を利用して測位を行います。

■ 現在地を測位するまでの時間

本機を最初にご使用になるときや、長時間ご使用にならなかったときは、自車の現在地を測位するまでに、5分程度かかります。また、通常は見晴らしの良い場所（GPS衛星の電波をさえぎる建物や樹木のない場所）で、2分程度で測位します。
電源を入れてすぐに走行すると測位するまでの時間が長くなるため、見晴らしの良い場所で測位ができるまで停車していることをおすすめします。

■ GPS信号を受信しにくい場所

次のような場所では受信できないことがあります。

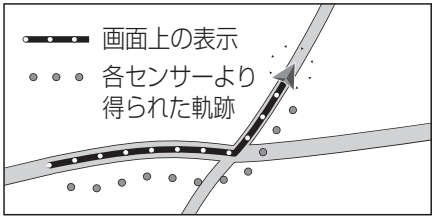
- トンネルの中
- 高架道路の下
- 高層ビルなどの間
- 樹木の間

■ 準天頂衛星システム「みちびき」

内閣府により整備が進められている、日本の衛星測位システムです。GPSを補い、より高精度で安定した測位を行います。

■ マップマッチング

GPSやジャイロなどによる測位には誤差があるため、現在地が道路以外の場所になる場合があります。マップマッチングは、誤差を補正して地図データ上の道路に自車マークを表示させる機能です。



走行中の道路を誤って認識したとき（道路切換）

高速道路と一般道路が平行にあるときは、道路を取り違えることがあります。（例えば、自車が高速道路を走行中なのに自車マークは一般道路を走行中と表示されている場合など）このような場合に、地図のマッチングを手動で切り換えて、正しい位置に修正します。

準 備

- ランチャーメニューに「道路切換」が表示されるように設定してください。（P.30）

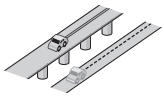
ランチャーメニューから 道路切換 を選ぶ

- 自車位置の道路（高速道路/一般道路）を切り換えて再探索されます。
- 道路切り換えは、隣接して平行な道路を対象としています。

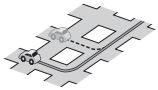
自車位置精度について

■ 走行環境やGPS衛星の状態により、自車マーク位置が正しく表示されない場合があります。

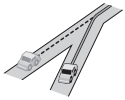
●高速道路と一般道路が近くにある



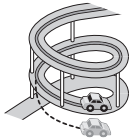
●碁盤目状の道路を走行している



●角度の小さなY字路を走行している



●らせん状の道路などを走行している



そのまましばらく走行すると、マップマッチングやGPS衛星からの情報を利用して自車マーク位置は自動的に補正されます。

■ 下記の場合も、自車マーク位置が正しく表示されない場合があります。

●エンジンスイッチON(電源ON)後、GPS信号を受信できるまで
●本機を取り付けて初めて走行するとき
●タイヤを交換したとき、特に応急用タイヤを使用時
●フェリー、車両運搬車などで移動したあと
●勾配の急な山岳などを走行しているとき
●直線路を長い間走行したあとに、右左折したとき
●道幅の広い道路で蛇行運転したとき
●雪道・砂利道などの滑りやすい道路を走行しているとき、またはタイヤチェーン等を装着して走行しているとき
●地下駐車場や立体駐車場で、らせん状の道路を走行したあと一般道に出たとき
●エンジンスイッチOFF(電源OFF)状態で、ターンテーブルなどで旋回したとき
●(車種によっては、低速(数km/h)で走行時に車速信号を検出できないことがあるため)駐車するときや渋滞区間を走行中など、低速での走行状態が続くとき

■ GPS衛星はアメリカ国防総省により管理されており、故意に位置精度を落とすことがあります。このようなときは、自車マークがずれる場合があります。

■ 3Dセンサーによる高架判定について

自車が都市高速に入ったときなど車の上下移動を3Dセンサーで感知して、自車位置を測位します。(高架判定)

●3Dセンサーによる高架判定は、センサーの補正が完了後に動作可能です。車両信号情報画面で「3D」の学習レベルの状態を確認してください。
●高速道路など一定速度で走行が続くような場合、補正完了まで50 km程度の走行を要する場合があります。
●道路状況や走行状況により正しく高架判定できない場合があります。(道路の傾斜がゆるやか、発進・停車の繰り返し、急ハンドルによる車の横揺れなど)
●下記の場合には、必ず車両信号情報画面でセンサー学習値初期化を選んでください。
  • 別の車に載せかえた
  • 取付位置を変更した
●3Dセンサーの高架判定は、地図データと3Dセンサーからの情報で行います。(一部地域のみ)

ナビゲーションシステムとは

逆走警告について

■ 下記のような場合は、逆走していても警告案内を行わないことがあります。

- 本機の地図に収録されていない道路、または形状が変わった道路を走行しているとき
- 形状が複雑なIC付近を走行しているとき
- スマートICのあるSA・PA、その他特定のSA・PA内を走行しているとき
- 本機が故障している、または車両信号情報が正常でないとき
- GPSアンテナ上に障害物があり、GPS信号が正常に受信できていないとき
- トンネル、高架橋、高層ビルなどの遮蔽物により、GPS信号が正常に受信できていないとき
- 本機の地図画面上の自車マークの位置と、実際の自車位置が違うとき
- 直前に自車位置、または方位の補正が行われたとき
- 急なUターンをしたとき
- 周囲に分岐車線・合流車線の無い本線上でUターンしたとき
- 以前、逆走警告が表示された地点で ここでは案内しない を選んでいた場合

■ 下記のような場合は、逆走していなくても警告案内を行うことがあります。

- 本機の地図に収録されていない道路、または形状が変わった道路を走行しているとき
- 本機の地図画面上の自車マークの位置と、実際の自車位置が違うとき
- 本機が故障している、または車両信号情報が正常でないとき
- 駐車スペースがある料金所、または手前でUターン可能な料金所でUターンをしたとき
- 警察や道路管理会社の誘導によりUターンをしたとき

ルート探索・ルート案内について

■ 次のような場合は、故障ではありません。

- 通行不可能な歩道、階段などを含めたルートを作ることがあります。
- 新道の開通などにより通行できない場合があります。
- 点線で表示されている道路は、地図データ作成時点での建設予定道路のためルート探索できません。
- 実際に通行できない道を表示する場合があります。
- 再探索してもルートが変わらない場合があります。
- ルートが渋滞している場合があります。
- 目的地まで道路がなかったり、細い道しかない場合は、目的地から離れた所までしかルート表示しない場合があります。
- 高架下の一般道路の案内を行う場合があります。逆の場合もあります。
- Uターンするルートを表示する場合があります。
- 交差点で曲がるのに、案内されない場合があります。
- 交差点名称が案内されない場合があります。
- 右左折案内が実際の道路形状と異なる案内をすることがあります。
- 案内ルートを外れて手前の交差点等で曲がったときなどに音声案内される場合があります。
- 方面案内が表示/案内されない高速道路・有料道路があります。
- 交差点拡大図が実際の道路形状と合わないことがあります。
- 案内距離が多少ずれることがあります。
- 探索されたルートは参考ルートであり、お客様の意図したものとは違う場合があります。

電話番号検索の精度について

検索される場所によっては、丁目・番地・号の情報(ピンポイント情報)がないため、正確に検索できないことがあり、検索された場所と実際の場所が離れている場合があります。

■ 本機に登録されている個人名について

登録されている個人名は、公開電話番号の登録者名に基づいています。複数の読み方ができる「名字」については、実際とは異なる読みかたで登録されている場合があります。

例:「河内」という名字の場合、実際の読みが「こうち」でも、「かわち」や「かわうち」で登録されている場合があります。

名称・ジャンル・周辺施設検索の精度について

検索される場所によっては、丁目・番地・号まで正確に検索できないことがあり、検索された場所と実際の場所が離れている場合があります。

マップコードとは

株式会社デンソーが、カーナビゲーションで簡単に目的地を設定できるようにするために開発した、日本全国のあらゆる場所を最大13桁の数字で表したものです。各種情報機器や各種情報メディアで簡単に位置情報を伝達したり、住所や電話番号で表せない場所を特定することができます。詳しくは、マップコード公式サイトをご参照ください。
https://www.denso-communications.jp/mapcode/

ETC2.0(電波ビーコン5.8 GHz)について

電波ビーコン5.8 GHzを受信するには、別売のETC2.0車載器が必要です。

■ 電波ビーコン5.8 GHzの受信について

下記のような状況では、受信できない場合や、誤って受信してしまう場合があります。

- 大型車と並走
- 高速高架道路の下(高速高架下の一般道を走行している場合に、高速道路の電波ビーコン5.8 GHzを受信してしまう場合があります。
- 雪などの悪天候
- フロントガラスの汚れ

お知らせ

- 赤外線反射ガラスまたは電波不透過ガラス装着車両では、電波ビーコン5.8 GHzの受信ができないことがあります。
  取り付けの際は販売店にご相談ください。

FM多重/光ビーコンについて

光ビーコンを受信するには、別売の光ビーコン対応ETC2.0車載器が必要です。

■ FM多重放送の受信について

下記のような場所では受信できない場合があります。

- トンネルの中
- 高架道路の下
- 高層ビルなどの間
- サービスエリア外

お知らせ

- FM多重の場合、一定周期で情報が更新されるので表示するデータが揃うのに時間がかかる場合があります。(約3分)
- 車のエンジンをかけた(またはACCをONにした)あと、しばらくは情報が表示されません。

■ 光ビーコンの受信について

下記のような状況では、受信できない場合や、誤って受信してしまう場合があります。

- 雪などの悪天候
- アンテナ受信部の汚れ
- フロントガラスの汚れ
- アンテナの上に物を置く
- 他の車両と並走して通信エリアに進入したとき
- 太陽光がアンテナ受光面に当たっているとき

お知らせ

- 赤外線反射ガラス装着車両では、光ビーコンの受信ができないことがあります。
  取り付けの際は販売店にご相談ください。

VICSについて

- VICSの車載機の動作、その他に関するもの
- VICSのサービスエリアに関するもの
- その他、上記に類するもの

これらの内容は、お買い上げの販売店またはお近くの「サービスご相談窓口」にお問い合わせください。

VICSやTSPSの概念、計画、または表示された情報内容に関することは、VICSセンターへお問い合わせください。
(ただし、地図表示型の表示内容は除く)

VICSセンター
受付時間　9:30～17:45
(土曜・日曜・祝日・年末年始休暇を除く)
電話番号　0570－00－8831
- 全国どこからでも市内通話料金でご利用になれます。
- PHS、IP電話等からはご利用できません。

FAX番号　03-3562-1719(24時間受付)

VICS削除リンクに関する告知

VICSによる道路交通情報(渋滞や混雑の矢印など)を地図上に表示するためあらかじめ本機に情報提供用の単位(以下、VICSリンクと称します)を設定しています。道路形状や交通施設の変化にともない、より正確な情報提供をするため、必要に応じ、毎年、VICSリンクの追加・変更が行われます。過去からのVICSリンクの情報を永続的に提供することは容量などの理由で不可能です。追加・変更が行われた場合、該当のVICSリンクについて3年間は情報提供が行われますが、それ以降は、情報提供が打ち切られることになっております。
このため、VICSによる道路交通情報(渋滞や混雑の矢印など)の表示は「本製品」発売後、3年程度で一部の道路において情報が表示されなくなることがあります。

VICS情報有料放送サービス契約約款

第1章　総則

(約款の適用)
第1条　一般財団法人道路交通情報通信システムセンター(以下「当センター」といいます。)は、放送法(昭和25年法律第132号)第147条の規定に基づき、このVICS情報有料放送サービス契約約款(以下「この約款」といいます。)を定め、これによりVICS情報有料放送サービスを提供します。
(約款の変更)
第2条　当センターは、この約款を変更することがあります。この場合には、サービスの提供条件は、変更後のVICS情報有料放送サービス契約約款によります。
(用語の定義)
第3条　この約款においては、次の用語はそれぞれ次の意味で使用します。
(1) VICSサービス：当センターが自動車を利用中の加入者のために、FM多重放送局から送信する、道路交通情報の有料放送サービス
(2) VICSサービス契約：当センターからVICSサービスの提供を受けるための契約
(3) 加入者：当センターとVICSサービス契約を締結した者
(4) VICSデスクランブラー：FM多重放送局からのスクランブル化(攪乱)された電波を解読し、放送番組の視聴を可能とするための機器

第2章　サービスの種類等

(VICSサービスの種類)
第4条　VICSサービスには、次の種類があります。
(1) 文字表示型サービス：文字により道路交通情報を表示する形態のサービス
(2) 簡易図形表示型サービス：簡易図形により道路交通情報を表示する形態のサービス
(3) 地図重畳型サービス：車載機のもつデジタル道路地図上に情報を重畳表示する形態のサービス
(VICSサービスの提供時間)
第5条　当センターは、原則として一週間に概ね120時間以上のVICSサービスを提供します。

第3章　契約

（契約の単位）
第6条　　当センターは、VICSデスクランブラー1台毎に1のVICSサービス契約を締結します。
（サービスの提供区域）
第7条　　VICSサービスの提供区域は、当センターの電波の受信可能な地域（全都道府県の区域で概ねNHK-FM放送を受信することができる範囲内）とします。ただし、そのサービス提供区域であっても、電波の状況によりVICSサービスを利用することができない場合があります。
（契約の成立等）
第8条　　VICSサービスは、VICS対応FM受信機（VICSデスクランブラーが組み込まれたFM受信機）を購入したことにより、契約の申込み及び承諾がなされたものとみなし、以後加入者は、継続的にサービスの提供を受けることができるものとします。
（VICSサービスの種類の変更）
第9条　　加入者は、VICSサービスの種類に対応したVICS対応FM受信機を購入することにより、第4条に示すVICSサービスの種類の変更を行うことができます。
（契約上の地位の譲渡又は承継）
第10条　　加入者は、第三者に対し加入者としての権利の譲渡又は地位の承継を行うことができます。
（加入者が行う契約の解除）
第11条　　当センターは、次の場合には加入者がVICSサービス契約を解除したものとみなします。
(1)加入者がVICSデスクランブラーの使用を将来にわたって停止したとき
(2)加入者の所有するVICSデスクランブラーの使用が不可能となったとき
（当センターが行う契約の解除）
第12条　　当センターは、加入者が第16条の規定に反する行為を行った場合には、VICSサービス契約を解除することがあります。また、第17条の規定に従って、本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、VICSサービス契約は、解除されたものと見なされます。
2　第11条又は第12条の規定により、VICSサービス契約が解除された場合であっても、当センターは、VICSサービスの視聴料金の払い戻しをいたしません。

第4章　料金

（料金の支払い義務）
第13条　　加入者は、当センターが提供するVICSサービスの料金として、契約単位ごとに加入時に別表に定める定額料金の支払いを要します。なお、料金は、加入者が受信機を購入する際に負担していただいております。

第5章　保守

（当センターの保守管理責任）
第14条　　当センターは、当センターが提供するVICSサービスの視聴品質を良好に保持するため、適切な保守管理に努めます。ただし、加入者の設備に起因する視聴品質の劣化に関してはこの限りではありません。
（利用の中止）
第15条　　当センターは、放送設備の保守上又は工事上やむを得ないときは、VICSサービスの利用を中止することがあります。
2　当センターは、前項の規定によりVICSサービスの利用を中止するときは、あらかじめそのことを加入者にお知らせします。ただし、緊急やむを得ない場合は、この限りではありません。

第6章　雑則

（利用に係る加入者の義務）
第16条　　加入者は、当センターが提供するVICSサービスの放送を再送信又は再配分することはできません。
（免責）
第17条　　当センターは、天災、事変、気象などの視聴障害による放送休止、その他当センターの責めに帰すことのできない事由によりVICSサービスの視聴が不可能ないし困難となった場合には一切の責任を負いません。また、利用者は、道路形状が変更した場合等、合理的な事情がある場合には、VICSサービスが一部表示されない場合があることを了承するものとします。但し、当センターは、当該変更においても、変更後3年間、当該変更に対応していない旧デジタル道路地図上でも、VICSサービスが可能な限度で適切に表示されるように、合理的な努力を傾注するものとします。
2　VICSサービスは、FM放送の電波に多重して提供されていますので、本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、加入者が当初に購入された受信機によるVICSサービスの利用ができなくなります。当センターは、やむを得ない事情があると認める場合には、3年以上の期間を持って、VICSサービスの「お知らせ」画面等により、加入者に周知のうえ、本放送の伝送方式の変更を行うことがあります。

[別表]　　視聴料金　300円（税抜き）
ただし、車載機購入価格に含まれております。

地図ソフトについて

重 要 !!

本使用規定(「本規定」)は、お客様と株式会社ゼンリン(「(株)ゼンリン」)間の「本機」(「機器」)に格納されている地図データおよび検索情報等のデータ(「本ソフト」)の使用許諾条件を定めたものです。本ソフトのご使用前に、必ずお読みください。本ソフトを使用された場合は、本規定にご同意いただいたものとします。

使 用 規 定

1. (株)ゼンリンは、お客様に対し、機器の取扱説明書(「取説」)の定めに従い、本ソフトを本ソフトが格納されている機器で使用する権利を許諾します。
2. (株)ゼンリンは、本ソフトの媒体や取説にキズ・汚れまたは破損があったときは、お客様から本ソフト購入後90日以内にご通知いただいた場合に限り、(株)ゼンリンが定める時期、方法によりこれらがないものと交換するものとします。但し、本ソフトがメーカー等の第三者(「メーカー」)の製品・媒体に格納されている場合は、メーカーが別途定める保証条件によるものとします。
3. お客様は、本ソフトのご使用前には必ず取説を読み、その記載内容に従って使用するものとし、特に以下の事項を遵守するものとします。
   (1) 必ず安全な場所に車を停止させてから本ソフトを使用すること。
   (2) 車の運転は必ず実際の道路状況や交通規制に注意し、かつそれらを優先しておこなうこと。
4. お客様は、以下の事項を承諾するものとします。
   (1) 本ソフトの著作権は、(株)ゼンリンまたは(株)ゼンリンに著作権に基づく権利を許諾した第三者に帰属すること。
   (2) 本ソフトおよび本ソフトを使用することによってなされる案内・料金表示などは、必ずしもお客様の使用目的または要求を満たすものではなく、また、本ソフトの内容・正確性について、(株)ゼンリンは何ら保証しないこと。従って、本ソフトを使用することで生じたお客様の直接または間接の損失および損害について、(株)ゼンリンは故意または重過失の場合を除き何ら保証しないこと。(本ソフトにおける情報の収録は、(株)ゼンリンの基準に準拠しております。また、道路等の現況は日々変化することから本ソフトの収録情報が実際と異なる場合があります。)
   (3) 本規定に違反したことにより(株)ゼンリンに損害を与えた場合、その損害を賠償すること。
5. お客様は、以下の行為をしてはならないものとします。
   (1) 本規定で明示的に許諾される場合を除き、本ソフトの全部または一部を複製、抽出、転記、改変、送信すること。
   (2) 第三者に対し、有償無償を問わず、また、譲渡・レンタル・リースその他方法の如何を問わず、本ソフト(形態の如何を問わず、その全部または一部の複製物、出力物、抽出物その他利用物を含む。)の全部または一部を使用させること。
   (3) 本ソフトをリバースエンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブルすること、その他のこれらに準ずる行為をすること。
   (4) 本ソフトに無断複製を禁止する技術的保護手段(コピープロテクション)が講じられている場合、これを除去・改変その他方法の如何を問わず回避すること。
   (5) その他本ソフトについて、本規定で明示的に許諾された以外の使用または利用をすること。

⚠ 警告

操作は、安全な場所に車を停止させてからおこなってください。
安全な場所以外では追突、衝突されるおそれがあります。

常に実際の道路状況や交通規制標識・標示などを優先して運転してください。
本機に収録されている地図データ、交通規制データ、経路探索結果、音声案内などが実際と異なる場合があり、交通規制に反する場合や、通行できない経路を探索する可能性があるため、交通事故を招くおそれがあります。
また、取り付ける車両に「標識認識機能」がある場合、異なる情報が表示されることがありますが、道路標識など実際の交通規制に従って運転してください。

一方通行表示については、常に実際の交通規制標識・標示を優先して運転してください。
一方通行表示はすべての一方通行道路について表示されているわけではありません。また、一方通行表示のある区間でも実際にはその一部が両面通行の場合があります。

運転者は、走行中に操作をしたり、画面を注視したりしないでください。
運転を誤り、交通事故を招くおそれがあります。

本機を救急施設などへの誘導用に使用しないでください。
本機にはすべての病院、消防署、警察署などの情報が含まれているわけではありません。また、情報が実際と異なる場合があります。そのため、予定した時間内にこれらの施設に到着できない可能性があります。

地図ソフトについて

【地図データについて】

- この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の50万分の1地方図及び2万5千分の1地形図を使用しています。(承認番号 平29情使、第444-B124号)
- この地図の作成にあたっては、国土地理院長の承認を得て、同院の技術資料 H・1-No.3「日本測地系における離島位置の補正量」を使用しています。
  (承認番号 国地企調発第78号 平成16年4月23日)
- 3次元地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図50mメッシュ(標高)を使用しています。(承認番号 平29情使、第26-001号)
- この地図の作成に当たっては、一般財団法人日本デジタル道路地図協会発行の全国デジタル道路地図データベースを使用しています。
  (測量法第44条に基づく成果使用承認 12-0010)
- 本ソフトで表示している経緯度座標数値は、日本測地系に基づくものとなっています。
- 「市街地図」データは(株)ゼンリンの住宅地図データに基づき作成しています。なお、当該「市街地図」は地域により作成時期が異なる場合や、データの整備状況により一部収録されていない地域があります。
- 自然災害等の影響により、表示される地図が現地と一部異なる場合があります。最新の情報は、行政機関などで公開されている情報をご確認ください。
- 道路データは、高速、有料道路についてはおおむね2018年4月、国道、都道府県道についてはおおむね2018年2月までに収集された情報に基づき製作されていますが、表示される地図が現場の状況と異なる場合があります。
  - ◆3D 交差点…… ルート案内時、東・名・阪の主要交差点をリアルデザインで案内します。
  - ◆ジャンクションビュー… ルート案内時、自動的に高速道路・首都高速道路・都市高速道路のジャンクションをリアルデザインで案内します。
  - ◆方面看板…… ルート案内時、国道をはじめとした一般道の行き先案内を表示します。(全国の主要交差点を表示)

  ※3D交差点、ジャンクションビュー、方面看板は、全ての交差点において収録されているわけではありません。
- 細街路規制データは、おおむね2017年11月までに収集された情報に基づき製作されています。時間指定の一方通行規制は、推奨ルートの探索にあたっては、考慮されません。また、表示される規制データが現場の状況と異なる場合があります。

【経路探索について】

- 経路探索は、2万5千分の1地形図(国土地理院発行)の主要な道路において実行できます。ただし、一部の道路では探索できない場合があります。また、表示された道路が現場の状況から通行が困難なときがあります。現場の状況を優先して運転してください。

【交通規制データについて】

- 本ソフトに使用している交通規制データは、道路交通法および警察庁の指導に基づき全国交通安全活動推進センターが公開している交通規制情報を利用して、MAPMASTERが作成したものを使用しています。
- 交通規制は、普通自動車に適用されるもののみです。また、時間・曜日指定の一方通行が正確に反映されない場合もありますので、必ず実際の交通規制に従って運転してください。

【電話番号検索情報について】

- 本ソフトに使用している電話番号検索情報は、NTTのタウンページ電話帳2018年3月の情報を収録しています。なお、タウンページ電話帳に記載されている店舗情報の中でも、一部店舗の場所が特定できない情報については収録していません。また、お客様が電話番号や店舗名称等を用いて対象となる店舗の位置を検索した場合、該当する店舗の周辺を到着地点として表示する場合があります。あらかじめご了承ください。
- 個人宅電話番号検索は、公開「電話番号」および公開電話番号登録者「名字」の入力で、全国で地図検索が可能ですが、地域に格差があります。なお、検索された物件の一部では検索地点の周辺までの表示になる場合があります。

【VICSリンクについて】

- VICSリンクデータベースの著作権は、一般財団法人日本デジタル道路地図協会、公益財団法人日本交通管理技術協会に帰属しています。VICSによる道路交通情報（渋滞や混雑の矢印など）の地図上への表示は毎年、追加・更新・削除され、その削除された部分は経年により一部の情報が表示されなくなることがあります。

【ゾーン30について】

- ゾーン30は警察庁より提供される交通規制情報に基づき作成しています。ゾーン30エリア内でも制限速度が30 km/hではない道路が含まれる場合もありますので、常に実際の道路状況や交通規制標識・表示などを優先して走行してください。

【登録商標について】

- “ゼンリン” および “ZENRIN” は（株）ゼンリンの登録商標です。
- 「VICS」および「VICS WIDE」は一般財団法人道路交通情報通信システムセンターの商標です。
- “タウンページ” は、日本電信電話株式会社の商標です。

VICSセンター　お客様相談窓口

【電話番号】0570-00-8831（PHS、IP電話等からはご利用できません）
【受付時間】平日 9：30 ～ 17：45（土曜・日曜・祝日・年末年始休暇を除く）
【FAX番号】03-3562-1719（24時間受付）
【URL】https://www.vics.or.jp/

【本ソフトの情報について】

本ソフトは、おおむね以下の年月までに収集された情報に基づいて作成されております。

■ 道路：2018年4月（高速・有料道路）／2018年2月（国道・都道府県道）
■ 交通規制*1　：2018年3月
■ 住所検索　：2018年3月
■ 電話番号検索：2018年3月
■ 郵便番号検索　：2018年3月
■ ジャンル検索：2018年2月
■ 高速・有料道路料金*2：2018年4月
■ 市街地図　：2017年11月
■ 個人宅電話番号検索　：2017年12月

＊1：交通規制は普通自動車に適用されるもののみです。
＊2：料金表示は、ETCを利用した各種割引などは考慮していません。また、増税などにより実際の金額とは異なる場合があります。地図データの作成時期の都合により、新規開通道路にはETCレーン、および料金のデータが収録されていない場合があります。また新規開通道路のパーキングエリア（PA）、サービスエリア（SA）の施設情報は表示されない場合があります。

2018年10月発行　製作／株式会社ゼンリン
© 2017 一般財団法人日本デジタル道路地図協会
© 2018 NIPPON TELEGRAPH AND TELEPHONE EAST CORPORATION
© 2018 NIPPON TELEGRAPH AND TELEPHONE WEST CORPORATION
© ジオ技術研究所
© 2018 ZENRIN CO., LTD. All rights reserved.

さくいん

あ行

あかさたなタッチキー……41
頭出し……58、59、60、61、65、70、72、74
アルバム……65
アングル……57
安全・安心運転サポート……27
案内音声項目設定……96
案内音量の車速連動……96
案内出力スピーカー……96
案内スタート……42
案内ストップ……42
案内表示項目設定……95
案内ルート……27
一時停止……57、61、72、74
一般道……33
緯度・経度……26
緯度・経度を表示……94
迂回……46
エリアモード……54
エンター……58
オーディオショートカット……16
オーディオメニュー……17、50
オプションボタン……20
音楽CD……59
音楽データ……121
音質……63
音声……57
音量……13

か行

カーソル……26、58
カーソルパネル……52
カード入れ忘れ案内……98
カード抜き忘れ案内……98
カーブ案内……32
ガイダンス……32
回転……71
カスタマイズ……18
カスタムアップデート……66
カメラスケール表示……91
カメラ設定……91
画面OFF……14
冠水注意ポイント……24
冠水注意ポイント表示……94
キー操作音……99
機器登録……77
気象・災害情報表示……39
規制……33
季節規制考慮……31
逆走注意アラーム……29、95
休憩メッセージ案内……96
携帯電話切換……82
経由地追加……45
経由地マーク……27
現在地画面……26
検索結果画面……41
広域……35
交差点拡大図の表示……95
交差点情報の表示……95
交差点情報表示……26、27
後席用モニター……89
合流案内……32
ここに行く……38、42、44
渋滞・混雑……33

さ行

サーチ……58
再生時間……57
再生モード……59、60、61、65、70、74
再生リスト……72
残距離/到着時刻表示……27
残距離/到着時刻を表示……94
市街地図での冠水注意ポイント表示……94
市街地図での盗難多発地点表示案内……99
時間規制道路を考慮……97
事故多発地点……24
事故多発地点案内……32
自車位置……12
自車マーク……24、33
システム設定……15、98
施設詳細……38
施設名……26
自宅……15
自宅登録……15
自動再探索……97
自動録音……63
ジャケット写真……69、123
車種設定……15
シャッフル……74
住所……43
渋滞回避……31
渋滞情報……39
渋滞情報保存時間設定……98
渋滞なし……33
周波数……54
周辺検索……38
縮尺……35
縮尺表示……24
出荷状態に戻す……100
手動録音……63
受話音量……82
消音……13
詳細……35
詳細条件……97
情報・設定メニュー……18
情報点滅……33
情報バー……24
情報バー表示設定……94
情報メニュー……18
初期化……100
新旧ルート比較画面を表示……97
信号情報活用運転支援システム（TSPS）……90
数字パネル……53
スキャン……59、60、65、70
スクロール……34
ストラーダチューン……31
スマートIC考慮……31
スマホ連携……79、83
スライドショー……71
スロー再生……58
静止画……71
静止画データ……123
セキュリティ……21、99
セキュリティ設定……99
接続確認案内……79
設定……26

全画面 ..... 71、72
選局 ..... 52、54
選局パネル 52
選曲モード ..... 61、65、74
全曲録音 63
選択曲録音 63
専用レーン案内 96
送話音量 82
ゾーン30 24
その他設定 ..... 94、99

た行

タイトルメニュー 57
タイトルリスト 57
ダイヤル 82
ダイレクトボタン 93
立寄る 38
探索条件 45
地域 52
地図SDHCメモリーカード 88
地図色 33
地図色設定 94
地図画面 24
地図更新 87
地図情報を表示 94
地図モード 93
地図モード画面 26
地点登録 38
地点編集 38
地点メニュー 37
着信音量 81
駐車場 33
駐車場マーク 39
昼夜切換 94
ツートップメニュー 16
続き再生解除 57
停止 57
ディスク 117
データ放送 53
テナント情報 38
デュアルウィンドウ 37
デュアルウィンドウ中の案内割込み 96
デュアルウィンドウを表示 94
テレビ 52
テレビの初期設定 52
電話に出る 81
電話を切る 81
動画 72
動画データ 124
統計情報 33
到着予想 97
盗難多発地点 24
盗難多発地点 音声案内 99
盗難多発地点 表示案内 99
道路切換 126
登録機器一覧 78
登録地 47
登録地を表示 94
登録データの初期化 100
トーン 82
時計表示 94
トップメニュー 57
ドライブレコーダー 92
トンネル出口案内 96

な行

ナビ案内音量 13
ナビ設定 93
入力履歴の初期化 100
ノースアップ 36

は行

ハイウェイモード 37
ハイウェイモードの表示 95
背景 19
早送り ..... 58、59、60、61、65、70、72、74
早戻し ..... 58、59、60、61、65、70、72、74
範囲 33
ハンズフリー 82
ビーコン受信音 97
ビーコン割込み 97
ビーコン割込み設定 97
微調整 ..... 26、34
ビデオカメラ 92
標高地図色 94
標高地図を表示 93
標識拡大表示 32
フェリーを優先 97
フォルダ ..... 60、70
吹き出し表示 24
吹き出しを表示 93
踏切案内 32
プリセット選局 54
プリセットメモリー 54
プレイリスト 57
分岐案内頻度 32
ヘディングアップ 36
方位マーク 24
方面看板の表示 95
保留 81

ま行

マップ 33
マップコード ..... 26、129
右画面に地図表示 93
右画面表示 37
右画面用地図設定 93
道幅優先 31
ミュート ..... 13、82
名称 43
名称の文字サイズ 93
メイン画面用地図設定 93
モード切換 ..... 70、71、72
目的地ショートカット 16
オーディオメニューを表示 16
目的地追加 45
目的地方向直線表示 27
目的地方向を表示 95
目的地マーク 27
目的地メニュー ..... 17、41
文字サイズ 33

や行

ユーザーカスタマイズ ..... 15、24
ユーザー情報設定 53
郵便番号 52

さくいん

有料道……33
有料道路優先……31

ら行

ライト点灯案内……32
ラジオ……54
ランダム……59、60、61、65、70
ランチャーメニュー……30
ランドマーク……24
リアビューカメラ……91
リアル3D表示……95
リジューム……57
リターン……58
立体ランドマーク……24
リピート……59、60、61、65、70、74
ルート……31、42
ルート学習……31
ルート学習結果の初期化……100
ルート削除……42
ルート情報……37
ルート情報の表示……95
ルートの全表示……95
ルート編集……46
ローカルアップデート……66
録音……63
録音管理……63
録音設定……63

数字・記号・アルファベット

10キー……58
3D……36
3D視角調整……36、93
50 m市街地図表示……94
5ルート……38
AAC……69
AUDIO OFF……51
AUDIO ON……51
Audio画面中の案内割込み……96
AUDIO情報を表示……94
BLUETOOTH Audio……61
BLUETOOTH……76、77、125
CarAV remote……83
DVD-Video……56
DVD-VR……56
ecoドライブ……86
ETC2.0アップリンク……98
ETC2.0自動音声再生……98
ETC2.0車載器……90
ETC2.0受信音……98
ETC2.0設定……98
ETC2.0割込み……98
ETC音声ガイド……98
ETCレーンの表示……95
EWS（緊急情報）の割込み……96
FM/AM……54
Gracenote……66
iPod……73
iPod抜き忘れ案内……99
JCTビューの表示……95
LAUNCHER……30
MAPCODEを表示……94
MEMORY MUSIC……65
MP3……60、69
NaviCon®……83
SA/PAマーク……39
SDカードの初期化……100
SDメモリーカード……67、120
TILT……14
TVの初期化……100
USBメモリー……69、120
VICS WIDE……33
VICS案内……96
VICS考慮……31
VICS自動再探索……97
VICS情報マーク……40
VICS タイムスタンプ……24、38
VTR……92
WMA……60、69

商標などについて

- 本機はMicrosoft® Windows® Automotiveで動作します。
- Microsoft、Windows、Windows Automotive、Windows Mediaは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- 本製品は、Microsoft Corporationと複数のサードパーティの一定の知的財産権によって保護されています。本製品以外での前述の技術の利用もしくは配布は、Microsoftもしくは権限を有するMicrosoftの子会社とサードパーティによるライセンスがない限り禁止されています。
- 「VICS」および「VICS WIDE」は、一般財団法人道路交通情報通信システムセンターの商標です。
- 「ETC」、「ETC2.0」は、一般財団法人ITSサービス高度化機構の登録商標です。
- ITSスポットは、国土交通省の登録商標です。
- ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
  Dolby、ドルビー、Dolby Audio及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
- SDHC、SDXCロゴはSD-3C, LLCの商標です。
- BLUETOOTH®のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標であり、パナソニック株式会社は、これらのマークをライセンスに基づいて使用しています。
- “DVD Logo” は、DVDフォーマットロゴライセンシング株式会社の商標です。
- “ゼンリン” および “ZENRIN” は、株式会社ゼンリンの登録商標です。
- タウンページは、NTT東日本およびNTT西日本の商標です。
- 「マップコード」および「MAPCODE」は、株式会社デンソーの登録商標です。
- NaviConは株式会社デンソーの登録商標です。
- 本製品は、MPEG-4 Patent Portfolio License、AVC Patent Portfolio License及びVC-1 Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされており、以下に記載する行為に係るお客様の個人的かつ非営利目的の使用を除いてはライセンスされておりません。
  - 画像情報をMPEG-4 Visual、AVC、VC-1規格に準拠して（以下、MPEG-4/AVC/VC-1ビデオ）を記録すること。
  - 個人的活動に従事する消費者によって記録されたMPEG-4/AVC/VC-1ビデオ、または、ライセンスをうけた提供者から入手したMPEG-4/AVC/VC-1ビデオを再生すること。

  詳細についてはMPEG LA, L.L.C. (http://www.mpegla.com)をご参照ください。
- Use of the Made for Apple badge means that an accessory has been designed to connect specifically to the Apple products identified in the badge, and has been certified by the developer to meet Apple performance standards.
- Apple is not responsible for the operation of this device or its compliance with safety and regulatory standards.
- Please note that the use of this accessory with an Apple product may affect wireless performance.
- Apple, iPhone, iPod, iPod touch, iPod nano and Lightning are trademarks of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries.
- The trademark “iPhone” is used in Japan with a license from Aiphone K.K.
- 本製品の説明書に記載されている各種名称、会社名、商品名などは、各社の登録商標または商標です。
- 各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。


VICS

DVD
VIDEO

COMPACT
disc
DIGITAL AUDIO
TEXT

SD
XC

DIGITAL

DOLBY
AUDIO

Bluetooth

Made for
iPhone | iPod

gracenote
A NIELSEN COMPANY

ソフトウェア、およびオープンソースソフトウェアについて

本製品には、以下のソフトウェアが含まれています。
(1)パナソニック株式会社(「パナソニック」)により、またはパナソニックのために開発されたソフトウェア
(2)パナソニックにライセンスされた第三者所有のソフトウェア
(3)オープンソースソフトウェア

■ 上記(3)に分類されるソフトウェアには、以下のライセンス条件が適用されるソフトウェアを含む様々なオープンソースソフトウェアのプログラム(OSS)が含まれています。

・RSA Data Security' s MD5 License
RSA Data Security, Inc. MD5 Message-Digest Algorithm Copyright (C) 1990, RSA Data Security, Inc. All rights reserved. License to copy and use this software is granted provided that it is identified as the "RSA Data Security, Inc. MD5 Message-Digest Algorithm" in all material mentioning or referencing this software or this function. License is also granted to make and use derivative works provided that such works are identified as "derived from the RSA Data Security, Inc. MD5 Message-Digest Algorithm" in all material mentioning or referencing the derived work. RSA Data Security, Inc. makes no representations concerning either the merchantability of this software or the suitability of this software for any particular purpose. It is provided "as is" without express or implied warranty of any kind. These notices must be retained in any copies of any part of this documentation and/or software. Please be noted that this software is derived from the RSA Data Security, Inc. MD5 Message-Digest Algorithm.

・Independent JPEG Group's License
This software is based in part on the work of the Independent JPEG Group.

・Apache License 2.0
This software includes Google Protocol Buffers. You may obtain a copy of the License at "http://www.apache.org/licenses/LICENSE-2.0". Please be noted that a portion of this software is made by changing or modifying original source files.

・OpenSSL License
This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit (http://www.openssl.org/)
Copyright (C) 1995-1998 Eric Young (eay@cryptsoft.com) All rights reserved.
This package is an SSL implementation written by Eric Young (eay@cryptsoft.com).
The implementation was written so as to conform with Netscapes SSL.
This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com).
This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).

これらのOSSについてのライセンス条件その他の事項に関しては、以下のURLをご参照ください。
https://panasonic.jp/car/navi/license/index.html

■Gracenoteについて

音楽認識技術と関連情報はGracenote®社によって提供されています。Gracenoteは、音楽認識技術と関連情報配信の業界標準です。詳細は、Gracenote®社のホームページwww.gracenote.com をご覧ください。

- Gracenote, Inc.提供のCDおよび音楽関連データ: copyright © 2000 - present Gracenote. Gracenote Software, copyright © 2000 - present Gracenote. 本製品およびサービスには、Gracenoteが所有する1つまたは複数の特許が適用されます。適用可能な一部のGracenote特許の一覧については、GracenoteのWebサイトをご覧ください。
- Gracenote、Gracenoteのロゴとロゴタイプ、および"Powered by Gracenote"ロゴは、米国および/またはその他の国におけるGracenote, Inc.の登録商標または商標です。

エンドユーザー使用許諾契約書

本ソフトウエア製品または本電器製品には、カリフォルニア州エメリービル市の Gracenote, Inc. (以下「Gracenote」とする) から提供されているソフトウェアが含まれています。本ソフトウエア製品または本電器製品は、Gracenote 社のソフトウェア (以下「Gracenote ソフトウェア」とする) を利用し、音楽CDや楽曲ファイルを識別し、アーティスト名、トラック名、タイトル情報 (以下「Gracenote データ」とする) などの音楽関連情報をオンライン サーバー或いは製品に実装されたデータベース (以下、総称して「Gracenote サーバー」とする) から取得するとともに、取得されたGracenote データを利用し、他の機能も実現しています。お客様は、本ソフトウエア製品または本電器製品の使用用途以外に、つまり、エンドユーザー向けの本来の機能の目的以外にGracenoteデータを使用することはできません。

お客様は、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、および Gracenote サーバーを非営利的かつ個人的目的にのみに使用することについて、同意するものとします。お客様は、いかなる第三者に対しても、Gracenote ソフトウェアやGracenote データを、譲渡、コピー、転送、または送信しないことに同意するものとします。お客様は、ここに明示的に許諾されていること以外の目的に、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、または Gracenote サーバーを使用または活用しないことに同意するものとします。

お客様は、お客様がこれらの制限に違反した場合、Gracenote データ、Gracenoteソフトウェア、およびGracenote サーバーを使用するための非独占的な使用許諾契約が解除されることに同意するものとします。また、お客様の使用許諾契約が解除された場合、お客様は Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、および Gracenote サーバー全ての使用を中止することに同意するものとします。Gracenote は、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、およびGracenote サーバーの全ての所有権を含む、全ての権利を保有します。いかなる場合においても、Gracenote は、お客様が提供する任意の情報に関して、いかなる支払い義務もお客様に対して負うことはないものとします。お客様は、Gracenote, Inc. が本契約上の権利をGracenote として直接的にお客様に対し、行使できることに同意するものとします。

Gracenote のサービスは、統計的処理を行うために、クエリ調査用の固有の識別子を使用しています。無作為に割り当てられた数字による識別子を使用することにより、Gracenote サービスを利用しているお客様を認識しながらも、特定することなしにクエリを数えられるようにしています。詳細については、Webページ上の、Gracenote のサービスに関する Gracenote プライバシー ポリシーを参照してください。

Gracenote ソフトウェアと Gracenote データの個々の情報は、お客様に対して「現状有姿」のままで提供され、使用が許諾されるものとします。Gracenote は、Gracenote サーバーにおける全ての Gracenote データの正確性に関して、明示的または黙示的を問わず、一切の表明や保証をしていません。Gracenote は、妥当な理由があると判断した場合、Gracenote サーバーからデータを削除したり、データのカテゴリを変更したりする権利を保有するものとします。Gracenote ソフトウェアまたは Gracenote サーバーにエラー、障害のないことや、或いは Gracenote ソフトウェアまたは Gracenote サーバーの機能に中断が生じないことの保証は致しません。Gracenote は、将来Gracenote が提供する可能性のある、新しく拡張や追加されるデータタイプまたはカテゴリを、お客様に提供する義務を負わないものとします。また、Gracenote は、任意の時点でサービスを中止できるものとします。

Gracenote は、黙示的な商品適合性保証、特定目的に対する商品適合性保証、権利所有権、および非侵害性についての責任を負わないものとし、これに限らず、明示的または黙示的ないかなる保証もしないものとします。Gracenote は、お客様による Gracenote ソフトウェアまたは任意の Gracenote サーバーの利用により、得る結果について保証しないものとします。いかなる場合においても、Gracenote は結果的損害または偶発的損害、或いは利益の損失または収入の損失に対して、一切の責任を負わないものとします。

copyright © 2000 to present Gracenote

仕　様

	CN-RE05D	CN-RE05WD
電源		
電源電圧	DC12 V (試験電圧 13.2 V)マイナスアース	
消費電流	2.0 A 以下 (AUDIO OFF時)	
液晶ディスプレイ		
画面寸法(幅×高さ×対角)	7V型ワイド　157 ㎜×82 ㎜×177 ㎜	
映像入力	RGB (ナビゲーション画面)	
画素数	1 152 000 画素 (縦480×横800×3)	
有効画素数	99.99 %	
表示方式	透過型カラーフィルター方式	
駆動方式	TFT (薄膜トランジスタ)アクティブマトリックス方式	
使用光源	内部光 (LED)	
タッチパネル	抵抗感圧式アナログタイプ(フィルム+ガラス)	
アンプ		
定格出力	18 W×4	
最大出力	50 W×4	
適合スピーカーインピーダンス	4 Ω (4～8 Ω 使用可能)	
接続端子		
ビデオ入力レベル	映像:NTSC方式　1.0 Vp-p(75 Ω 3.5 φ 4極ミニジャック) 音声:ステレオ　2.0 Vrms MAX(3.5 φ 4極ミニジャック)	
カメラ入力レベル	映像:NTSC　1.0 Vp-p(75 Ω RCAピンジャック)	
ビデオ出力レベル	映像:NTSC　1.0 Vp-p(75 Ω RCAピンジャック)	
オプションカメラ入力	映像:NTSC　1.0 Vp-p(75 Ω RCAピンジャック)	
ナビゲーションユニット		
外形寸法(幅×高さ×奥行き)	178 ㎜×100 ㎜×184 ㎜ (取付奥行き寸法165 ㎜)	205 ㎜×104 ㎜×177 ㎜ (取付奥行き寸法161 ㎜)
質量	約2.5 kg	
動作温度	－10 ℃～+60 ℃	
DVDプレーヤー		
信号方式	Y=1.0 Vp-p　Cb=Cr=0.7 Vp-p (内部) NTSC方式　1.0 Vp-p (出力)	
周波数特性	5 Hz～22 kHz(サンプリング周波数48 kHz)	
信号対雑音比(SN比)	90 dB (IHF、A)	
ワウ・フラッター	測定限界以下	
FMチューナー		
受信周波数	76.0 MHz～99.0 MHz	
実用感度(SN比、30 dB)	15 dB μV以下	
SN比(入力54 dB μV)	50 dB以上	
ステレオ分離度(入力60 dB μV)	35 dB	

AMチューナー	
受信周波数	522 kHz～1 629 kHz
実用感度（SN比、20 dB）	37 dB μV以下
地上デジタルTVチューナー	
受信可能放送	地上デジタル放送 (ワンセグ対応)
受信周波数	470 MHz～710 MHz (13CH～52CH)
入力信号レベル	－75 dBm～－20 dBm
入力インピーダンス	50 Ω
iPod/USB中継ケーブル接続端子	
通信方式	USB
出力電圧	5 V　2 100 mA
BLUETOOTH	
通信周波数	2 402 MHz～2 480 MHz
RF出力	－4 dBm (0.4 mW)
通信方式	周波数ホッピングスペクトラム拡散
GPSアンテナ	
形式	マイクロストリップ方式
コードの長さ	4 m
外形寸法(幅×高さ×奥行き)	26 ㎜×14 ㎜×30 ㎜
質量	約50 g (コード含む)
受信周波数	1 575.42 MHz (C/Aコード)
受信可能衛星	GPS、QZSS（準天頂衛星）
地上デジタルアンテナ	
コードの長さ	4 m
外形寸法(幅×高さ)	118 ㎜×81 ㎜
質量	約170 g (コード含む)
出力インピーダンス	50 Ω

● 液晶ディスプレイのV型は、有効画素の対角寸法を基準とした大きさの目安です。

● 本製品の仕様、画面表示、外観は、改良のため予告なく変更することがあります。
● 寸法・質量はおおよその数値です。
● イラストはイメージであり、実際と異なる場合があります。
● 画面表示などの色は印刷物ですので実際と異なる場合があります。
● URLは、予告なく変更になることがあります。

保証とアフターサービス

使いかた・お手入れ・修理などは…

まず、お買い上げの販売店へご相談ください

お買い上げの際に記入されると便利です。

販売店名

電話　　(　　)　　−

お買い上げ日　　年　　月　　日

修理をされるときは

「困ったとき」(P.102〜116)でご確認のあと、なおらないときは、まず電源を切り、お買い上げ日と右の内容を販売店へご連絡ください。

ご連絡いただきたい内容	
製　品　名	SDカーナビステーション
品　　番	お買い上げ製品の品番にチェックしてください。 □CN-RE05D □CN-RE05WD
故障の状況	できるだけ具体的に

■ 保証期間中は、保証書の規定に従ってお買い上げの販売店が修理させていただきますので、おそれ入りますが、製品に保証書を添えてご持参ください。
保証期間：お買い上げ日から本体1年間

■ 保証期間終了後は、診断をして修理できる場合はご要望により有償にて修理させていただきます。
補修用性能部品の保有期間 6年
当社は、本製品の補修用性能部品(製品の機能を維持するための部品)を、製造打ち切り後6年保有しています。

転居や贈答品などでお困りの場合は、次の窓口にご相談ください

■ 使いかた・お手入れなどのご相談は…
「パナソニック お客様ご相談センター」へ→裏表紙

■ 修理に関するご相談は…
お近くの「サービスご相談窓口」へ →P.147

ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて

パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくときのために発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

パナソニック 総合お客様サポートサイト　http://www.panasonic.com/jp/support/

使いかた・お手入れなどのご相談

お客様ご相談センター

電話　フリーダイヤル　ゴー　パナソニック
0120-50-8729
携帯からもOK
■上記番号がご利用いただけない場合
045-929-0511（有料）
受付時間　9:00～18:00（年中無休）

FAX（有料）　**045-938-1573**
受付時間　9:00～18:00
（土・日・祝日・当社休日を除く）

修理に関するご相談

修理ご相談窓口

修理に関するお問い合わせは、お買い上げの販売店、またはお近くの「サービスご相談窓口」（P.146）へご連絡ください。

修理ご相談窓口サイト
http://www.panasonic.com/jp/support/consumer/car/repair.html

- 掲載サイトおよび動画の視聴は無料ですが、通信料金はお客様のご負担となります。（パケット定額サービスに未加入の場合、高額になる可能性があります。）
- ご使用の回線(IP電話やひかり電話など)によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。
- 上記のURLはお使いの携帯電話等により、正しく表示されない場合があります。
- 上記の内容は、予告なく変更することがあります。

おぼえのため、記入されると便利です。

製造番号 (Serial No.)	万一の故障や盗難時に必要です。保証書、もしくはナビゲーションユニットの天面にある製品銘板で、9桁の番号をご確認ください。 （　　）
固有番号 (ナビID)	製造番号が不明な場合（盗難時など）の確認用として、必要な場合があります。「システム情報」（P.18）で、番号をご確認ください。 （　　）

パナソニック株式会社
オートモーティブ＆インダストリアルシステムズ社
〒224-8520　横浜市都筑区池辺町4261番地

© Panasonic Corporation 2018

YEFM0412172　S0618-0